

2. 調査結果（留学生）

(1) 回答者属性

① 性別

	サンプル数	男	女	その他・答えたくない
上段:実数、下段:%				
日本語学校生等	607 100.0	330 54.4	269 44.3	8 1.3
大学生等	261 100.0	115 44.1	146 55.9	0 0.0

② 年齢

	サンプル数	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳以上
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等	608 100.0	102 16.8	349 57.4	124 20.4	24 3.9	7 1.2	2 0.3
大学生等	261 100.0	7 2.7	171 65.5	59 22.6	16 6.1	7 2.7	1 0.4

③ 出身国

	サンプル数	ベトナム	中国	ネパール	その他
上段:実数、下段:%					
日本語学校生等	608 100.0	425 69.9	83 13.7	50 8.2	50 8.2
大学生等	261 100.0	58 22.2	151 57.9	—	52 19.9

④ 結婚の有無

	サンプル数	結婚している	結婚していない
上段:実数、下段:%			
日本語学校生等	607 100.0	37 6.1	570 93.9
大学生等	259 100.0	23 8.9	236 91.1

⑤アルバイトの有無とアルバイト先の地域

	サンプル数	はい	いいえ
上段:実数、下段:%			
日本語学校生等	589 100.0	543 92.2	46 7.8
大学生等	257 100.0	174 67.7	83 32.3

	サンプル数	西部	中部	東部	北部
上段:実数、下段:%					
日本語学校生等	328 100.0	103 31.4	20 6.1	202 61.6	3 0.9
大学生等	115 100.0	90 78.3	14 12.2	11 9.6	0 0.0

⑥居住地域

	サンプル数	西部	中部	東部	北部
上段:実数、下段:%					
日本語学校生等	466 100.0	171 36.7	30 6.4	263 56.4	2 0.4
大学生等	224 100.0	173 77.2	21 9.4	19 8.5	11 4.9

⑦日本での在住年数

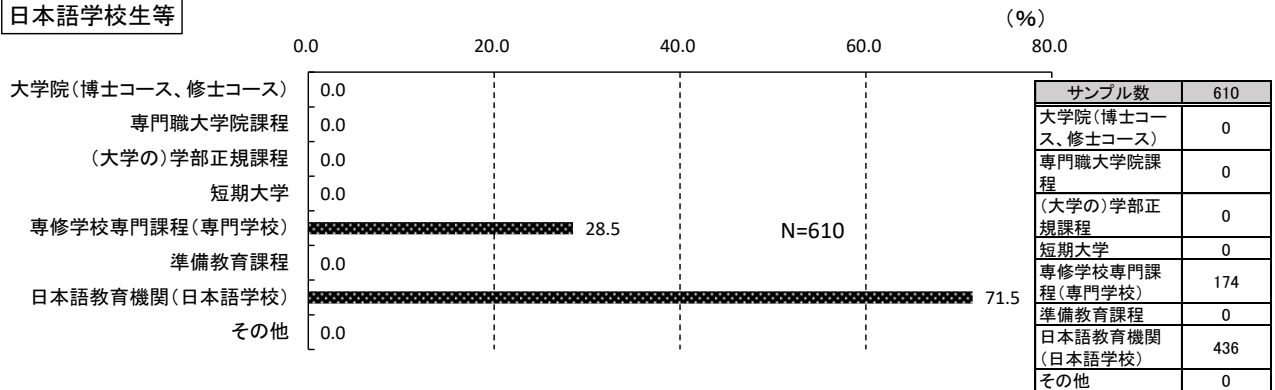
	サンプル数	1年未満	1年	2年	3年	4年以上
上段:実数、下段:%						
日本語学校生等	607 100.0	224 36.9	203 33.4	111 18.3	35 5.8	34 5.6
大学生等	261 100.0	56 21.5	29 11.1	53 20.3	72 27.6	51 19.5

(2) 留学の状況

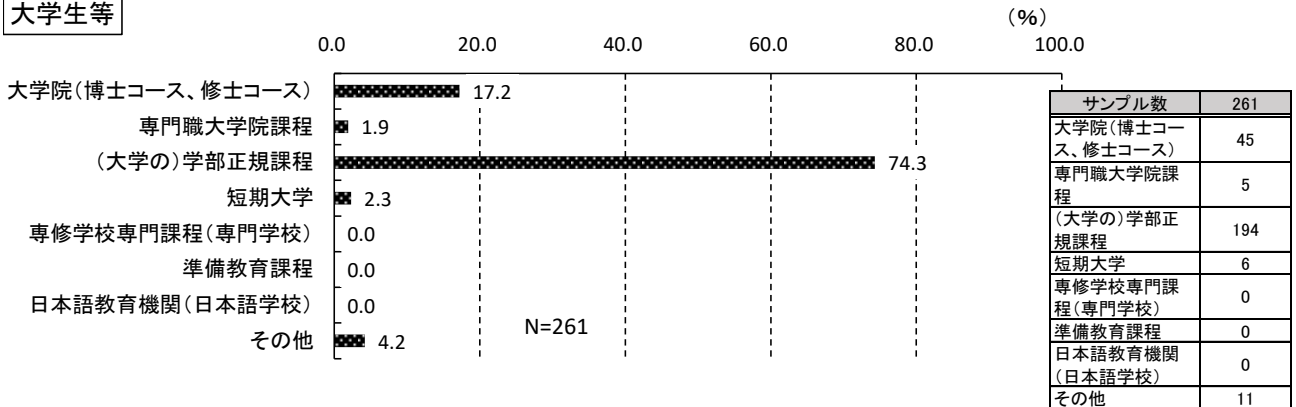
① 現在の留学先

設問：あなたのいまの留学先（学校）は、次のどれですか？（1つだけ選択）

日本語学校生等



大学生等

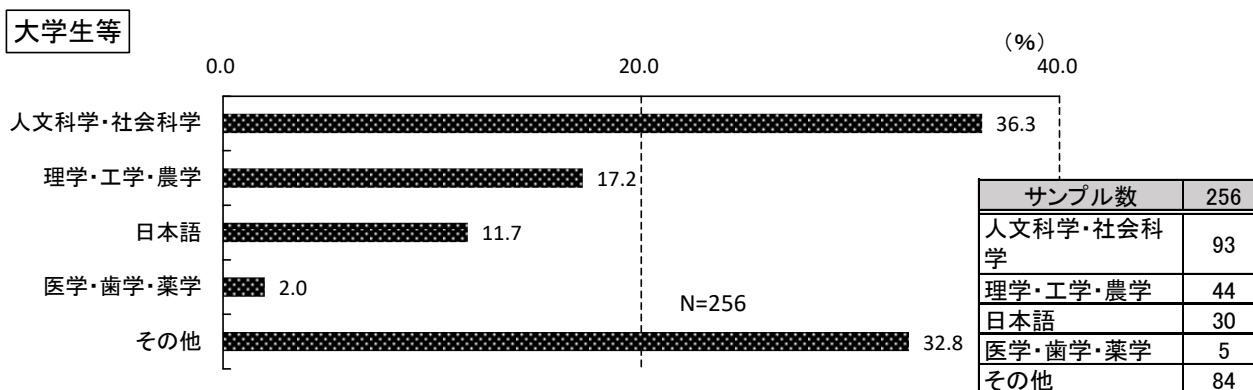
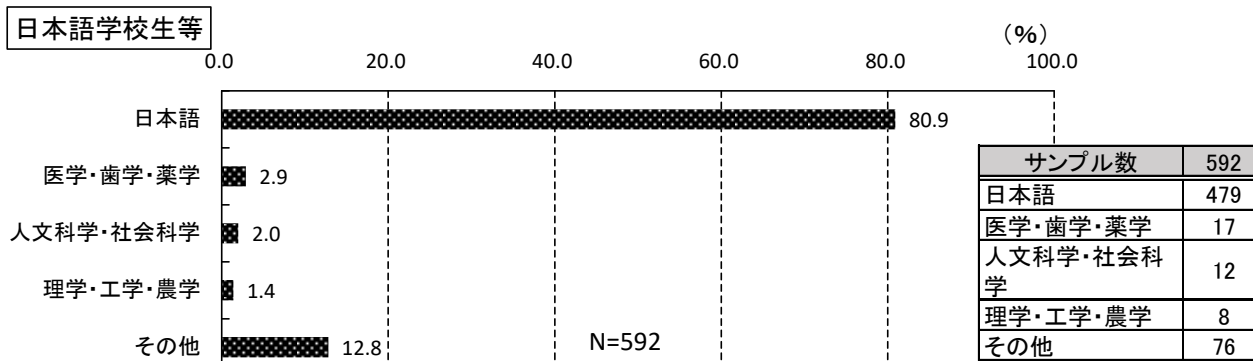


【出身国別】

出身国	サンプル数	留学先								
		大学院(博士コース、修士コース)	専門職大学院課程	正(大学の)学部正規課程	短期大学	専修学校専門課程(専門学校)	準備教育課程	(日本語教育機関)	その他	
日本語教育機関等全体	610	0	0	0	0	174	0	436	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.5	0.0	71.5	0.0	
ベトナム	425	0	0	0	0	132	0	293	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	31.1	0.0	68.9	0.0	
	中国	83	0	0	0	0	36	0	47	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.4	0.0	56.6	0.0
	ネパール	50	0	0	0	0	1	0	49	0
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	98.0	0.0	
その他	50	0	0	0	0	5	0	45	0	
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	90.0	0.0	
大学生等全体	261	45	5	194	6	0	0	0	11	
	100.0	17.2	1.9	74.3	2.3	0.0	0.0	0.0	4.2	
ベトナム	58	2	0	52	2	0	0	0	2	
	100.0	3.4	0.0	89.7	3.4	0.0	0.0	0.0	3.4	
	中国	151	27	1	117	2	0	0	0	4
		100.0	17.9	0.7	77.5	1.3	0.0	0.0	0.0	2.6
その他	52	16	4	25	2	0	0	0	5	
100.0	30.8	7.7	48.1	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	9.6	

② 現在の専攻分野

設問：あなたのいまの学校の専攻分野を教えてください。1つだけ選択)



【出身国別】

		サンプル数	人文科学・社会科学	理学・工学・農学	医学・歯学・薬学	日本語	その他
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等全体		592	12	8	17	479	76
		100.0	2.0	1.4	2.9	80.9	12.8
出身国	ベトナム	409	8	3	16	313	69
		100.0	2.0	0.7	3.9	76.5	16.9
	中国	82	0	1	1	76	4
		100.0	0.0	1.2	1.2	92.7	4.9
出身国	ネパール	49	2	0	0	46	1
		100.0	4.1	0.0	0.0	93.9	2.0
出身国	その他	50	2	4	0	42	2
		100.0	4.0	8.0	0.0	84.0	4.0
大学生等全体		256	93	44	5	30	84
		100.0	36.3	17.2	2.0	11.7	32.8
出身国	ベトナム	56	28	2	1	4	21
		100.0	50.0	3.6	1.8	7.1	37.5
	中国	148	54	26	4	16	48
	100.0	36.5	17.6	2.7	10.8	32.4	
出身国	その他	52	11	16	0	10	15
		100.0	21.2	30.8	0.0	19.2	28.8

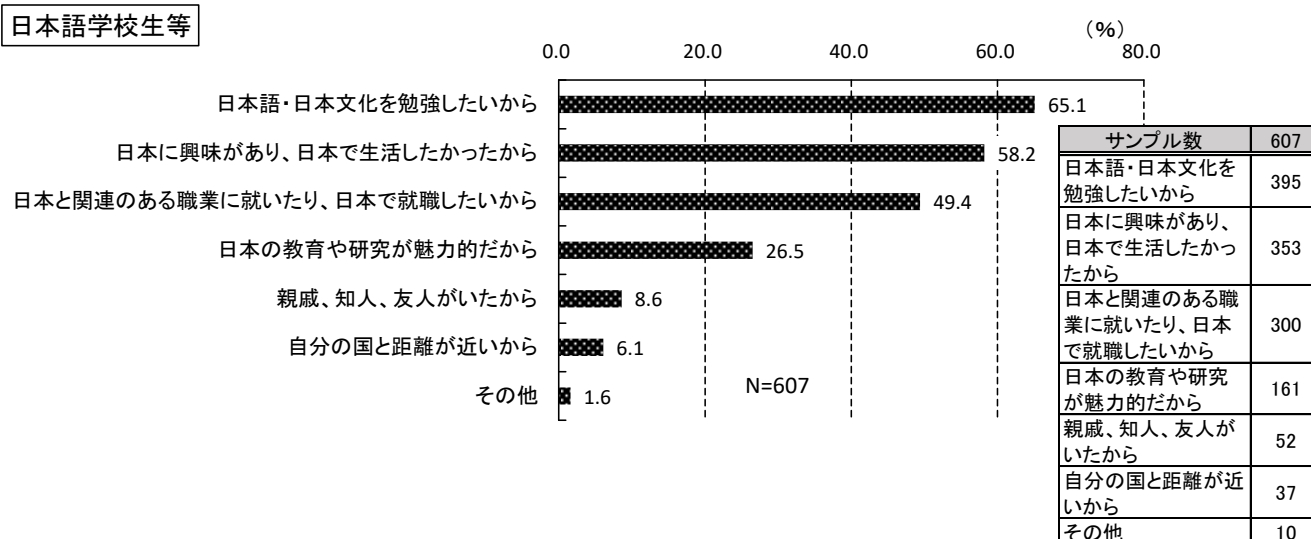
③ 留学先に日本を選んだ理由

設問：あなたは、なぜ日本を留学先に選びましたか？（3つまで複数回答可）

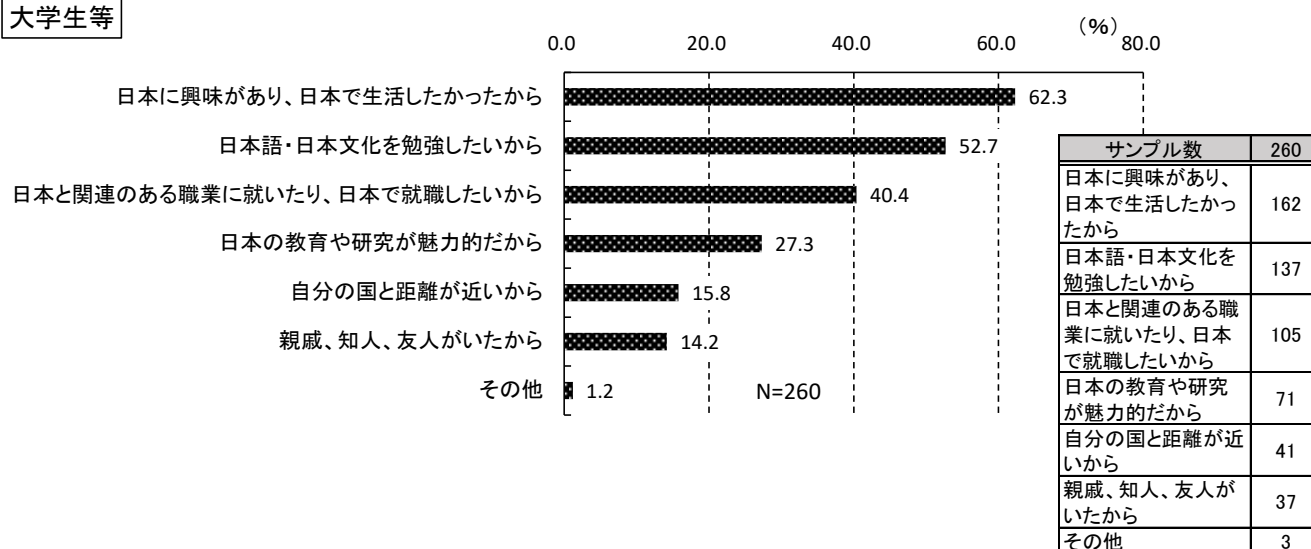
日本語学校生等では、「日本語・日本文化を勉強したいから」が65.1%で最も高く、次いで「日本に興味があり、日本で生活したかったから」が58.2%、「日本と関連のある職業に就いたり、日本で就職したいから」が49.4%となった。

大学生等では、「日本に興味があり、日本で生活したかったから」が62.3%で最も高く、次いで「日本語・日本文化を勉強したいから」が52.7%、「日本と関連のある職業に就いたり、日本で就業したいから」が40.4%で、上位三項目は、日本語学校生等と同様の結果となった。

日本語学校生等



大学生等



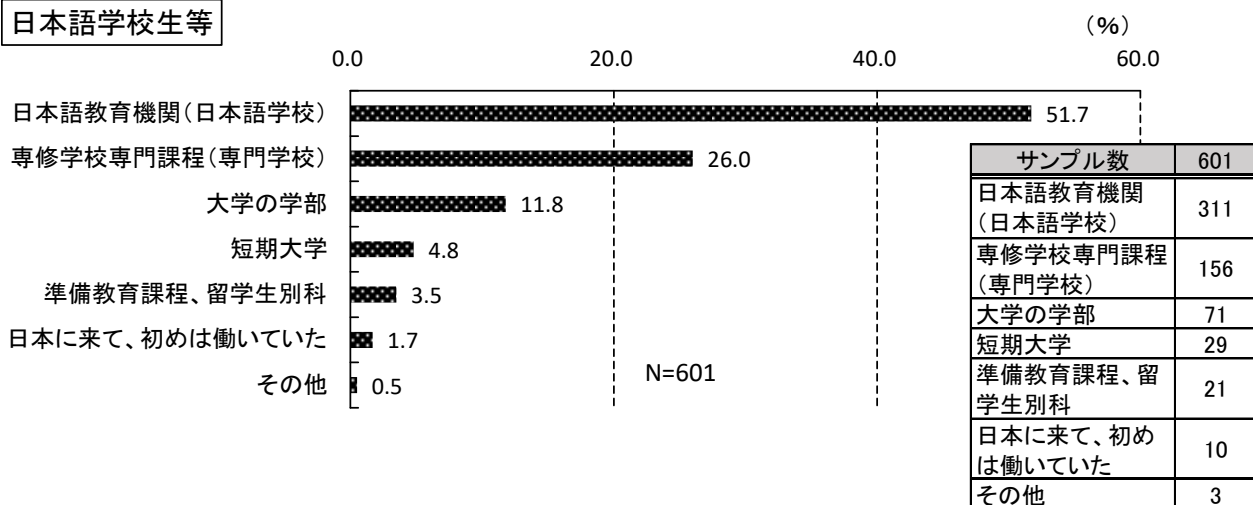
④ 日本で最初に入学した学校

設問：あなたが日本に来て、一番最初に入学した学校は、次のどれですか？（1つだけ選択）

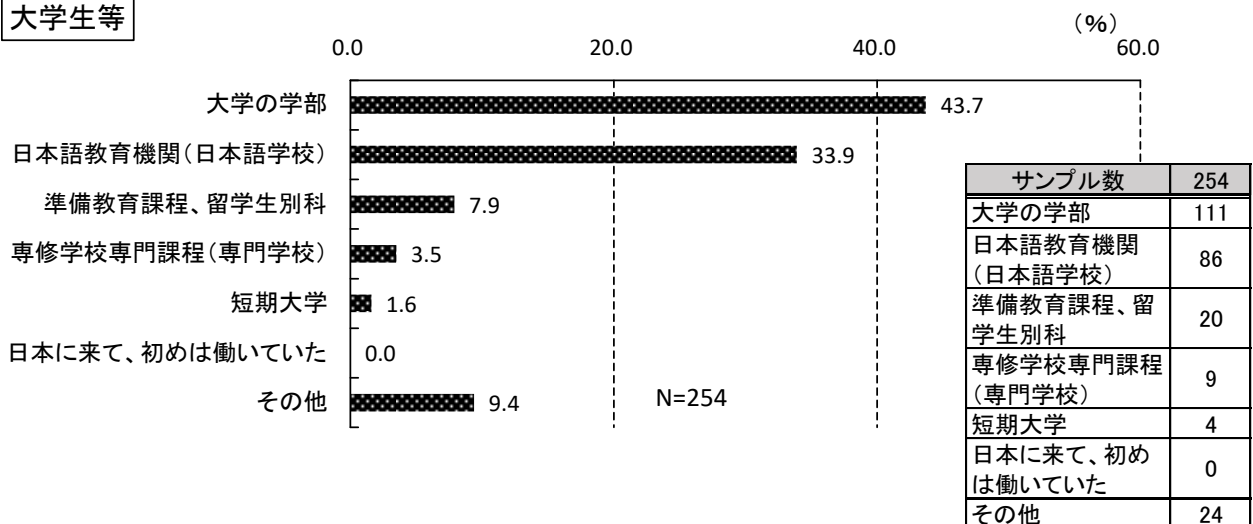
日本語学校生等では、「日本語教育機関（日本語学校）」が51.7%で最も高く、次いで「専修学校専門課程（専門学校）」が26.0%、「大学の学部」が11.8%となった。

大学生等では、「大学の学部」が43.7%で最も高く、次いで「日本語教育機関（日本語学校）」が33.9%、「その他」が9.4%となった。

日本語学校生等



大学生等



(3) アルバイト先における就労環境について（留学生のみ）

① アルバイトの有無

設問：あなたは、いま、アルバイトをしていますか？（1つだけ選択）

アルバイトをしている者は、日本語学校生等では 94.8%に対し、大学生等では 71.5%と、アルバイトの状況に差がみられた。

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともにベトナム出身者でそれぞれ 90%以上の者がアルバイトをしているのに対し、中国出身者ではそれぞれ 70%程度で、出身国によってアルバイトの状況に違いがみられた。

		サンプル数	はい	いいえ
		上段:実数、下段:%		
日本語学校生等全体		592 100.0	561 94.8	31 5.2
出身国	ベトナム	409 100.0	405 99.0	4 1.0
	中国	83 100.0	59 71.1	24 28.9
	ネパール	50 100.0	50 100.0	0 0.0
	その他	48 100.0	45 93.8	3 6.3
大学生等全体		256 100.0	183 71.5	73 28.5
出身国	ベトナム	55 100.0	52 94.5	3 5.5
	中国	149 100.0	110 73.8	39 26.2
	その他	52 100.0	21 40.4	31 59.6

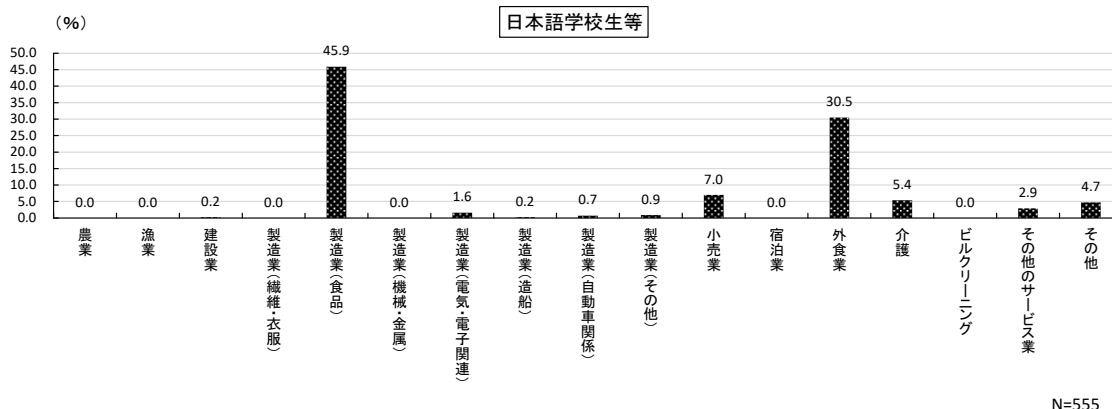
② 現在の職場（アルバイト先）の業種

設問：主なアルバイトは、どのような仕事ですか？（1つだけ選択）

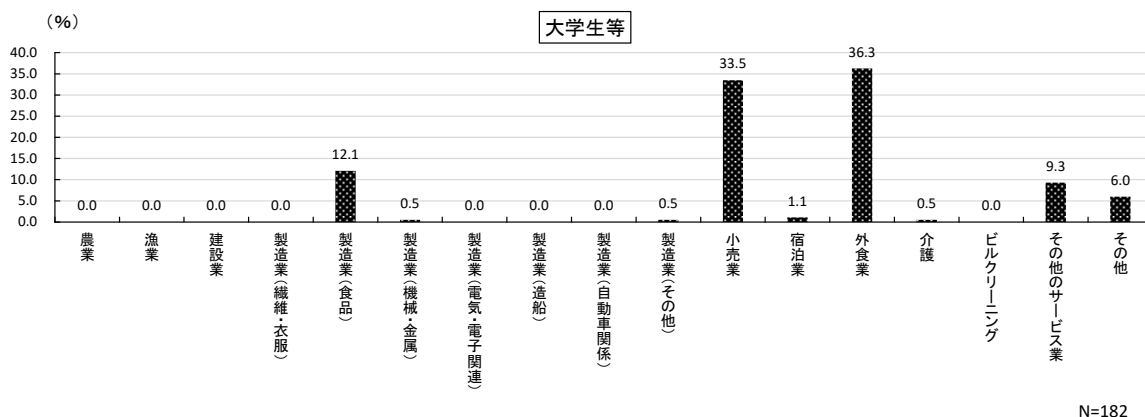
日本語学校生等では、「製造業（食品）」が45.9%で最も高く、次いで「外食業」が30.5%、「小売」が7.0%と、3業種で80%以上を占めた。

大学生等では、「外食業」が36.3%で最も高く、次いで「小売業」が33.5%、「製造業（食品）」が12.1%と、業種に違いはあるが、日本語学校生等と同様に、3業種で80%以上を占めた。

サンプル数	農業	漁業	建設業	製造業(繊維・衣服)	製造業(食品)	製造業(機械・金属)	製造業(電気・電子関連)	製造業(造船)	製造業(自動車関係)
	0	0	1	0	255	0	9	1	4
555	製造業(その他)	小売業	宿泊業	外食業	介護	ビルクリーニング	その他のサービス業	その他	
	5	39	0	169	30	0	16	26	



サンプル数	農業	漁業	建設業	製造業(繊維・衣服)	製造業(食品)	製造業(機械・金属)	製造業(電気・電子関連)	製造業(造船)	製造業(自動車関係)
	0	0	0	0	22	1	0	0	0
182	製造業(その他)	小売業	宿泊業	外食業	介護	ビルクリーニング	その他のサービス業	その他	
	1	61	2	66	1	0	17	11	



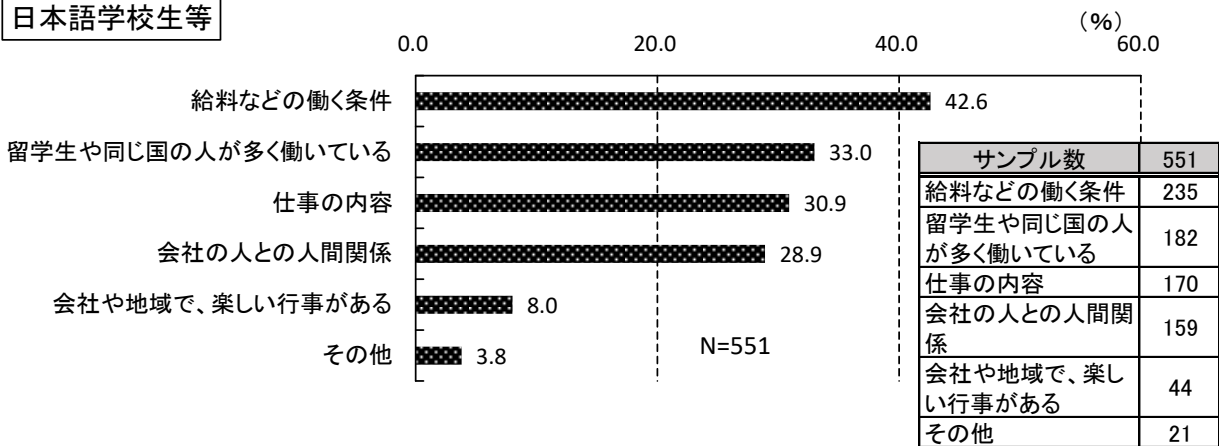
③ 現在の職場（アルバイト先）の良い点

設問：現在のアルバイト先の良い点は何ですか？（複数回答可）

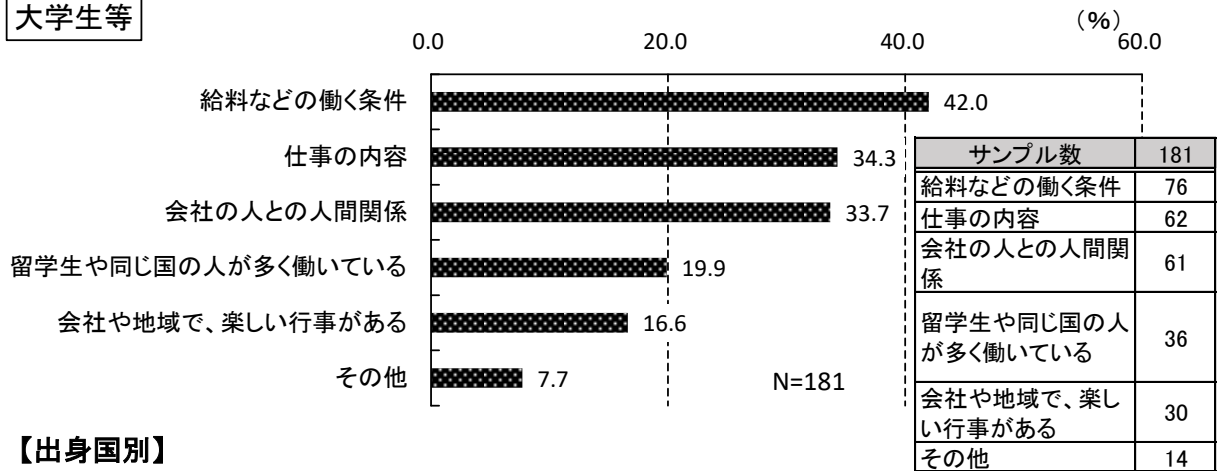
日本語学校生等では、「給料などの働く条件」が42.6%で最も高く、次いで「留学生や同じ国の人が多く働いている」が33.0%、「仕事の内容」が30.9%となった。

大学生等では、「給料などの働く条件」が42.0%で最も高く、次いで「仕事の内容」が34.3%、「会社の人との人間関係」が33.7%で、いずれも給料などの条件を評価しているほか、同国籍者の存在や人間関係などを評価する者の割合が高い結果となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、「給料などの働く条件」については、日本語学校生等ではベトナム出身者で48.1%で他国出身者と比較して高くなっているが、大学生等では出身国による差はみられない。

また、日本語学校生等では、ネパール出身者で「会社の人との人間関係」が57.1%で他の国と比較して高くなっている。

大学生等では、ベトナム出身者で「仕事の内容」が52.9%、中国出身者で「会社や地域で楽しい行事がある」が23.9%で、他国出身者と比較して高くなっている。

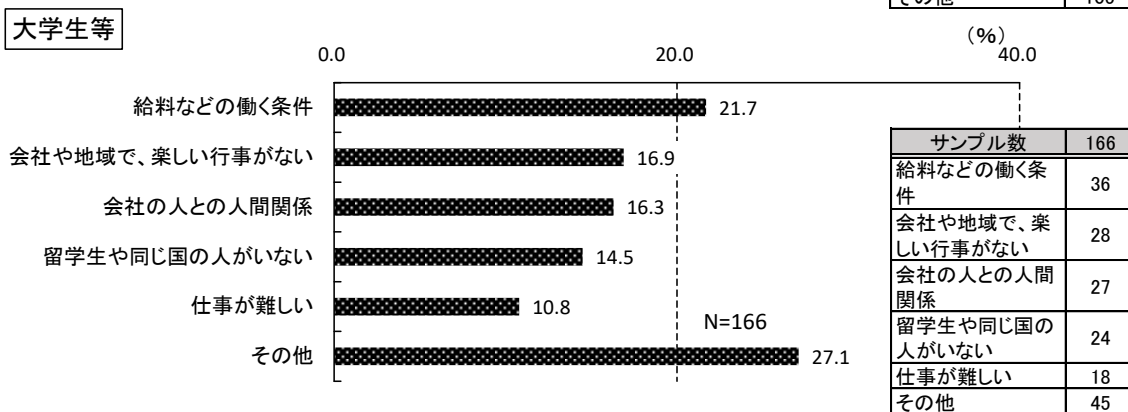
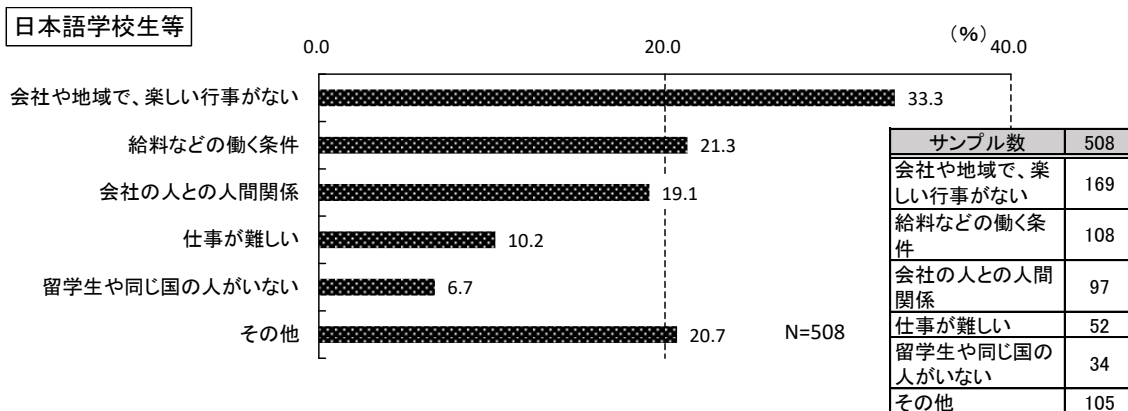
	サンプル数	仕事の内容	給料などの働く条件	会社の人との人間関係	留学生や同じ国の人が多く働いている	会社や地域で、楽しい行事がある	その他	
上段: 実数, 下段: %								
日本語学校生等全体	551	170	235	159	182	44	21	
	100.0	30.9	42.6	28.9	33.0	8.0	3.8	
出身国	ベトナム	397	140	191	96	134	17	8
		100.0	35.3	48.1	24.2	33.8	4.3	2.0
	中国	58	11	22	17	23	10	5
		100.0	19.0	37.9	29.3	39.7	17.2	8.6
	ネパール	49	7	13	28	13	5	3
	100.0	14.3	26.5	57.1	26.5	10.2	6.1	
その他	45	12	7	18	12	12	5	
	100.0	26.7	15.6	40.0	26.7	26.7	11.1	
大学生等全体	181	62	76	61	36	30	14	
	100.0	34.3	42.0	33.7	19.9	16.6	7.7	
出身国	ベトナム	51	27	21	17	10	3	1
		100.0	52.9	41.2	33.3	19.6	5.9	2.0
	中国	109	29	46	38	25	26	10
		100.0	26.6	42.2	34.9	22.9	23.9	9.2
その他	21	6	9	6	1	1	3	
	100.0	28.6	42.9	28.6	4.8	4.8	14.3	

④ 現在の職場（アルバイト先）の嫌な点

設問：いまのアルバイト先の嫌な点は何ですか？（複数回答可）

日本語学校生等では、「会社や地域で、楽しい行事がない」が 33.3%で最も高く、次いで「給料などの働く条件」が 21.3%、「その他」が 20.7%、「会社の人との人間関係」が 19.1%となっている。

大学生等では、「その他」を除けば、「給料などの働く条件」が 21.7%、次いで「会社や地域で、楽しい行事がない」が 16.9%、「会社の人との人間関係」が 16.3%で、「その他」を除いた上位 3 項目は、日本語学校生等、大学生等ともに同様の結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、ベトナムとネパール出身者、大学生等ではベトナム出身者で「会社や地域で、楽しい行事がない」の割合が他国出身者と比較して高い傾向となった。

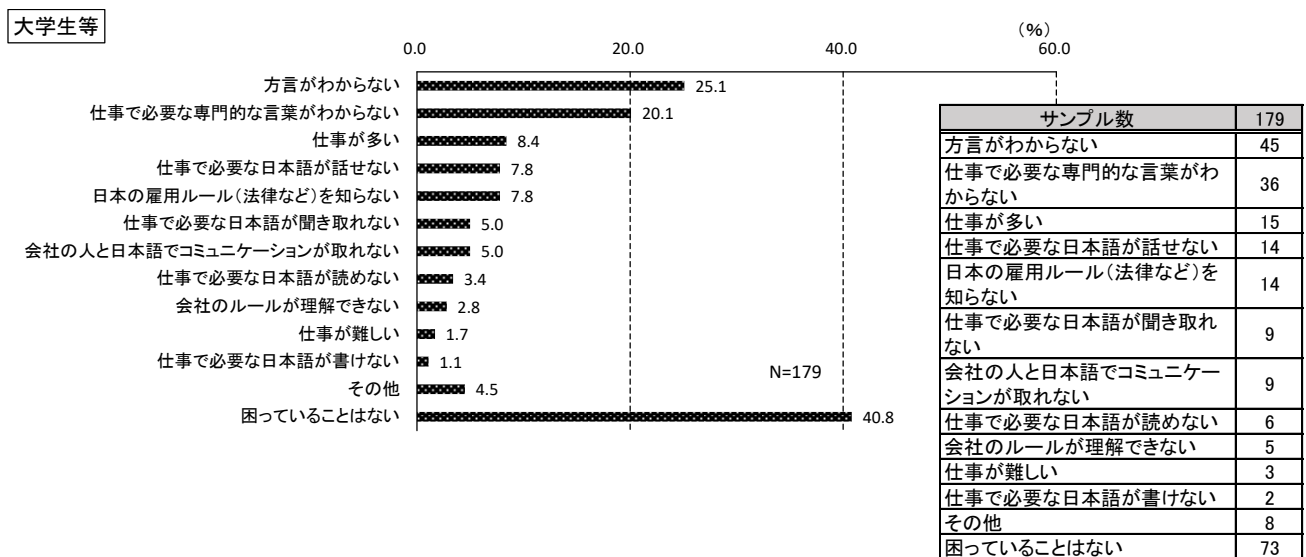
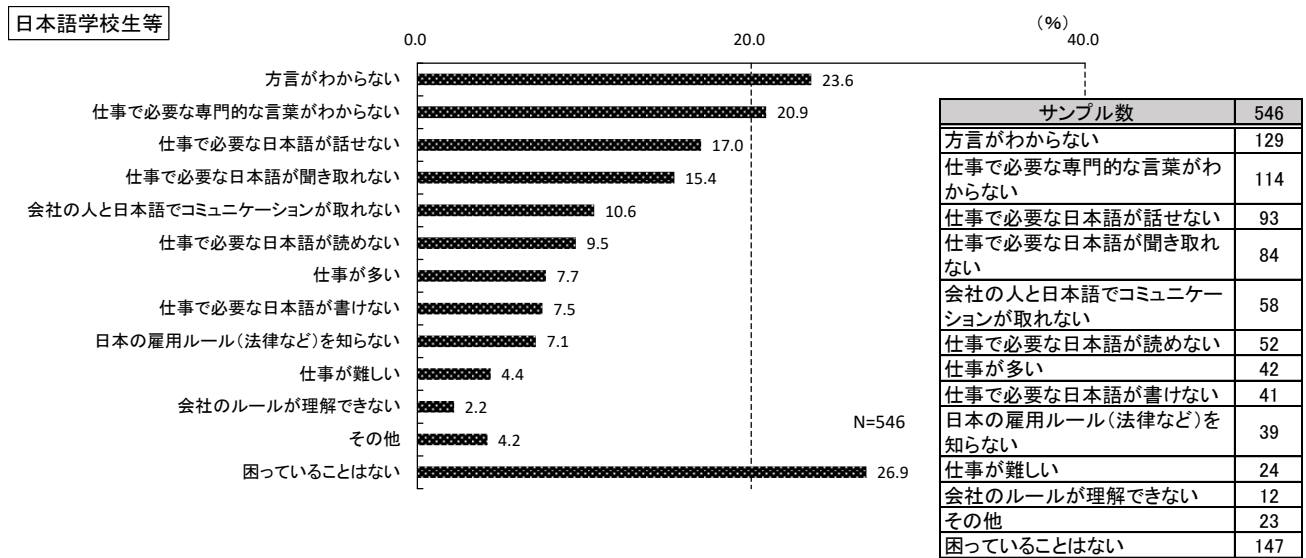
	サンプル数	仕事が難しい	給料などの働く条件	会社の人との人間関係	留学生や同じ国の人がいない	会社や地域で、楽しい行事がない	その他	
上段:実数、下段:%								
日本語学校生等全体	508	52	108	97	34	169	105	
	100.0	10.2	21.3	19.1	6.7	33.3	20.7	
出身国	ベトナム	369	30	75	70	21	141	71
		100.0	8.1	20.3	19.0	5.7	38.2	19.2
	中国	53	4	15	15	5	6	20
		100.0	7.5	28.3	28.3	9.4	11.3	37.7
ネパール	43	10	6	8	5	13	6	
	100.0	23.3	14.0	18.6	11.6	30.2	14.0	
その他	42	8	12	4	3	8	8	
	100.0	19.0	28.6	9.5	7.1	19.0	19.0	
大学生等全体	166	18	36	27	24	28	45	
	100.0	10.8	21.7	16.3	14.5	16.9	27.1	
出身国	ベトナム	50	6	8	8	3	16	11
		100.0	12.0	16.0	16.0	6.0	32.0	22.0
	中国	97	7	24	17	16	12	30
	100.0	7.2	24.7	17.5	16.5	12.4	30.9	
その他	19	5	4	2	5	0	4	
	100.0	26.3	21.1	10.5	26.3	0.0	21.1	

⑤ 現在の職場（アルバイト先）で困っていること

設問：いまのアルバイトで、困っていることは何ですか？（複数回答可）

日本語学校生等では、「困っていることはない」が26.9%で最も高くなっている一方で、何らかの困りごとがある回答した者が73.1%いた。その内容としては、「方言が分からない」が23.6%、「仕事に必要な専門的な言葉がわからない」が20.9%、「仕事に必要な日本語が話せない」が17.0%、「仕事に必要な日本語が聞き取れない」が15.4%と、日本語に関連した困りごとをあげる者の割合が高い傾向となった。

大学生等も同様に「困っていることはない」が40.8%で最も高くなっている一方で、何らかの困りごとがある回答した者が59.2%いた。その内容としては、「方言が分からない」が25.1%、「仕事に必要な専門的な言葉がわからない」が20.1%と高い。しかしながら、日本語学校生等と比較して、日本語に関連する項目の割合は低い傾向となった。



【日本語習熟度別】

日本語習熟度別にみると、日本語学校生等では、習熟度が上がると「困っていることはない」の割合が高くなる傾向となった。大学生等についても、習熟度【高】では、「困っていることはない」が46.2%と高い傾向となった。

また、日本語学校生等では、仕事に必要な日本語が「聞き取れない」、「話せない」で、習熟度【低】ほど、困っていると回答する者の割合が高い傾向となった。

	サンプル数	仕事 が 難 しい	仕事 が 多 い	仕事 で 必 要 な 日 本 語 が 聞 き 取 れ な い	仕事 で 必 要 な 日 本 語 が 話 せ な い	仕事 で 必 要 な 日 本 語 が 読 め な い	仕事 で 必 要 な 日 本 語 が 書 け な い	仕事 で 必 要 な 日 本 語 の 言 葉 が わ か ら な い	仕事 で 必 要 な 日 本 語 の 方 言 が わ か ら な い	社 会 の シ ョ ン が 取 れ な い	社 会 の ル ー ル が 理 解 で き な い	日 本 の 法 律 な ど の ル ー ル を 知 ら な い	日 本 の 雇 用 ル ー ル を 知 ら な い	困 っ て い る こ と は な い	そ の 他	
上段:実数、下段:%																
日本語教育機関 全体	546 100.0	24 4.4	42 7.7	84 15.4	93 17.0	52 9.5	41 7.5	114 20.9	129 23.6	58 10.6	12 2.2	39 7.1	147 26.9	23 4.2		
日本語習熟度	習熟度【低】	53 100.0	4 7.5	3 5.7	12 22.6	21 39.6	6 11.3	5 9.4	7 13.2	8 15.1	5 9.4	0 0.0	2 3.8	12 22.6	3 5.7	
	習熟度【中】	305 100.0	13 4.3	23 7.5	44 14.4	49 16.1	35 11.5	29 9.5	63 20.7	79 25.9	37 12.1	4 1.3	19 6.2	78 25.6	13 4.3	
	習熟度【高】	129 100.0	1 0.8	11 8.5	18 14.0	16 12.4	3 2.3	4 3.1	35 27.1	33 25.6	10 7.8	5 3.9	14 10.9	43 33.3	5 3.9	
大学生等全体	179 100.0	3 1.7	15 8.4	9 5.0	14 7.8	6 3.4	2 1.1	36 20.1	45 25.1	9 5.0	5 2.8	14 7.8	73 40.8	8 4.5		
日本語習熟度	習熟度【低】	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	
	習熟度【中】	29 100.0	0 0.0	2 6.9	2 6.9	7 24.1	4 13.8	1 3.4	6 20.7	9 31.0	3 10.3	0 0.0	1 3.4	7 24.1	2 6.9	
	習熟度【高】	132 100.0	2 1.5	11 8.3	6 4.5	4 3.0	0 0.0	0 0.0	27 20.5	32 24.2	5 3.8	4 3.0	11 8.3	61 46.2	6 4.5	

※調査対象者の主観に基づく回答を整理・類別した区分

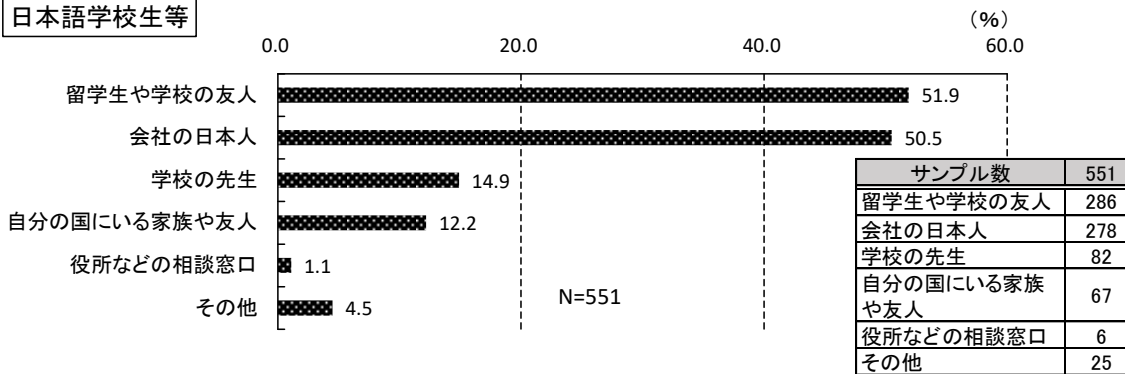
⑥ 現在の職場（アルバイト先）で困っているときの相談相手

設問：アルバイトで困っているときに、誰に相談しますか？（複数回答可）

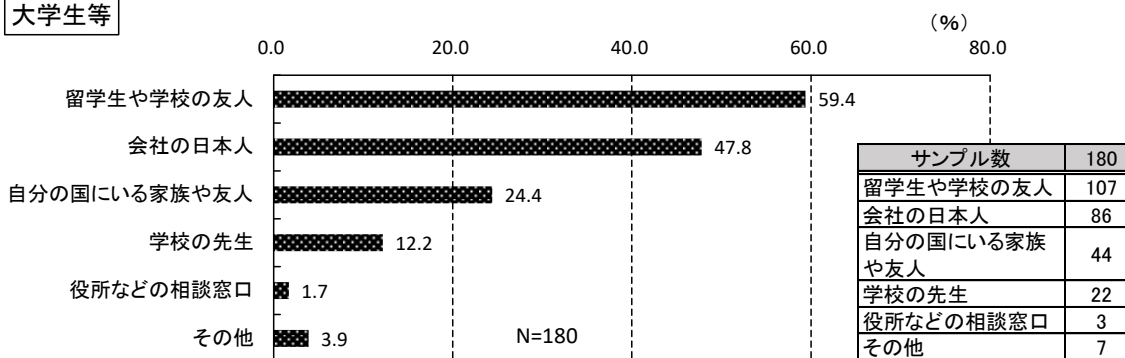
日本語学校生等では、「留学生や学校の友人」が51.9%で最も高く、次いで「会社の日本人」が50.5%、「学校の先生」が14.9%と高くなっている。

大学生等では、「留学生や学校の友人」が59.4%で最も高く、次いで「会社の日本人」が47.8%、「自分の国にいる家族や友人」が24.4%と高くなっており、アルバイトにおける相談相手上位2項目については、日本語学校生等、大学生等ともに同様の傾向となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、ベトナム出身者で「会社の日本人」、「留学生や学校の友人」がそれぞれ53.4%、58.9%で、他国出身者と比較して高い傾向となった。また、中国出身者においては、「自分の国にいる家族や友人」が39.7%と、他国出身者と比較して高い傾向となった。

大学生等については、ベトナム出身者で「会社の日本人」が53.8%、中国出身者で「留学生や学校の友人」が62.4%と、それぞれ他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	会社の日本人	留学生や学校の友人	役所などの相談窓口	家族や友人に在る	学校の先生	その他
上段:実数, 下段:%							
日本語学校生等全体	551	278	286	6	67	82	25
	100.0	50.5	51.9	1.1	12.2	14.9	4.5
出身国	ベトナム	399	213	235	4	32	32
		100.0	53.4	58.9	1.0	8.0	8.0
	中国	58	20	25	1	23	20
		100.0	34.5	43.1	1.7	39.7	34.5
	ネパール	49	23	10	1	4	20
	100.0	46.9	20.4	2.0	8.2	40.8	
その他	43	21	15	0	8	10	
	100.0	48.8	34.9	0.0	18.6	23.3	
大学生等全体	180	86	107	3	44	22	7
	100.0	47.8	59.4	1.7	24.4	12.2	3.9
出身国	ベトナム	52	28	29	1	8	5
		100.0	53.8	55.8	1.9	15.4	9.6
	中国	109	52	68	2	31	10
		100.0	47.7	62.4	1.8	28.4	9.2
その他	19	6	10	0	5	7	
	100.0	31.6	52.6	0.0	26.3	36.8	

【アルバイトで困っている際の相談相手の関係性】

アルバイトで困っている際の相談相手について、他の選択肢への回答状況とあわせてみると、日本語学校生等では、「自分の国にいる家族や友人」に相談している者は、約 40%の者が「留学生や学校の友人」にも相談をしているという結果となった。

大学生等では、「自分の国にいる家族や友人」に相談している者は、約 50%の者が、「留学生や学校の友人」にも相談しているという結果となった。

		サンプル数	会社の日本人	留学生や学校の友人	役所などの相談窓口	自分の国にいる家族や友人	学校の先生	その他
上段:実数、下段:%								
日本語教育機関全体		551 100.0	278 50.5	286 51.9	6 1.1	67 12.2	82 14.9	25 4.5
アルバイトで困っている際の相談相手	会社の日本人	278 100.0	278 100.0	99 35.6	4 1.4	17 6.1	19 6.8	2 0.7
	留学生や学校の友人	286 100.0	99 34.6	286 100.0	4 1.4	26 9.1	40 14.0	2 0.7
	役所などの相談窓口	6 100.0	4 66.7	4 66.7	6 100.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0
	自分の国にいる家族や友人	67 100.0	17 25.4	26 38.8	0 0.0	67 100.0	14 20.9	0 0.0
	学校の先生	82 100.0	19 23.2	40 48.8	2 2.4	14 17.1	82 100.0	0 0.0
	その他	25 100.0	2 8.0	2 8.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 100.0
	大学生等全体	180 100.0	86 47.8	107 59.4	3 1.7	44 24.4	22 12.2	7 3.9
アルバイトで困っている際の相談相手	会社の日本人	86 100.0	86 100.0	40 46.5	2 2.3	14 16.3	8 9.3	0 0.0
	留学生や学校の友人	107 100.0	40 37.4	107 100.0	1 0.9	23 21.5	12 11.2	2 1.9
	役所などの相談窓口	3 100.0	2 66.7	1 33.3	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
	自分の国にいる家族や友人	44 100.0	14 31.8	23 52.3	0 0.0	44 100.0	3 6.8	0 0.0
	学校の先生	22 100.0	8 36.4	12 54.5	1 4.5	3 13.6	22 100.0	2 9.1
	その他	7 100.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	2 28.6	7 100.0

(4) 修了後の就労において求める条件等

① 特定技能の認知度

設問：あなたは、2019年4月に新しくできた在留資格「特定技能」について知っていますか？
(1つだけ選択)

特定技能を「知っている」者は、日本語学校等が57.5%、大学生等は31.8%で、認知度に差がみられたが、日本語学校生等は40%以上、大学生等では60%以上の者が特定技能を認知していないという結果となった。

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに中国出身者で特定技能の認知度がそれぞれ20%程度と低い傾向となった。

		サンプル数	知っている	知らない
上段:実数, 下段:%				
日本語学校生等全体		562 100.0	323 57.5	239 42.5
出身国	ベトナム	395 100.0	260 65.8	135 34.2
	中国	83 100.0	23 27.7	60 72.3
	ネパール	40 100.0	20 50.0	20 50.0
	その他	42 100.0	19 45.2	23 54.8
大学生等全体		239 100.0	76 31.8	163 68.2
出身国	ベトナム	54 100.0	30 55.6	24 44.4
	中国	150 100.0	37 24.7	113 75.3
	その他	35 100.0	9 25.7	26 74.3

② 修了後の就労意向

設問：今後日本で働くことについて聞きます。

① 今後（留学生の方は卒業後）、日本で働きたいですか？（1つだけ選択）

日本語学校生等では「できれば働きたい」が95.6%で、卒業後90%以上の者が日本での就労意向があるという結果となった。

大学生等についても、「できれば働きたい」が82.4%で、80%以上の者が日本での就労意向があるという結果となった。

出身国別にみると、日本語学校生等では、いずれの国の出身者も80%以上の者が「できれば働きたい」という結果となった。

大学生等では、ベトナム出身者で90%以上の者が「できれば働きたい」という結果になった。

		サンプル数	できれば働きた	働きたくない
上段:実数, 下段:%				
日本語学校生等全体		588 100.0	562 95.6	26 4.4
出身国	ベトナム	415 100.0	406 97.8	9 2.2
	中国	80 100.0	68 85.0	12 15.0
	ネパール	47 100.0	46 97.9	1 2.1
	その他	44 100.0	40 90.9	4 9.1
大学生等全体		245 100.0	202 82.4	43 17.6
出身国	ベトナム	57 100.0	53 93.0	4 7.0
	中国	151 100.0	117 77.5	34 22.5
	その他	37 100.0	32 86.5	5 13.5

③ 就労する場合に活用したい在留資格

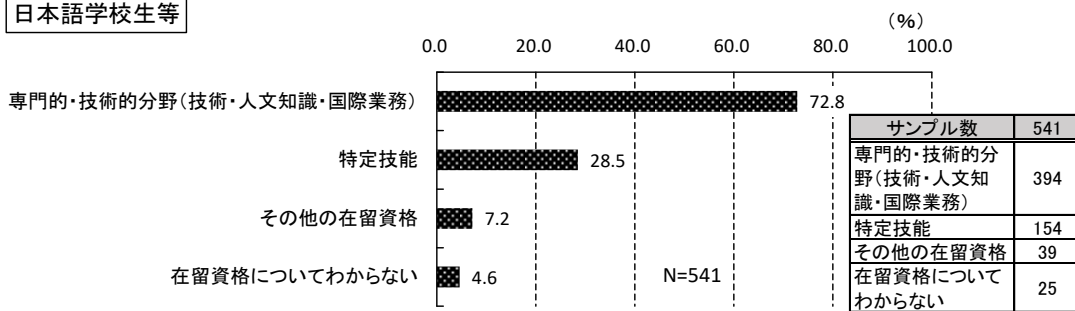
設問：今後日本で働くことについて聞きます。

② どの在留資格で働きたいですか？（複数回答可）

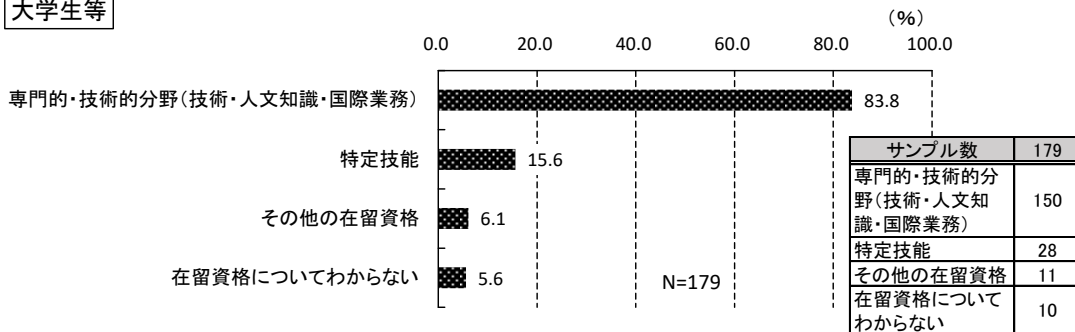
日本語学校生等では、「専門的・技術的分野（技術・人文知識・国際業務）」が72.8%で最も高く、次いで「特定技能」が28.5%、「その他の在留資格」が7.2%となった。

大学生等においても、「専門的・技術的分野（技術・人文知識・国際業務）」が83.8%で最も高く、次いで「特定技能」が15.6%、「その他の在留資格」が6.1%と、活用したい在留資格について、日本語学校生等と同様の傾向となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともにベトナム、中国出身者で「専門的・技術的分野（技術・人文知識・国際業務）」の割合が他国出身者と比較して高く、特に大学生等ではそれぞれ約90%の者が専門的・技術的分野の活用を希望する結果となった。

一方で、日本語学校生等では、ネパール出身者において「特定技能」が47.5%と、他国出身者と比較して高い傾向となった。

出身国	サンプル数	専門的・技術的分野(技術・人文知識・国際業務)	特定技能	その他の在留資格	在留資格についてわからない	
						上段:実数, 下段:%
日本語学校生等全体	541	394	154	39	25	
	100.0	72.8	28.5	7.2	4.6	
出身国	ベトナム	394	305	105	20	10
		100.0	77.4	26.6	5.1	2.5
	中国	66	48	15	10	7
		100.0	72.7	22.7	15.2	10.6
	ネパール	40	18	19	5	5
	100.0	45.0	47.5	12.5	12.5	
その他	39	21	15	4	3	
	100.0	53.8	38.5	10.3	7.7	
大学生等全体	179	150	28	11	10	
	100.0	83.8	15.6	6.1	5.6	
出身国	ベトナム	49	44	7	0	0
		100.0	89.8	14.3	0.0	0.0
	中国	102	91	15	9	3
		100.0	89.2	14.7	8.8	2.9
その他	28	15	6	2	7	
	100.0	53.6	21.4	7.1	25.0	

④ 就労を希望する業種

設問：今後日本で働くことについて聞きます。

③ どのような仕事をしたいですか？（3つまで複数回答可）

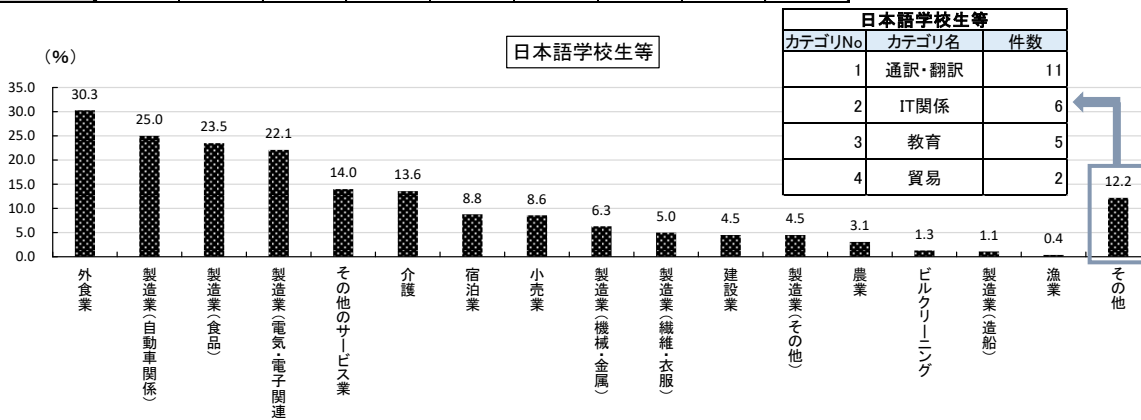
日本語学校生等では、「外食業」が30.3%で最も高く、次いで「製造業（自動車関係）」が25.0%、「製造業（食品）」が23.5%、「製造業（電気・電子関連）」が22.1%と高くなっている。

大学生等では、「その他サービス業」が26.6%で最も高く、次いで「外食業」が17.1%、「小売」が15.1%、「製造業（自動車関係）」が14.1%と高くなっている。

また、「その他」と回答した者の回答内容を見ると、日本語学校生等では「通訳・翻訳」が最も多く、そのほか「IT関係」、「教育」を希望する者がいた。

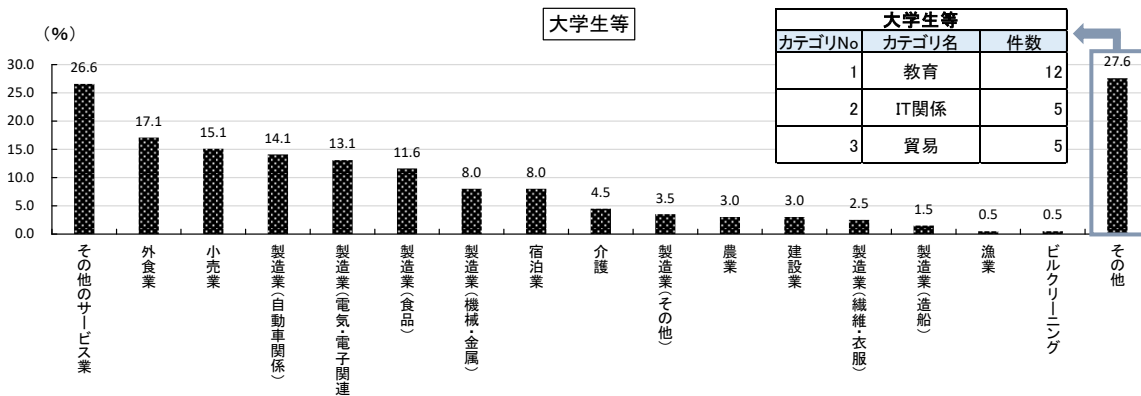
大学生等では、「教育」を希望する者が最も多く、そのほか「IT関係」、「貿易」を希望する者がいた。

サンプル数	外食業	製造業(自動車関係)	製造業(食品)	製造業(電気・電子関連)	その他のサービス業	介護	宿泊業	小売業	製造業(機械・金属)
	169	139	131	123	78	76	49	48	35
557	製造業(繊維・衣服)	建設業	製造業(その他)	農業	ビルクリーニング	製造業(造船)	漁業	その他	
	28	25	25	17	7	6	2	68	



N=557

サンプル数	その他のサービス業	外食業	小売業	製造業(自動車関係)	製造業(電気・電子関連)	製造業(食品)	製造業(機械・金属)	宿泊業	介護
	53	34	30	28	26	23	16	16	9
199	製造業(その他)	農業	建設業	製造業(繊維・衣服)	製造業(造船)	漁業	ビルクリーニング	その他	
	7	6	6	5	3	1	1	55	



N=199

⑤ 希望する業種を選んだ理由

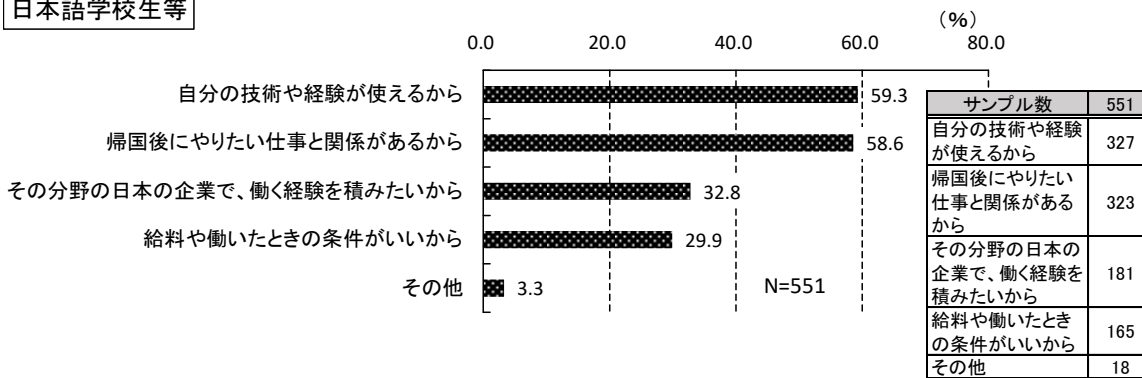
設問：今後日本で働くことについて聞きます。

④ 「③」で○をつけた仕事を選んだ理由は何ですか？（3つまで複数回答可）

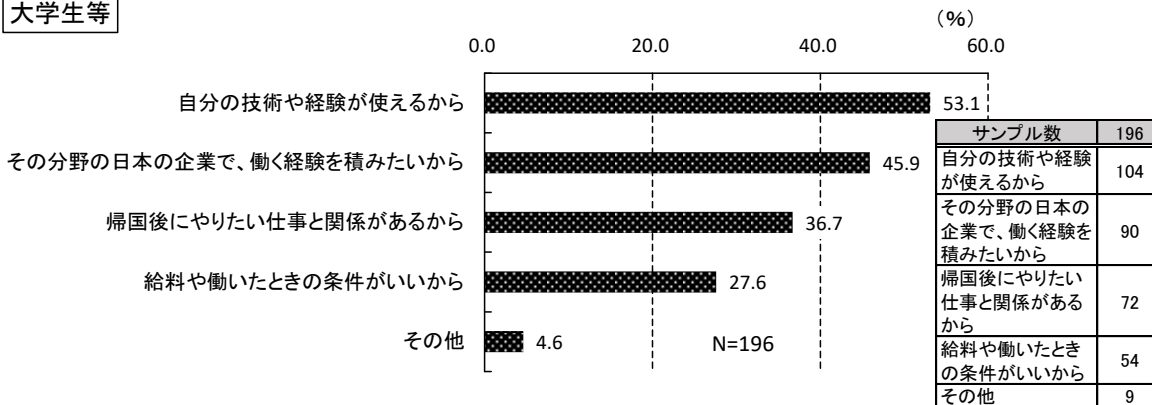
日本語学校生等では、「自分の技術が使えるから」が59.3%で最も高く、次いで「帰国後にやりたい仕事と関係があるから」が58.6%、「その分野の日本の企業で、働く経験を積みたいから」が32.8%と高くなっている。

大学生等では、「自分の技術が使えるから」が53.1%で最も高く、次いで「その分野の日本の企業で、働く経験を積みたいから」が45.9%、「帰国後にやりたい仕事と関係があるから」が36.7%で、上位三項目は日本語学校生等と同様の結果となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、ベトナム出身者で「その分野の日本の企業で、働く経験を積みたいから」が他国出身者と比較して低くなっているが、「帰国後にやりたい仕事と関係があるから」では、他国出身者と比較して高い傾向がみられた。

大学生等では、ベトナム出身者は「給料や働いたときの条件がいいから」についても、他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	が自分の技術や経験が使えるから	か帰国後にやりたい仕事と関係があるから	の給料や働いたときの条件がいいから	を企業で、その分野の日本から経験を積みたいから	その他	
日本語学校生等	551	327	323	165	181	18	
全体	100.0	59.3	58.6	29.9	32.8	3.3	
出身国	ベトナム	399	232	254	124	97	13
		100.0	58.1	63.7	31.1	24.3	3.3
	中国	67	33	24	22	36	5
		100.0	49.3	35.8	32.8	53.7	7.5
出身国	ネパール	46	37	23	6	29	0
		100.0	80.4	50.0	13.0	63.0	0.0
	その他	37	25	21	12	19	0
	100.0	67.6	56.8	32.4	51.4	0.0	
出身国	大学生等全体	196	104	72	54	90	9
		100.0	53.1	36.7	27.6	45.9	4.6
	ベトナム	50	26	27	22	5	3
		100.0	52.0	54.0	44.0	10.0	6.0
出身国	中国	115	63	33	26	68	4
		100.0	54.8	28.7	22.6	59.1	3.5
	その他	31	15	12	6	17	2
	100.0	48.4	38.7	19.4	54.8	6.5	

⑥ 今後の就労において企業に求める条件と、就労・居住希望地域

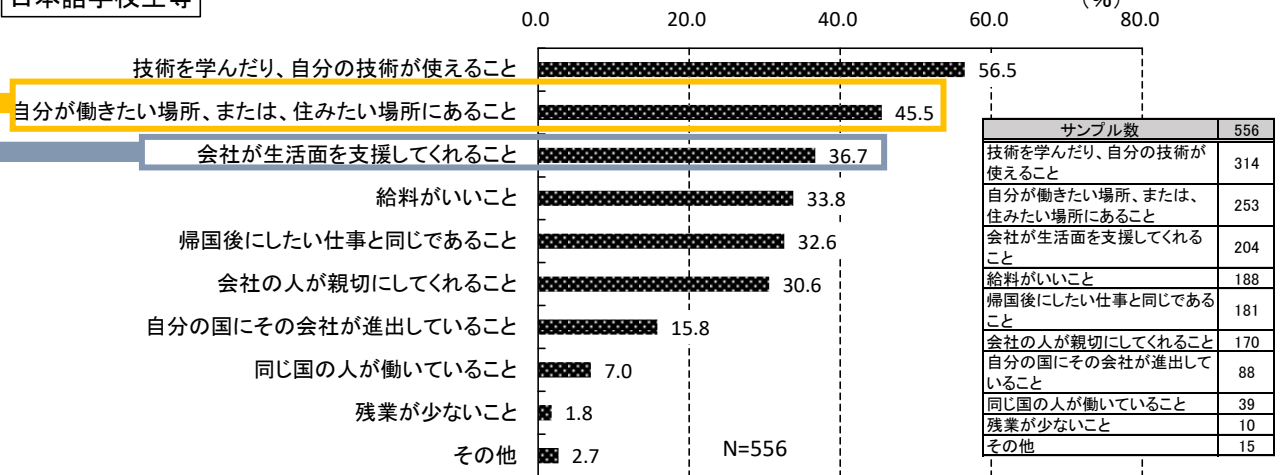
設問：今後日本で働くことについて聞きます。

⑤ 働く会社を選ぶときは、何が大事ですか？（3つまで複数回答可）

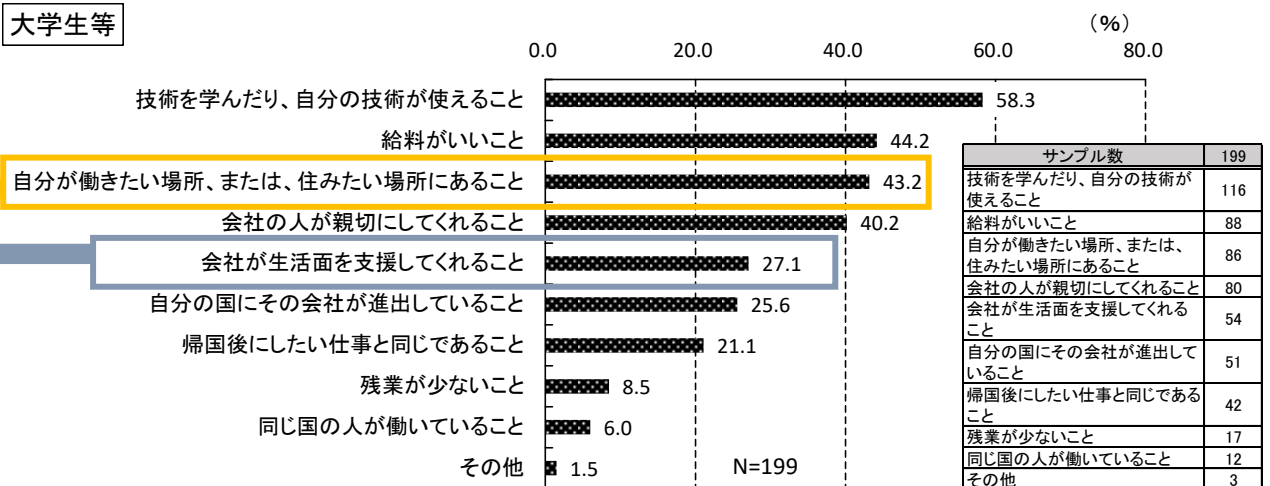
日本語学校生等では、「技術を学んだり、自分の技術が使えること」が56.5%で最も高く、次いで「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」が45.5%、「会社が生活面を支援してくれること」が36.7%と高くなっている。

大学生等では、「技術を学んだり、自分の技術が使えること」が58.3%で最も高く、次いで「給料がいいこと」が44.2%、「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」が43.2%と高く、日本語学校生等、大学生等ともに「技術を学んだり、自分の技術が使えること」が50%以上となっているほか、給与面の条件以外でも「就業・居住地域」や「生活面の支援」などの項目が上位を占めた。

日本語学校生等



大学生等



【希望する会社からの支援内容】（「会社が生活面を支援してくれること」選択者のみ）

働く会社の選択基準について「会社が生活面を支援してくれること」を選択した回答者に希望する支援内容をたずねたところ、日本語学校生等、大学生等ともに「家を借りること」がそれぞれ68.2%、75.0%で最も高い結果となった。

	サンプル数	日本語の勉強	家を借りること	その他	
上段:実数、下段:%					
全体	88	43	60	7	
	100.0	48.9	68.2	8.0	
出身国	ベトナム	62	30	46	5
		100.0	48.4	74.2	8.1
	中国	8	2	8	1
		100.0	25.0	100.0	12.5
	ネパール	12	8	4	0
	100.0	66.7	33.3	0.0	
その他	6	3	2	1	
	100.0	50.0	33.3	16.7	
全体	28	6	21	5	
	100.0	21.4	75.0	17.9	
出身国	ベトナム	6	1	5	0
		100.0	16.7	83.3	0.0
	中国	14	1	11	4
		100.0	7.1	78.6	28.6
その他	8	4	5	1	
	100.0	50.0	62.5	12.5	

【希望する就労・居住地域】（「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」選択者のみ）

働く会社の選択基準について「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」を選択した回答者に希望する地域をたずねたところ、日本語学校生等、大学生等ともに「広島県内」がそれぞれ68.8%、56.5%で最も高い結果となった。

出身国別にみると、いずれの国の出身者でも「広島県内」を希望する者が最も高いが、日本語学校生等、大学生等ともに中国出身者では「東京」を希望する者がそれぞれ20%程度という結果となった。

	サンプル数	広島県内	東京	大阪	その他	
上段:実数、下段:%						
日本語学校生等全体	247	170	22	36	19	
	100.0	68.8	8.9	14.6	7.7	
出身国	ベトナム	181	127	15	28	11
		100.0	70.2	8.3	15.5	6.1
	中国	30	20	6	2	2
		100.0	66.7	20.0	6.7	6.7
	ネパール	18	11	1	2	4
	100.0	61.1	5.6	11.1	22.2	
その他	17	11	0	4	2	
	100.0	64.7	0.0	23.5	11.8	
大学生等全体	85	48	17	13	7	
	100.0	56.5	20.0	15.3	8.2	
出身国	ベトナム	18	13	1	4	0
		100.0	72.2	5.6	22.2	0.0
	中国	56	29	12	9	6
		100.0	51.8	21.4	16.1	10.7
その他	11	6	4	0	1	
	100.0	54.5	36.4	0.0	9.1	

【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、ベトナム出身者で「会社の人が親切にしてくれること」の条件が、他国出身者と比較して高い傾向となった。

大学生等では、中国出身者で「自分が働きたい場所、または、住みたい場所にあること」が、他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	と分技術の技術が使えること	と帰国後にしたい仕事	が自分の国にその会社	残業が少ないこと	給料がいいこと	会社で生活面を支援	て会社の人親切に	いること	い場所、または住みたい場所	その他	
上段:実数、下段:%												
日本語学校生等全体	556 100.0	314 56.5	181 32.6	88 15.8	10 1.8	188 33.8	204 36.7	170 30.6	39 7.0	253 45.5	15 2.7	
出身国	ベトナム	402 100.0	202 50.2	121 30.1	72 17.9	3 0.7	145 36.1	159 39.6	136 33.8	21 5.2	186 46.3	7 1.7
	中国	68 100.0	46 67.6	19 27.9	9 13.2	4 5.9	30 44.1	14 20.6	16 23.5	8 11.8	30 44.1	4 5.9
	ネパール	46 100.0	40 87.0	27 58.7	2 4.3	1 2.2	3 6.5	19 41.3	6 13.0	4 8.7	18 39.1	2 4.3
	その他	38 100.0	25 65.8	14 36.8	5 13.2	1 2.6	10 26.3	12 31.6	12 31.6	6 15.8	18 47.4	2 5.3
大学生等全体	199 100.0	116 58.3	42 21.1	51 25.6	17 8.5	88 44.2	54 27.1	80 40.2	12 6.0	86 43.2	3 1.5	
出身国	ベトナム	51 100.0	22 43.1	12 23.5	12 23.5	1 2.0	28 54.9	22 43.1	24 47.1	2 3.9	18 35.3	0 0.0
	中国	116 100.0	75 64.7	21 18.1	32 27.6	11 9.5	51 44.0	23 19.8	45 38.8	9 7.8	57 49.1	3 2.6
	その他	32 100.0	19 59.4	9 28.1	7 21.9	5 15.6	9 28.1	9 28.1	11 34.4	1 3.1	11 34.4	0 0.0

【希望する就労・居住地域を選択した理由（自由回答）】

希望する就労・居住地域を選択した理由について、自由に記述してもらった回答を分類集約したところ、広島県内を希望する者では、日本語学校生等、大学生等ともに「生活環境がいい」、「住みやすい」など、生活環境の良さを理由としてあげる者が多い傾向となった。

日本語学校生等		
広島県内		
カテゴリNo	カテゴリ名	件数
1	生活環境がいい、住みやすいから	20
2	物価が安いから	4
3	広島での生活に慣れたから	7
東京		
カテゴリNo	カテゴリ名	件数
1	生活するうえで便利だから	3
大阪		
カテゴリNo	カテゴリ名	件数
1	生活するうえで便利だから	2
大学生等		
広島県内		
カテゴリNo	カテゴリ名	件数
1	生活環境がいい、住みやすいから	9
2	広島での生活に慣れたから	3
3	生活するうえで便利だから	4

⑦ **仕事のために、勉強したい知識や技術**

設問：あなたは、今後、仕事のために、勉強したい知識や技術はありますか？（1つだけ選択）

今後の就労のために勉強したい知識や技術が「ある」という者は、日本語学校生等では 84.3%、大学生等では 75.1%で、それぞれ 70%以上の者が、今後の就労のために学習したいことがあるという結果となった。

		サンプル数	ある	ない
上段:実数,下段:%				
日本語学校生等全体		527 100.0	444 84.3	83 15.7
出身国	ベトナム	389 100.0	335 86.1	54 13.9
	中国	68 100.0	55 80.9	13 19.1
	ネパール	37 100.0	28 75.7	9 24.3
	その他	31 100.0	25 80.6	6 19.4
大学生等全体		197 100.0	148 75.1	49 24.9
出身国	ベトナム	52 100.0	37 71.2	15 28.8
	中国	113 100.0	91 80.5	22 19.5
	その他	32 100.0	20 62.5	12 37.5

【仕事のために勉強したい知識や技術について（自由回答）】

今後の就労のために勉強したい知識や技術が「ある」と回答した者に学習したい内容について、自由記述の回答を分類集約したところ、日本語学校生等では「自動車関連」が最も多い結果となった。そのほか「日本語」や「IT・コンピュータ関連」、「経営」などの回答も多くみられた。

大学生等では、「日本語」が最も多く、そのほか「IT・コンピュータ関連」や「英語」などの意見が多くみられた。

日本語学校生等		
カテゴリNo	カテゴリ名	件数
1	自動車関連	38
2	日本語	17
3	IT・コンピュータ関連	13
4	経営	12
5	機械関連	8
6	英語	7

大学生等		
カテゴリNo	カテゴリ名	件数
1	日本語	18
2	IT・コンピュータ関連	11
3	英語	9
4	経営	3
5	機械関連	3
6	自動車関連	2

(5) 日本語の学習について

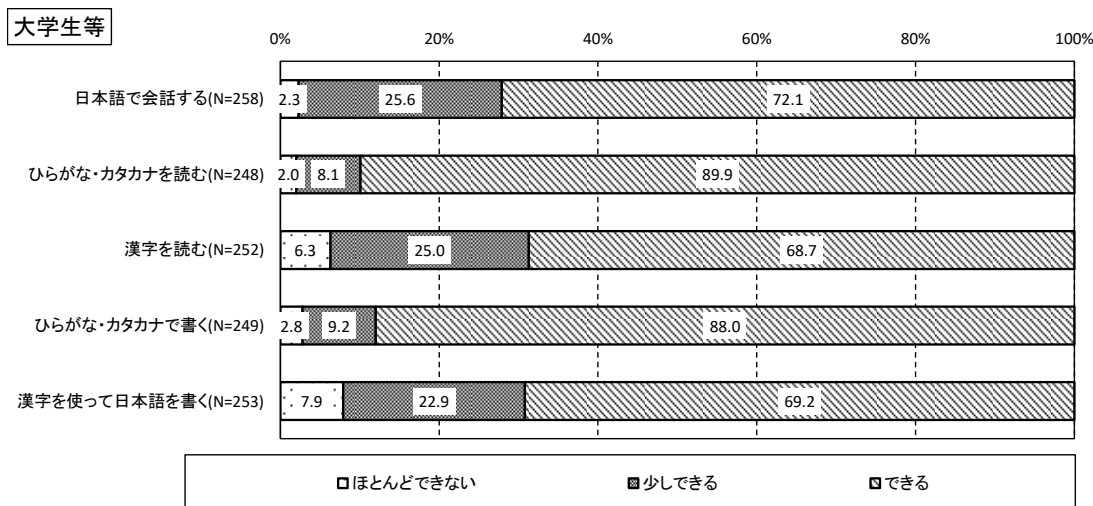
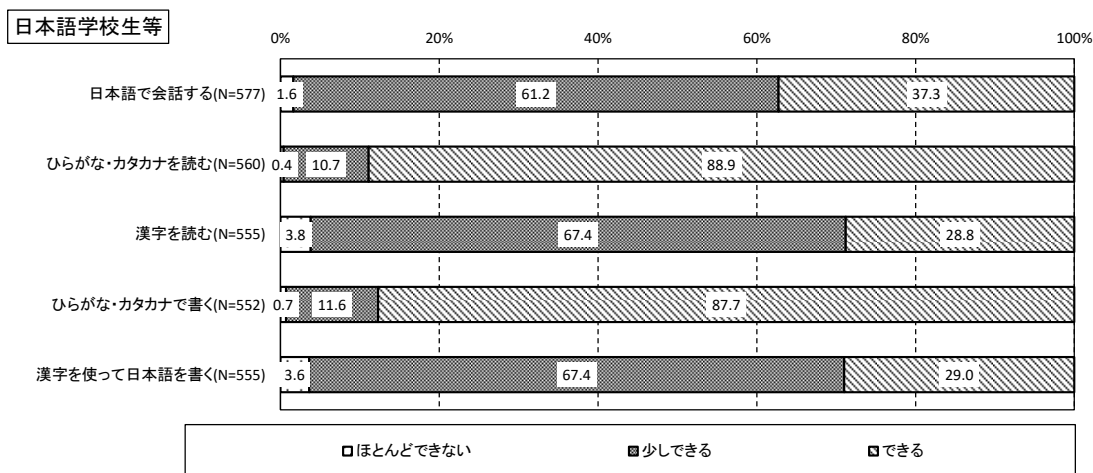
① 日本語の習熟度

設問：あなたは、下の表のことが、どのくらいできますか？

（それぞれの内容について、1つだけ選択）

日本語学校生等では、ひらがな・カタカナを「読む」、「書く」が「できる」としている者がそれぞれ約90%、「日本語で会話する」漢字を「読む」、「書く」ができると回答している者はそれぞれ約30%～40%となった。

一方、大学生等では、すべての項目において「できる」としている者が約70%～90%となっており、日本語学校生等と大学生等との間で、日本語の習熟度に差がみられた。



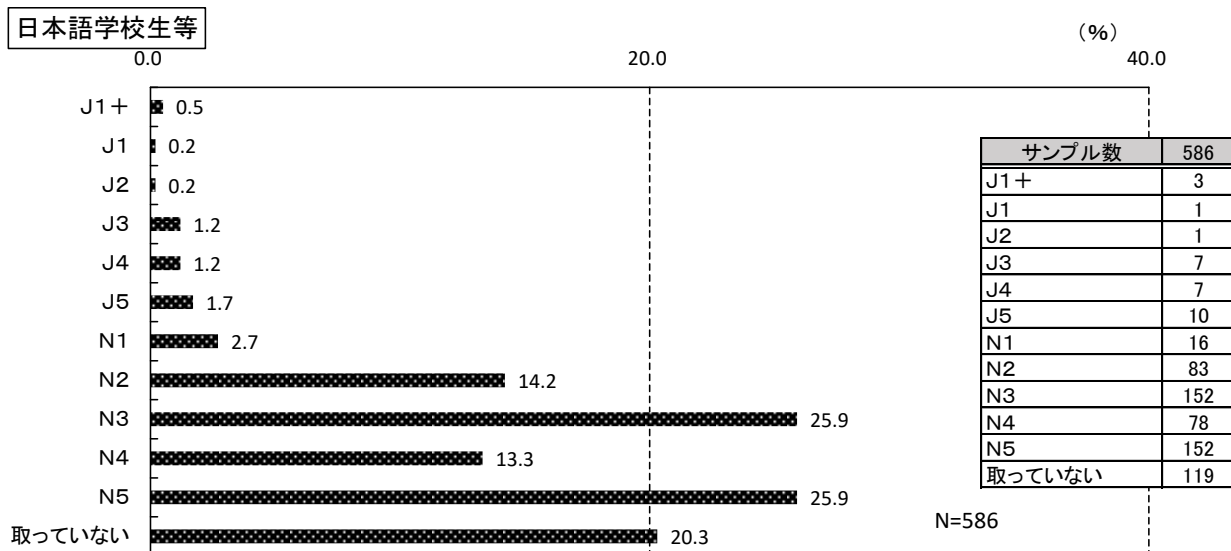
② 現在所有している日本語資格

設問：あなたが、いま、持っている日本語能力に関する資格を教えてください。

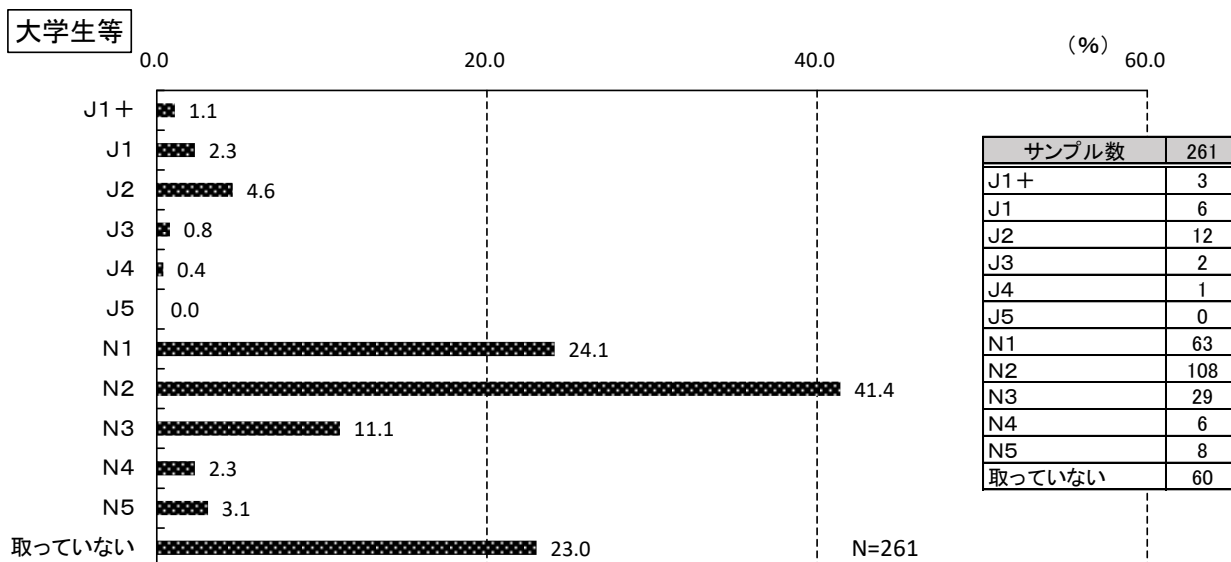
（複数回答可）

日本語学校生等では、「N3」、「N5」がそれぞれ 25.9%で最も高く、「N2」が 14.2%、「N4」が 13.3%となっているが、「取っていない」も 20.3%となっている。

大学生等では、「N2」が 41.4%で最も高く、次いで「N1」が 24.1%と高くなっている。



注：N1～N5 は日本語試験 JLPT，J5～J1+は BJT ビジネス日本語能力テストのレベル



注：N1～N5 は日本語試験 JLPT，J5～J1+は BJT ビジネス日本語能力テストのレベル

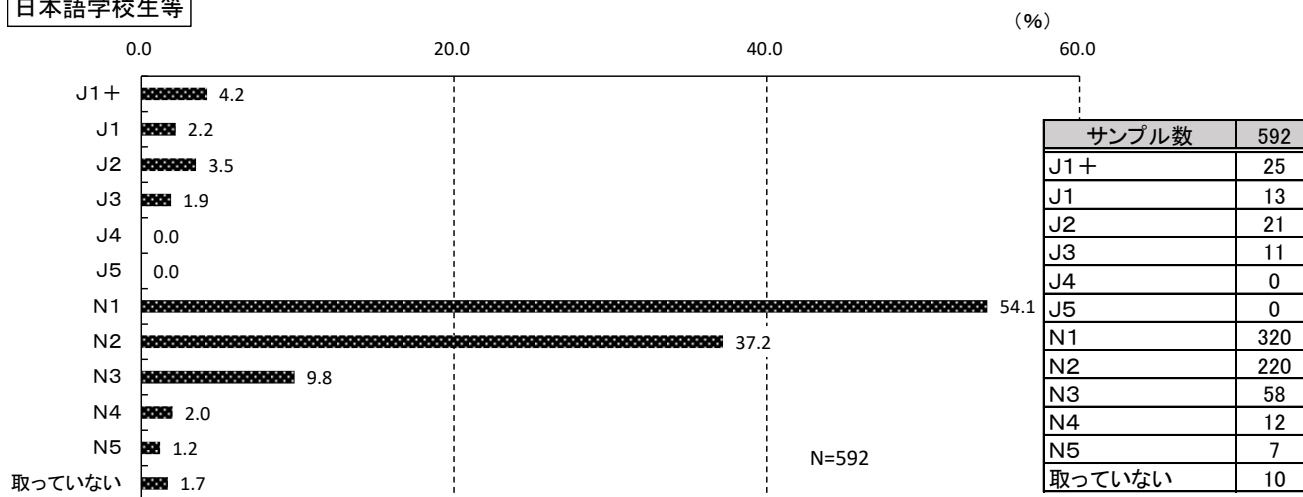
③ 今後取得したいと考えている日本語資格

設問：今後、取りたい日本語能力に関する資格を教えてください。（複数回答可）

日本語学校生等では、「N1」が54.1%で最も高く、次いで「N2」が37.2%となった。

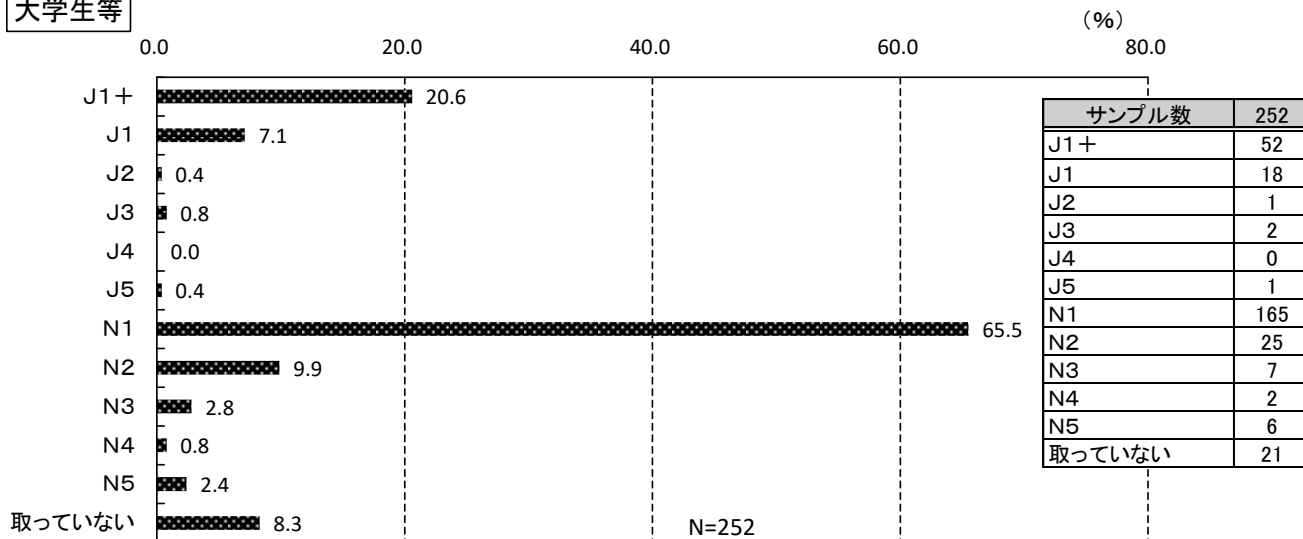
大学生等では、「N1」が65.5%で最も高く、次いで「J1+」が20.6%、「N2」が9.9%となった。

日本語学校生等



注：N1～N5 は日本語試験 JLPT，J5～J1+は BJT ビジネス日本語能力テストのレベル

大学生等



注：N1～N5 は日本語試験 JLPT，J5～J1+は BJT ビジネス日本語能力テストのレベル

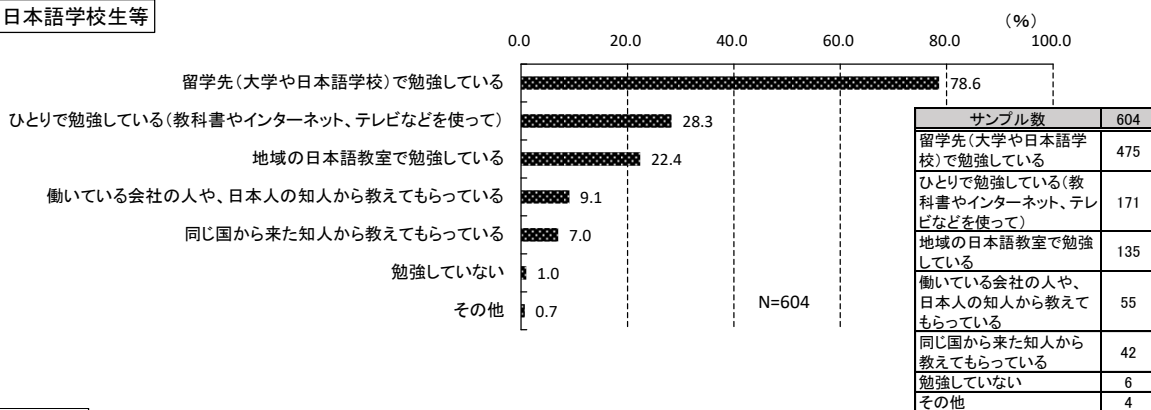
④ 日本での、日本語の学習状況

設問：あなたは、日本に来てから、日本語を勉強していますか？（複数回答可）

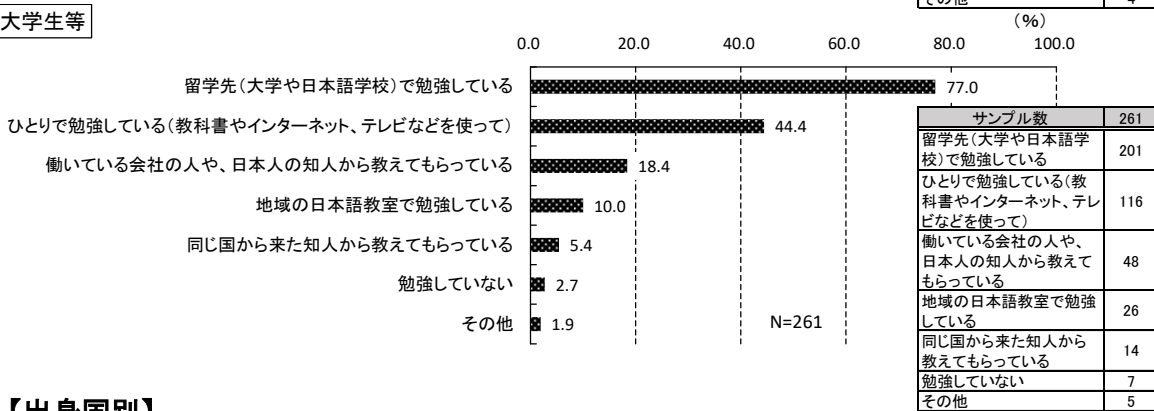
日本語学校生等では、「留学先（大学や日本語学校）で勉強している」が78.6%で最も高く、次いで「ひとりで勉強している（教科書やインターネット、テレビなどを使って）」が28.3%、「地域の日本語教室で勉強している」が22.4%となっている。

大学生等も同様に、「留学先（大学や日本語学校）で勉強している」が77.0%で最も高く、次いで「ひとりで勉強している（教科書やインターネット、テレビなどを使って）」が44.4%、「働いている会社の人や、日本人の知人から教えてもらっている」が18.4%となっている。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

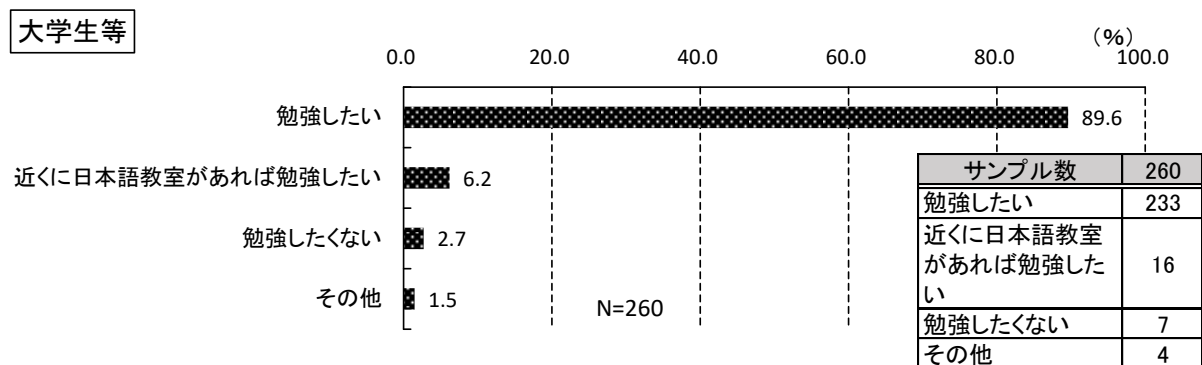
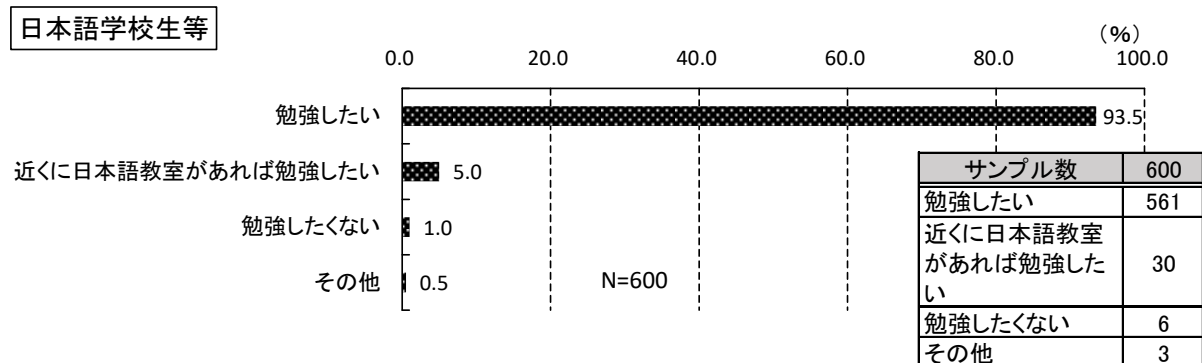
出身国別にみると、大学生等ではベトナム出身者で「留学先（大学や日本語学校）」で勉強しているが91.4%で、他国出身者と比較して高くなっている。また、中国出身者では「ひとりで勉強している（教科書やインターネット、テレビなどを使って）」が54.3%、「働いている会社の人や、日本人の知人から教えてもらっている」が27.8%で、他国出身者と比較して高い傾向となった。

出身国	サンプル数	学習方法							勉強していない	その他
		留学先(大学や日本語学校)で勉強している	ひとりで勉強している(教科書やインターネット、テレビなどを使って)	地域の日本語教室で勉強している	働いている会社の人や、日本人の知人から教えてもらっている	同じ国から来た知人から教えてもらっている	勉強していない	その他		
日本語学校生等全体	604	475	171	135	55	42	6	4		
ベトナム	422	330	128	100	33	23	4	2		
中国	83	66	23	15	12	2	0	2		
ネパール	49	39	11	12	5	11	0	0		
その他	48	39	9	8	5	6	1	0		
大学生等全体	261	201	116	26	48	14	7	5		
ベトナム	58	53	13	6	1	0	0	0		
中国	151	114	82	12	42	11	3	5		
その他	52	34	21	8	5	3	4	0		

⑤ 今後の、日本語の学習意向

設問：あなたは、これから日本語を勉強したいと思いますか？（1つだけ選択）

日本語学校生等、大学生等ともに、今後も日本語を「勉強したい」者がそれぞれ 90%前後で、日本語の学習意欲は非常に高い傾向となった。



【出身国別】

出身国別にみても、日本語学校生等、大学生等ともに、今後も日本語を勉強したい者は、いずれの国の出身者においても 80%~90%程度と、学習意向は高くなっている。

		サンプル数	勉強したい	近くに日本語教室があれば勉強したい	勉強したくない	その他
上段:実数、下段:%						
日本語学校生等全体		600	561	30	6	3
		100.0	93.5	5.0	1.0	0.5
出身国	ベトナム	422	401	19	2	0
		100.0	95.0	4.5	0.5	0.0
	中国	82	77	1	3	1
		100.0	93.9	1.2	3.7	1.2
	ネパール	49	41	6	1	1
	100.0	83.7	12.2	2.0	2.0	
	その他	46	41	4	0	1
		100.0	89.1	8.7	0.0	2.2
大学生等全体		260	233	16	7	4
		100.0	89.6	6.2	2.7	1.5
出身国	ベトナム	58	56	1	1	0
		100.0	96.6	1.7	1.7	0.0
	中国	151	130	13	4	4
		100.0	86.1	8.6	2.6	2.6
	その他	51	47	2	2	0
		100.0	92.2	3.9	3.9	0.0

(6) 日本語学校生等の普段の生活状況について

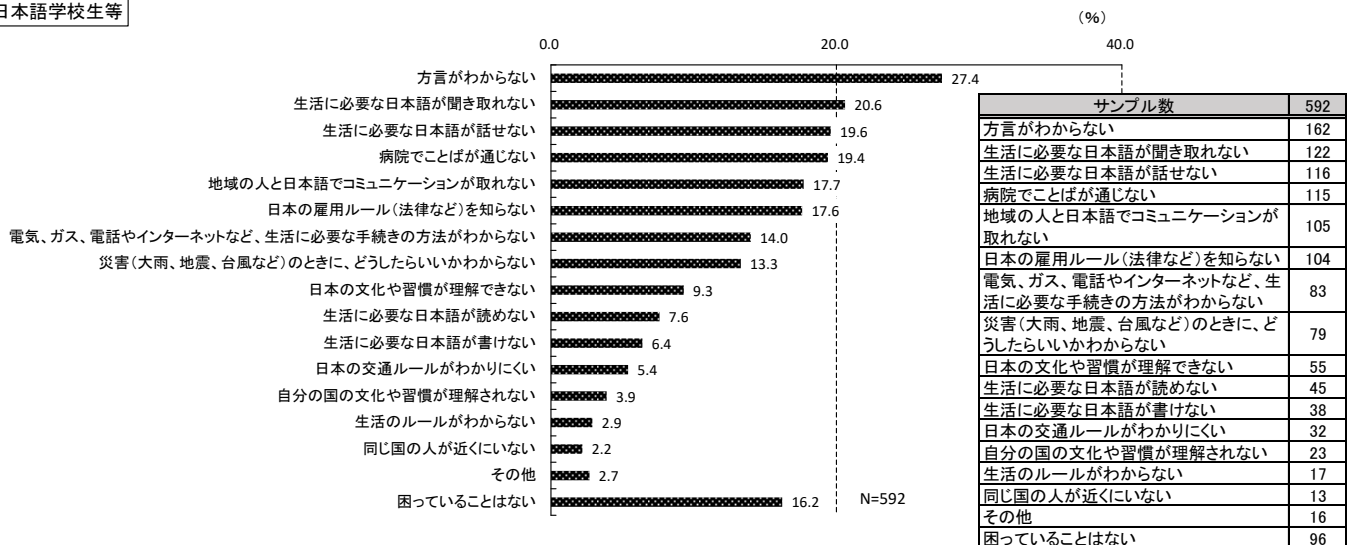
① 普段の生活において困っていること

設問：最近（6か月以内）、普段の生活で困ったことや不安なことは何ですか？（複数回答可）

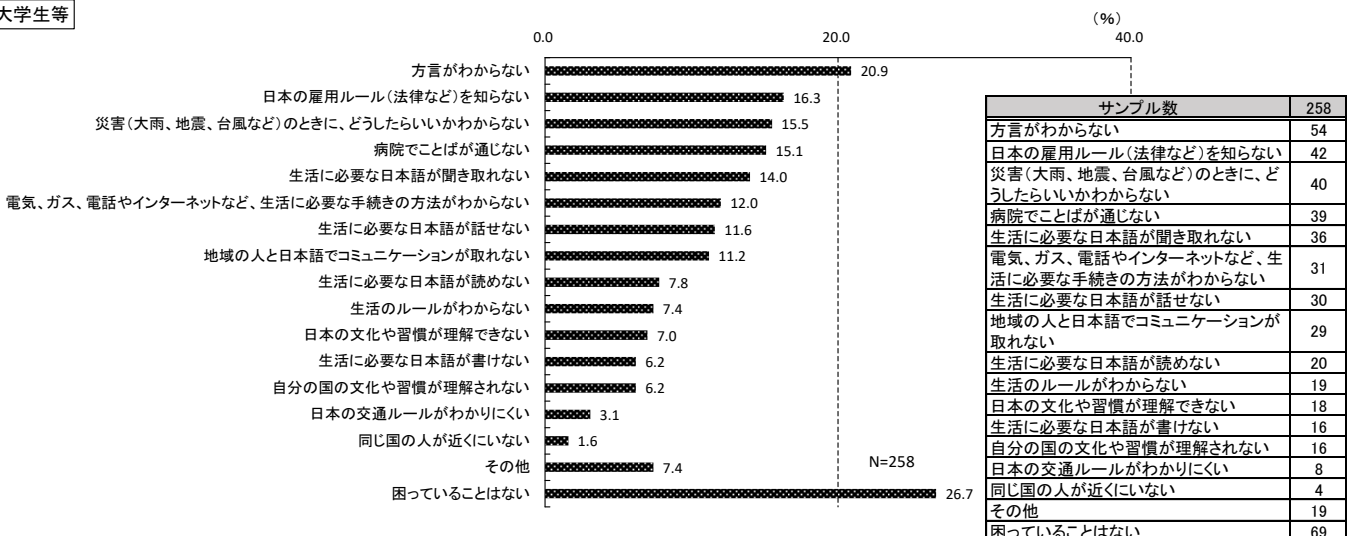
日本語学校生等では、「方言がわからない」が27.4%で最も高く、次いで「生活に必要な日本語が聞き取れない」が20.6%、「生活に必要な日本語が話せない」が19.6%、「病院でことばが通じない」が19.4%となっている。一方で、生活に必要な日本語が「読めない」、「書けない」は、いずれも10%未満で、「聞く」、「話す」上での困りごとと「読む」、「書く」、上での困りごととに差がみられた。

大学生等では、「困っていることはない」が26.7%で最も高くなっている一方で、「方言がわからない」が20.9%、「日本の雇用ルール（法律など）を知らない」が16.3%、「災害（大雨、地震、台風など）のときに、どうしたらいいかわからない」が15.5%、「病院でことばが通じない」が15.1%と高く、災害時の対応や病院での対応の非常時のコミュニケーションを不安視する者の割合が高い傾向となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、ネパール、その他の国の出身者で「困っていることはない」がそれぞれ10%未満となっており、ベトナム、中国出身者と比較して低い傾向となった。

日本語関連の困りごとについては、いずれの国の出身者も生活に必要な日本語が「聞き取れない」、「話せない」が、「読めない」、「書けない」を上回っている。

大学生等については、その他の国の出身者で生活に必要な日本語が「聞き取れない」、「話せない」、「読めない」、「書けない」の割合が、ベトナム及び中国出身者と比較して高い傾向となった。「困っていることはない」については、ベトナム出身者が43.9%で、他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	生活に必要な日本語が聞き取れない	生活に必要な日本語が話せない	生活に必要な日本語が読めない	生活に必要な日本語が書けない	方言がわからない	地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない	日本の文化や習慣が理解できない	自分の国の文化や習慣が理解されない	同じ国の人が近くにいない	生活のルールがわからない	日本の交通ルールがわかりにくい	病院でことが通じない	電気、ガス、電話やインターネットの方法がわからない	いかにわからない、どうしたらいいかわからない	災害（大雨、地震、台風など）	日本の雇用ルール（法律など）を知らない	困っていることはない	その他
上段: 素数, 下段: %																			
日本語学校生等全体		592 100.0	122 20.6	116 19.6	45 7.6	38 6.4	162 27.4	105 17.7	55 9.3	23 3.9	13 2.2	17 2.9	32 5.4	115 19.4	83 14.0	79 13.3	104 17.6	96 16.2	16 2.7
出身国	ベトナム	413 100.0	82 19.9	69 16.7	35 8.5	25 6.1	118 28.6	75 18.2	34 8.2	12 2.9	6 1.5	7 1.7	18 4.4	96 23.2	59 14.3	55 13.3	70 16.9	74 17.9	13 3.1
	中国	82 100.0	21 25.6	18 22.0	4 4.9	1 1.2	26 31.7	11 13.4	3 3.7	6 7.3	1 1.2	4 4.9	0 0.0	10 12.2	10 12.2	6 7.3	15 18.3	17 20.7	2 2.4
	ネパール	48 100.0	7 14.6	12 25.0	2 4.2	6 12.5	7 14.6	9 18.8	8 16.7	2 4.2	2 4.2	2 4.2	9 18.8	7 14.6	2 4.2	10 20.8	7 14.6	1 2.1	0 0.0
	その他	47 100.0	12 25.5	17 36.2	4 8.5	6 12.8	10 21.3	10 21.3	9 19.1	2 4.3	4 8.5	4 8.5	5 10.6	2 4.3	12 25.5	7 14.9	12 25.5	4 8.5	1 2.1
大学生等全体		258 100.0	36 14.0	30 11.6	20 7.8	16 6.2	54 20.9	29 11.2	18 7.0	16 6.2	4 1.6	19 7.4	8 3.1	39 15.1	31 12.0	40 15.5	42 16.3	69 26.7	19 7.4
出身国	ベトナム	57 100.0	4 7.0	1 1.8	1 1.8	2 3.5	7 12.3	2 3.5	6 10.5	0 0.0	0 0.0	2 3.5	2 3.5	6 10.5	4 7.0	3 5.3	13 22.8	25 43.9	4 7.0
	中国	149 100.0	14 9.4	9 6.0	4 2.7	2 1.3	37 24.8	16 10.7	8 5.4	14 9.4	2 1.3	13 8.7	5 3.4	28 18.8	23 15.4	29 19.5	20 13.4	30 20.1	8 5.4
	その他	52 100.0	18 34.6	20 38.5	15 28.8	12 23.1	10 19.2	11 21.2	4 7.7	2 3.8	2 3.8	4 7.7	1 1.9	5 9.6	4 7.7	8 15.4	9 17.3	14 26.9	7 13.5

【在留期間別】

在留期間が1年未満の短い者と、在留期間が1年以上の長い者を比較してみると、日本語学校生等、大学生等のいずれも、生活に必要な日本語が「聞き取れない」、「話せない」、また「地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない」について、在留期間が短い者ほど、困っているとする者が多くなる傾向がみられた。また、「困っていることはない」については、在留期間が長くなるほど割合が高くなる傾向となった。

大学生等についてみると、生活に必要な日本語が「聞き取れない」、「話せない」、「地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない」については、日本語学校生等と同様に、在留期間が短いほど、困っているとする者の割合が高い傾向となった。一方、「病院でことばが通じない」や「災害のときに、どうしたらいいかわからない」などについては、在留期間が長くなっても、困っている状態が継続している傾向がある。なお、「困っていることはない」については、日本語学校生等と同様に在留期間が長くなるほど割合が高くなる傾向となった。

	サンプル数	生活に必要な日本語が聞き取れない	生活に必要な日本語が話せない	生活に必要な日本語が読めない	生活に必要な日本語が書けない	方言がわからない	地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない	日本の文化や習慣が理解できない	自分の国の文化や習慣が理解されない	同じ国の人が近くにいない	生活のルールがわからない	日本の交通ルールがわかりにくい	病院でことばが通じない	天気、ガス、電話やインターネットなど、生活に必要な手続きの方法がわからない	電気がつかない	いど〜のときに、どうしたらいいかわからない	災害へ大雨、地震、台風など	日本の雇用ルール（法律など）を知らない	困っていることはない	その他
上段：実数、下段：%																				
日本語教育機関全体	592	122	116	45	38	162	105	55	23	13	17	32	115	83	79	104	96	16		
	100.0	20.6	19.6	7.6	6.4	27.4	17.7	9.3	3.9	2.2	2.9	5.4	19.4	14.0	13.3	17.6	16.2	2.7		
在留期間	1年未満	217	70	65	24	18	67	59	22	7	7	7	11	41	31	32	39	20	6	
		100.0	32.3	30.0	11.1	8.3	30.9	27.2	10.1	3.2	3.2	3.2	5.1	18.9	14.3	14.7	18.0	9.2	2.8	
	1年	196	33	30	15	10	52	27	19	9	3	6	9	37	32	27	39	36	4	
		100.0	16.8	15.3	7.7	5.1	26.5	13.8	9.7	4.6	1.5	3.1	4.6	18.9	16.3	13.8	19.9	18.4	2.0	
	2年	107	13	10	4	7	28	9	6	4	2	2	8	23	11	10	19	22	5	
	100.0	12.1	9.3	3.7	6.5	26.2	8.4	5.6	3.7	1.9	1.9	7.5	21.5	10.3	9.3	17.8	20.6	4.7		
3年	35	2	1	1	0	8	3	4	2	0	1	3	7	5	6	6	9	1		
	100.0	5.7	2.9	2.9	0.0	22.9	8.6	11.4	5.7	0.0	2.9	8.6	20.0	14.3	17.1	17.1	25.7	2.9		
4年以上	34	3	9	1	3	6	6	3	1	1	1	1	5	4	3	1	8	0		
	100.0	8.8	26.5	2.9	8.8	17.6	17.6	8.8	2.9	2.9	2.9	2.9	14.7	11.8	8.8	2.9	23.5	0.0		
大学生等全体	258	36	30	20	16	54	29	18	16	4	19	8	39	31	40	42	69	19		
	100.0	14.0	11.6	7.8	6.2	20.9	11.2	7.0	6.2	1.6	7.4	3.1	15.1	12.0	15.5	16.3	26.7	7.4		
在留期間	1年未満	56	21	18	15	10	18	13	5	2	2	10	1	10	11	14	11	6	4	
		100.0	37.5	32.1	26.8	17.9	32.1	23.2	8.9	3.6	3.6	17.9	1.8	17.9	19.6	25.0	19.6	10.7	7.1	
	1年	29	5	7	4	2	8	5	1	2	0	4	2	4	1	6	7	5	4	
		100.0	17.2	24.1	13.8	6.9	27.6	17.2	3.4	6.9	0.0	13.8	6.9	13.8	3.4	20.7	24.1	17.2	13.8	
	2年	52	3	3	1	2	9	4	4	5	0	3	1	9	9	6	7	17	5	
	100.0	5.8	5.8	1.9	3.8	17.3	7.7	7.7	9.6	0.0	5.8	1.9	17.3	17.3	11.5	13.5	32.7	9.6		
3年	70	4	1	0	0	14	6	6	4	2	0	3	10	7	8	9	18	4		
	100.0	5.7	1.4	0.0	0.0	20.0	8.6	8.6	5.7	2.9	0.0	4.3	14.3	10.0	11.4	12.9	25.7	5.7		
4年以上	51	3	1	0	2	5	1	2	3	0	2	1	6	3	6	8	23	2		
	100.0	5.9	2.0	0.0	3.9	9.8	2.0	3.9	5.9	0.0	3.9	2.0	11.8	5.9	11.8	15.7	45.1	3.9		

【日本語習熟度別】

習熟度別にみると、日本語学校生等、大学生等とともに、習熟度が高い者ほど、習熟度が低い者と比較して「困っていることはない」とする者の割合が高い傾向となった。一方で、生活に必要な日本語が「聞き取れない」、「話せない」、「読めない」、「書けない」、「地域の人とコミュニケーションが取れない」については、習熟度が低い者ほど、困っているとする者の割合が高くなる傾向となった。

	サンプル数	生活に必要な日本語が聞き取れない	生活に必要な日本語が話せない	生活に必要な日本語が読めない	生活に必要な日本語が書けない	方言がわからない	地域の人と日本語でコミュニケーションが取れない	日本の文化や習慣が理解できない	自分の国の文化や習慣が理解されない	同じ国の人が近くにいない	生活のルールがわからない	日本の交通ルールがわかりにくい	病院でことばが通じない	電気、ガス、電話やインターネットの方法がわからない	いざというときに、どうしたらいいかわからない	災害（大雨、地震、台風など）を知らない	日本の雇用ルール（法律など）を知らない	困っていることはない	その他
上段: 実数, 下段: %																			
日本語教育機関全体	592 100.0	122 20.6	116 19.6	45 7.6	38 6.4	162 27.4	105 17.7	55 9.3	23 3.9	13 2.2	17 2.9	32 5.4	115 19.4	83 14.0	79 13.3	104 17.6	96 16.2	16 2.7	
日本語習熟度	習熟度【低】	64 100.0	25 39.1	22 34.4	8 12.5	7 10.9	15 23.4	14 21.9	6 9.4	3 4.7	0 0.0	1 1.6	5 7.8	8 12.5	12 18.8	5 7.8	6 9.4	8 12.5	0 0.0
	習熟度【中】	313 100.0	66 21.1	70 22.4	26 8.3	22 7.0	94 30.0	59 18.8	33 10.5	8 2.6	10 3.2	5 1.6	16 5.1	71 22.7	51 16.3	47 15.0	61 19.5	40 12.8	6 1.9
	習熟度【高】	149 100.0	19 12.8	15 10.1	6 4.0	3 2.0	38 25.5	20 13.4	8 5.4	8 5.4	2 1.3	7 4.7	5 3.4	28 18.8	18 12.1	18 12.1	28 18.8	40 26.8	9 6.0
大学生等全体	258 100.0	36 14.0	30 11.6	20 7.8	16 6.2	54 20.9	29 11.2	18 7.0	16 6.2	4 1.6	19 7.4	8 3.1	39 15.1	31 12.0	40 15.5	42 16.3	69 26.7	19 7.4	
日本語習熟度	習熟度【低】	23 100.0	9 39.1	8 34.8	9 39.1	4 17.4	6 26.1	7 30.4	2 8.7	2 8.7	0 0.0	3 13.0	1 4.3	4 17.4	4 17.4	2 8.7	2 8.7	1 4.3	3 13.0
	習熟度【中】	48 100.0	14 29.2	14 29.2	8 16.7	7 14.6	12 25.0	10 20.8	4 8.3	2 4.2	2 4.2	5 10.4	2 4.2	14 29.2	7 14.6	8 16.7	10 20.8	9 18.8	2 4.2
	習熟度【高】	174 100.0	9 5.2	7 4.0	2 1.1	2 1.1	32 18.4	11 6.3	9 5.2	12 6.9	2 1.1	10 5.7	4 2.3	20 11.5	18 10.3	27 15.5	30 17.2	58 33.3	14 8.0

※調査対象者の主観に基づく回答を整理・類別した区分

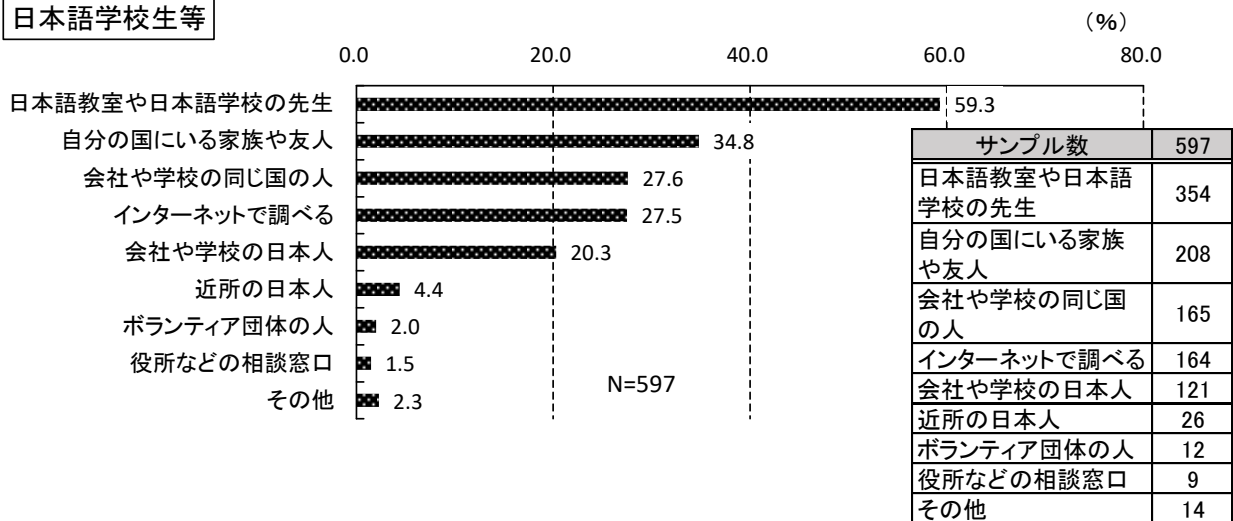
② 普段の生活において困っている際の相談相手

設問：普段の生活で困っているときに、誰に相談しますか？（複数回答可）

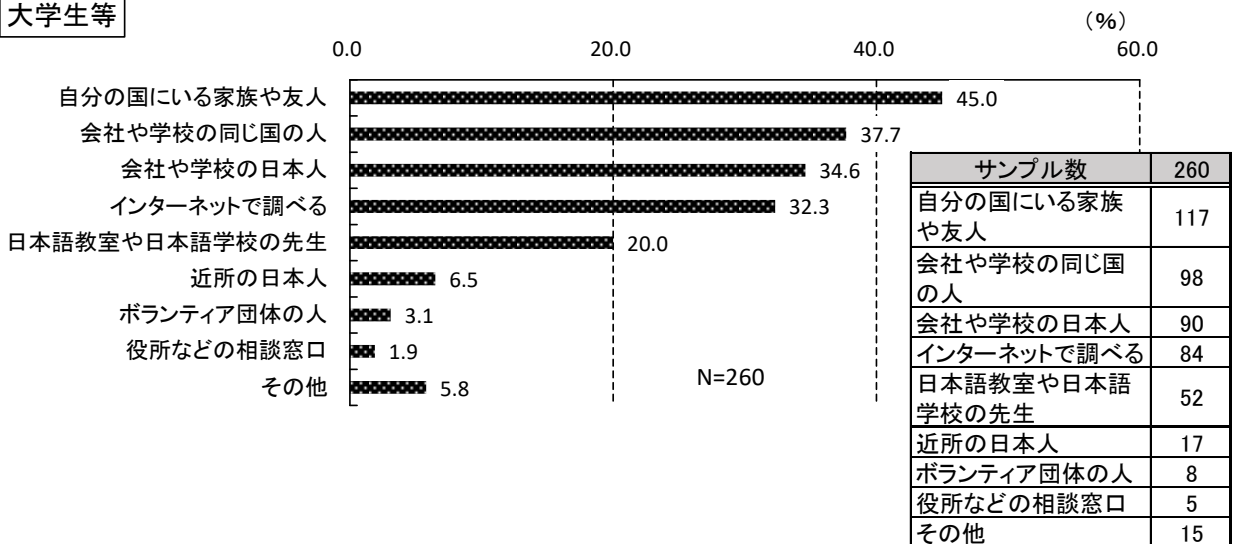
日本語学校生等では、「日本語教室や日本語学校の先生」が 59.3%で最も高く、次いで「自分の国にいる家族や友人」が 34.8%、「会社や学校の同じ国の人」が 27.6%、「インターネットで調べる」が 27.5%となっている。

大学生等では、「自分の国にいる家族や友人」が 45.0%で最も高く、次いで「会社や学校の同じ国の人」が 37.7%、「会社や学校の日本人」が 34.6%、「インターネットで調べる」が 32.3%となっている。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では中国出身者が他国出身者と比較して「日本語教室や日本語学校の先生」と「インターネットで調べる」の割合が低く、「自分の国にいる家族や友人」が高くなっており、自分の国にいる家族や友人を頼る者が多い傾向がみられた。

大学生等では、特に、中国出身者では「自分の国にいる家族や友人」に相談する者の割合が高い。

	サンプル数	会社や学校の日本人	会社や学校の同じ国の人	ボランティア団体	役所などの相談窓口	インターネットで調べる	家族や友人	自分の国にいる	日本語教室や日本語学校の先生	近所の日本人	その他
上段:実数, 下段:%											
日本語学校生等全体	597 100.0	121 20.3	165 27.6	12 2.0	9 1.5	164 27.5	208 34.8	354 59.3	26 4.4	14 2.3	
出身国	ベトナム	418 100.0	67 16.0	120 28.7	8 1.9	5 1.2	124 29.7	148 35.4	253 60.5	13 3.1	11 2.6
	中国	80 100.0	22 27.5	29 36.3	0 0.0	1 1.3	9 11.3	43 53.8	38 47.5	1 1.3	0 0.0
	ネパール	50 100.0	13 26.0	3 6.0	0 0.0	2 4.0	15 30.0	8 16.0	34 68.0	4 8.0	2 4.0
	その他	47 100.0	19 40.4	13 27.7	3 6.4	1 2.1	16 34.0	9 19.1	28 59.6	7 14.9	1 2.1
大学生等全体	260 100.0	90 34.6	98 37.7	8 3.1	5 1.9	84 32.3	117 45.0	52 20.0	17 6.5	15 5.8	
出身国	ベトナム	58 100.0	11 19.0	11 19.0	1 1.7	0 0.0	24 41.4	26 44.8	20 34.5	1 1.7	0 0.0
	中国	150 100.0	51 34.0	71 47.3	2 1.3	4 2.7	33 22.0	76 50.7	19 12.7	10 6.7	11 7.3
	その他	52 100.0	28 53.8	16 30.8	5 9.6	1 1.9	27 51.9	15 28.8	13 25.0	6 11.5	4 7.7

【普段の生活で困っていることの相談相手の関係性】

普段の生活で困っていることの相談相手について、他の選択肢への回答状況とあわせてみると、日本語学校生等では、「自分の国にいる家族や友人」に相談している者は、約50%が学校の先生にも相談しているという結果となった。

大学生等では、「自分の国にいる家族や友人」に相談している者は、約30%が「会社や学校の日本人」や「会社や学校の同じ国の人」も頼っているという結果となった。

	サンプル数	会社や学校の日本人	会社や学校の同じ国の人	ボランティア団体	役所などの相談窓口	インターネットで調べる	家族や友人	自分の国にいる	日本語教室や日本語学校の先生	近所の日本人	その他
上段:実数, 下段:%											
日本語学校生等全体	597 100.0	121 20.3	165 27.6	12 2.0	9 1.5	164 27.5	208 34.8	354 59.3	26 4.4	14 2.3	
困っているときの相談相手	会社や学校の日本人	121 100.0	121 100.0	32 26.4	7 5.8	6 5.0	37 30.6	34 28.1	68 56.2	8 6.6	0 0.0
	会社や学校の同じ国の人	165 100.0	32 19.4	165 100.0	2 1.2	2 1.2	52 31.5	35 21.2	83 50.3	3 1.8	1 0.6
	ボランティア団体	12 100.0	7 58.3	2 16.7	100.0	2 16.7	4 33.3	2 16.7	11 91.7	1 8.3	0 0.0
	役所などの相談窓口	9 100.0	6 66.7	2 22.2	2 22.2	2 100.0	0 0.0	1 11.1	6 66.7	2 22.2	0 0.0
	インターネットで調べる	164 100.0	37 22.6	52 31.7	4 2.4	0 0.0	164 100.0	41 25.0	108 65.9	6 3.7	2 1.2
	自分の国にいる家族や友人	208 100.0	34 16.3	35 16.8	2 1.0	1 0.5	41 19.7	208 100.0	95 45.7	4 1.9	1 0.5
	日本語教室や日本語学校の先生	354 100.0	68 19.2	83 23.4	11 3.1	6 1.7	108 30.5	95 26.8	354 100.0	13 3.7	5 1.4
	近所の日本人	26 100.0	8 30.8	3 11.5	1 3.8	2 7.7	6 23.1	4 15.4	13 50.0	26 100.0	0 0.0
	その他	14 100.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	2 14.3	1 7.1	5 35.7	0 0.0	14 100.0
	大学生等全体	260 100.0	90 34.6	98 37.7	8 3.1	5 1.9	84 32.3	117 45.0	52 20.0	17 6.5	15 5.8
困っているときの相談相手	会社や学校の日本人	90 100.0	90 100.0	38 42.2	6 6.7	3 3.3	28 31.1	38 42.2	16 17.8	7 7.8	3 3.3
	会社や学校の同じ国の人	98 100.0	38 38.8	98 100.0	3 3.1	3 3.1	31 31.6	34 34.7	15 15.3	8 8.2	1 1.0
	ボランティア団体	8 100.0	6 75.0	3 37.5	100.0	1 12.5	5 62.5	3 37.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0
	役所などの相談窓口	5 100.0	3 60.0	3 60.0	1 20.0	1 100.0	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0
	インターネットで調べる	84 100.0	28 33.3	31 36.9	5 6.0	5 6.0	84 100.0	35 41.7	25 29.8	10 11.9	1 1.2
	自分の国にいる家族や友人	117 100.0	38 32.5	34 29.1	3 2.6	1 0.9	35 29.9	117 100.0	21 17.9	2 1.7	2 1.7
	日本語教室や日本語学校の先生	52 100.0	16 30.8	15 28.8	4 7.7	2 3.8	25 48.1	21 40.4	52 100.0	4 7.7	0 0.0
	近所の日本人	17 100.0	7 41.2	8 47.1	1 5.9	1 5.9	10 58.8	2 11.8	4 23.5	17 100.0	0 0.0
	その他	15 100.0	3 20.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	2 13.3	0 0.0	0 0.0	15 100.0

③ 広島県内にある公的な相談窓口の認知度と相談の経験の有無

設問：広島県内の役所など、公的な相談窓口があることを知っていますか？（1つだけ選択）

日本語学校生等、大学生等ともに「知らない」がそれぞれ70%程度で最も高いという結果となった。また、「知っているけれど、相談したことはない」がそれぞれ20%程度となっている。

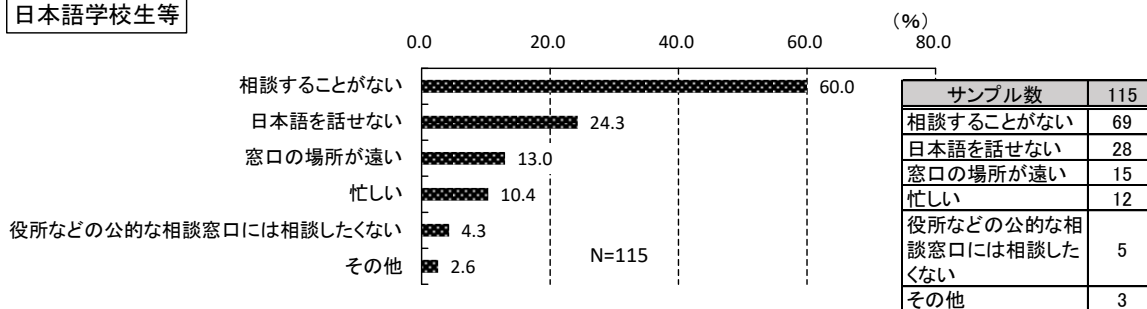
		サンプル数	知っている。あ	知っているけれど、相談したことはない	知らない
上段:実数、下段:%					
日本語学校生等全体		575 100.0	33 5.7	148 25.7	394 68.5
出身国	ベトナム	403 100.0	23 5.7	117 29.0	263 65.3
	中国	80 100.0	5 6.3	11 13.8	64 80.0
	ネパール	48 100.0	1 2.1	11 22.9	36 75.0
	その他	43 100.0	4 9.3	9 20.9	30 69.8
大学生等全体		253 100.0	16 6.3	53 20.9	184 72.7
出身国	ベトナム	56 100.0	6 10.7	11 19.6	39 69.6
	中国	147 100.0	5 3.4	31 21.1	111 75.5
	その他	50 100.0	5 10.0	11 22.0	34 68.0

【相談したことがない理由】

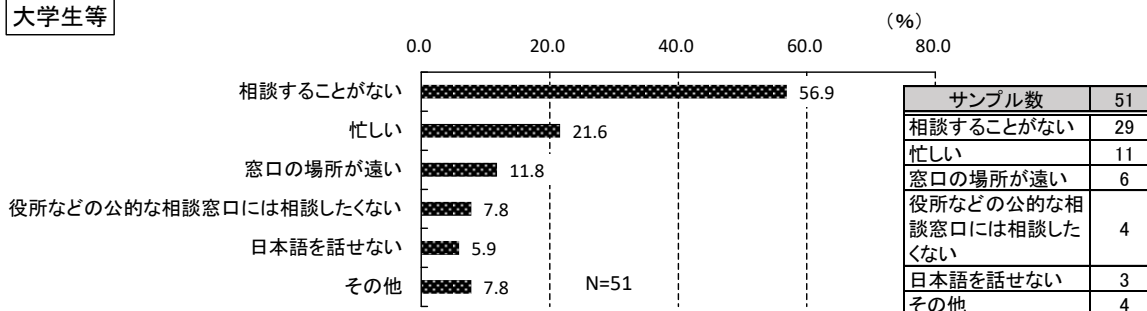
公的な相談窓口を「知っているけれど、相談したことがない」者に、その理由をたずねたところ、日本語学校生等では「相談することがない」が60.0%で最も高くなったが、「日本語が話せない」ことが理由で相談できていない者が24.3%という結果となった。

大学生等では、日本語学校生等同様に「相談することがない」が56.9%で最も高く、次いで「忙しい」が21.6%、「窓口の場所が遠い」が11.8%となった

日本語学校生等



大学生等



④ インターネット接続機器（スマートフォン等）の保有状況

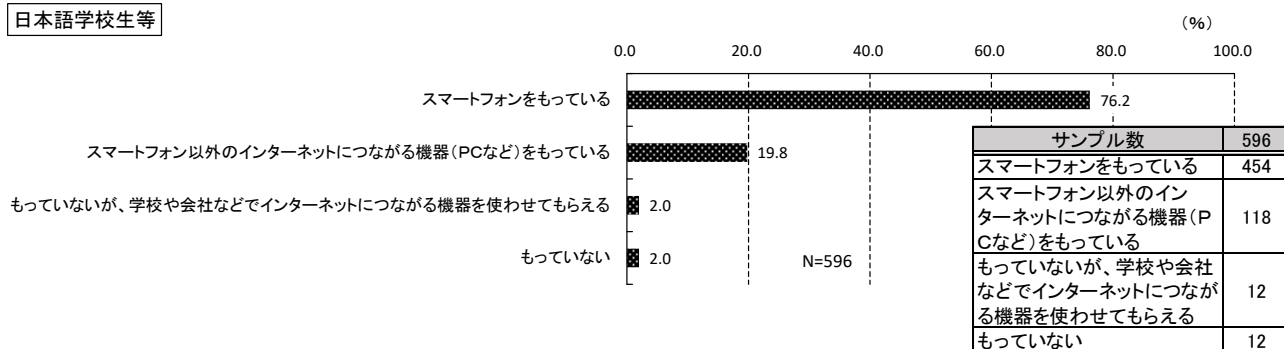
設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

① スマートフォンやインターネットにつながる機器を持っていますか？（1つだけ選択）

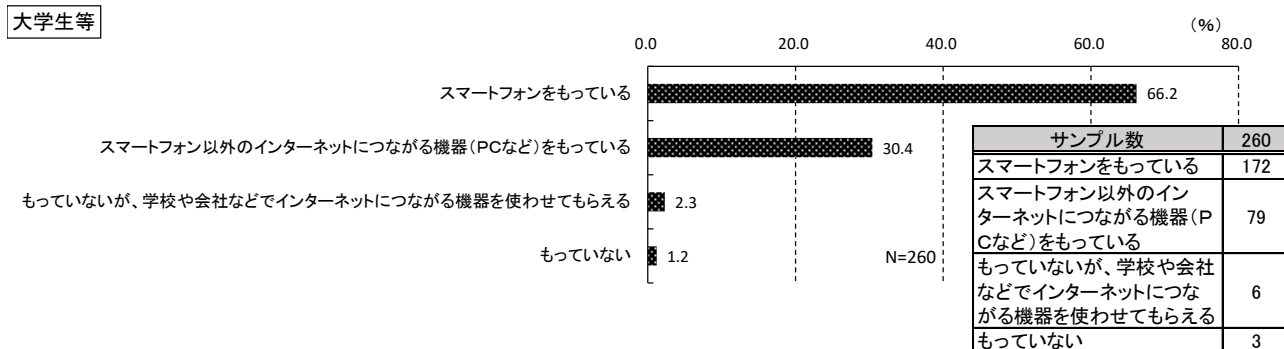
日本語学校生等では、「スマートフォンを持っている」が76.2%で最も高く、「スマートフォン以外のインターネットにつながる機器（PCなど）を持っている」の19.8%と合わせると、90%以上の者がインターネットから情報を得られる環境にある結果となった。

大学生等も同様に、「スマートフォンを持っている」が66.2%で最も高く、「スマートフォン以外のインターネットにつながる機器（PCなど）を持っている」の30.4%を合わせると、90%以上の者がインターネットから情報を得られる環境にある結果となった。

日本語学校生等



大学生等



⑤ よく利用する web サイトや SNS とその利用頻度

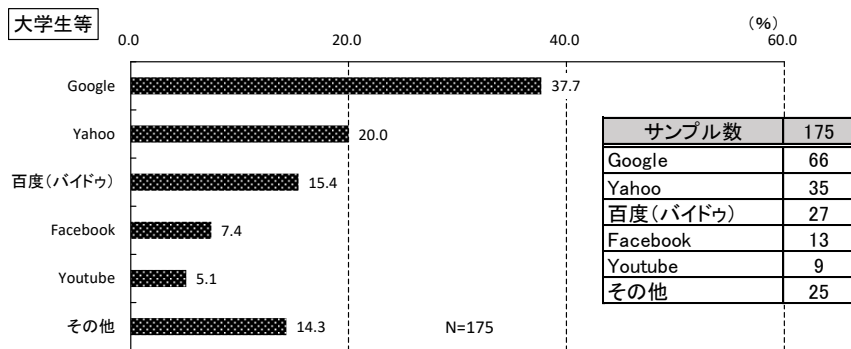
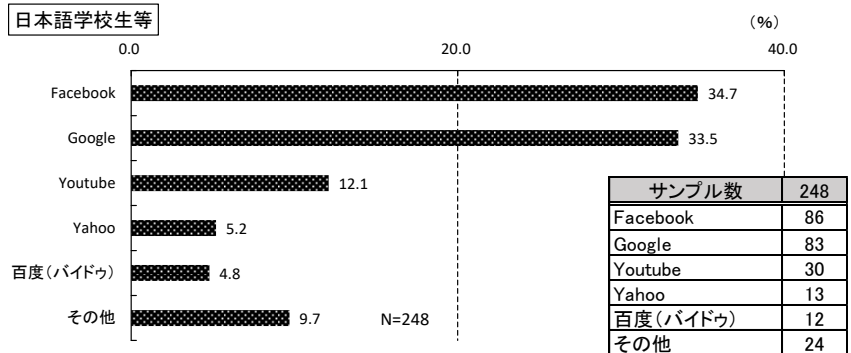
設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

② よく使うインターネットの web サイトや SNS など、情報を知る方法を教えてください。また、どれくらい見ているかも教えてください。

【最もよく利用する web サイト】

最もよく利用する web サイトは日本語学校生等では、「facebook」が 34.7% で最も高く、次いで「Google」が 33.5% と高くなっている。

大学生等では、「Google」が 37.7% で最も高く、次いで「Yahoo」が 20.0% となった。



【出身国別】

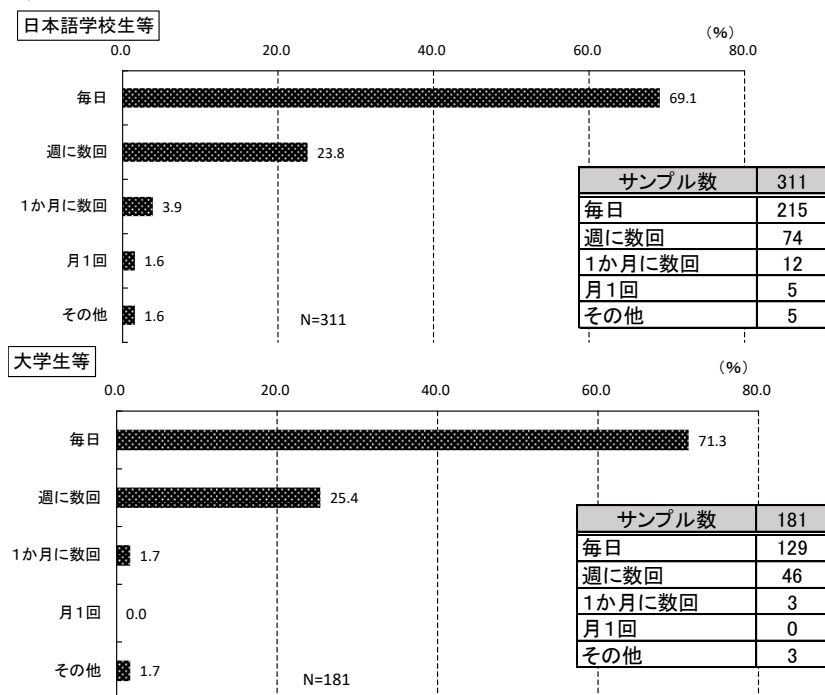
出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、ベトナム出身者では、「Facebook」の割合が他国出身者と比較して高い傾向となった。また、「Google」については、日本語学校生等、大学生等ともに中国出身者以外での割合が高い傾向となった。

一方、中国出身者では、大学生等、日本語学校生等ともに、「Yahoo」、「百度 (バイドゥ)」の割合が、他国出身者と比較して高い傾向となった。

	サンプル数	Yahoo	Facebook	Google	Youtube	百度 (バイドゥ)	その他
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等	248	13	86	83	30	12	24
全体	100.0	5.2	34.7	33.5	12.1	4.8	9.7
出身国	ベトナム	172	0	80	57	24	11
		100.0	0.0	46.5	33.1	14.0	6.4
	中国	43	11	0	9	3	8
		100.0	25.6	0.0	20.9	7.0	18.6
出身国	ネパール	14	0	3	8	1	2
		100.0	0.0	21.4	57.1	7.1	14.3
	その他	18	2	2	9	2	3
		100.0	11.1	11.1	50.0	11.1	16.7
大学生等全体							
	175	35	13	66	9	27	25
	100.0	20.0	7.4	37.7	5.1	15.4	14.3
出身国	ベトナム	35	1	11	17	2	4
		100.0	2.9	31.4	48.6	5.7	11.4
	中国	106	33	0	30	4	12
		100.0	31.1	0.0	28.3	3.8	11.3
出身国	その他	34	1	2	19	3	9
		100.0	2.9	5.9	55.9	8.8	26.5

【最もよく利用する web サイトと利用頻度】

最もよく利用する web サイトの利用頻度をみると、日本語学校生等、大学生等ともに「毎日」が最も高く、次いで「週に数回」となっており、週に数回以上利用する者がそれぞれ 90%程度となった。



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、「毎日」利用する者がいずれの国の出身者においても約 60%~70%程度に対し、大学生等では、中国出身者以外では「毎日」利用するものが約 80%~90%で、毎日利用する者の割合が高い傾向となった。しかしながら、日本語学校生等、大学生等ともに、「週に数回」以上利用する者は、いずれの国の出身者においても 90%以上と、利用頻度は高い傾向となった。

		サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等全体		311	215	74	12	5	5
		100.0	69.1	23.8	3.9	1.6	1.6
出身国	ベトナム	226	158	52	8	4	4
		100.0	69.9	23.0	3.5	1.8	1.8
	中国	47	30	13	2	1	1
		100.0	63.8	27.7	4.3	2.1	2.1
	ネパール	18	12	5	1	0	0
	100.0	66.7	27.8	5.6	0.0	0.0	
	その他	19	14	4	1	0	0
		100.0	73.7	21.1	5.3	0.0	0.0
大学生等全体		181	129	46	3	0	3
		100.0	71.3	25.4	1.7	0.0	1.7
出身国	ベトナム	36	29	6	1	0	0
		100.0	80.6	16.7	2.8	0.0	0.0
	中国	110	69	37	1	0	3
	100.0	62.7	33.6	0.9	0.0	2.7	
	その他	35	31	3	1	0	0
		100.0	88.6	8.6	2.9	0.0	0.0

【最もよく利用する web サイト別利用頻度】

最もよく利用する web サイト別の利用頻度をみると、日本語学校生等では「Facebook」、「Google」ともに、週に数回以上利用する者がそれぞれ 60%程度となった。

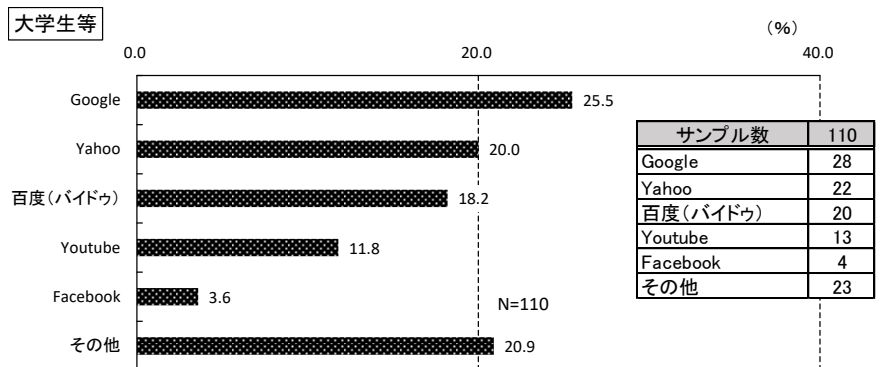
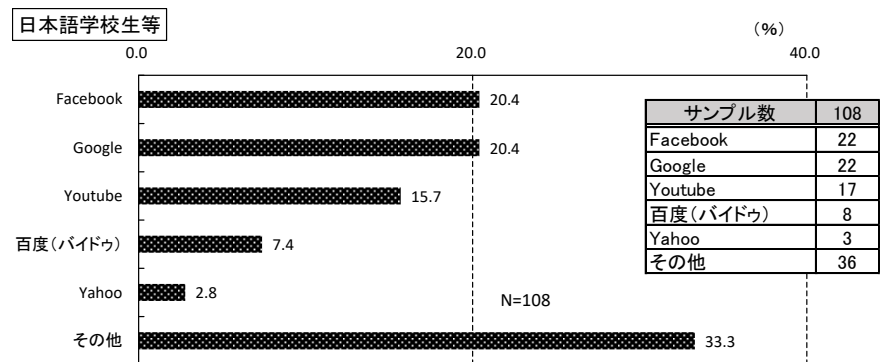
大学生等では、「Yahoo」で週に数回以上利用する者が約 40%、「Google」で約 70%という結果となった。

	サンプル数	Yahoo	Facebook	Google	Youtube	百度(バイドゥ)	その他	
上段-実数 下段-%								
日本語学校生等全体	248 100.0	13 5.2	86 34.7	83 33.5	30 12.1	12 4.8	24 9.7	
利用頻度	毎日	176 100.0	8 4.5	72 40.9	56 31.8	22 12.5	7 4.0	11 6.3
	週に数回	55 100.0	5 9.1	11 20.0	18 32.7	6 10.9	3 5.5	12 21.8
	1か月に数回	8 100.0	0 0.0	2 25.0	4 50.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5
	月1回	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
大学生等全体	175 100.0	35 20.0	13 7.4	66 37.7	9 5.1	27 15.4	25 14.3	
利用頻度	毎日	123 100.0	20 16.3	10 8.1	47 38.2	9 7.3	17 13.8	20 16.3
	週に数回	44 100.0	13 29.5	3 6.8	15 34.1	0 0.0	9 20.5	4 9.1
	1か月に数回	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	月1回	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0

【2番目によく利用するwebサイト】

2番目によく利用するwebサイトは、日本語学校生等では、「その他」を除けば、「Facebook」、「Google」がそれぞれ20.4%と高くなっている。

大学生等では、「Google」が25.5%で最も高く、次いで「その他」が20.9%、「Yahoo」が20.0%となった。



【出身国別】

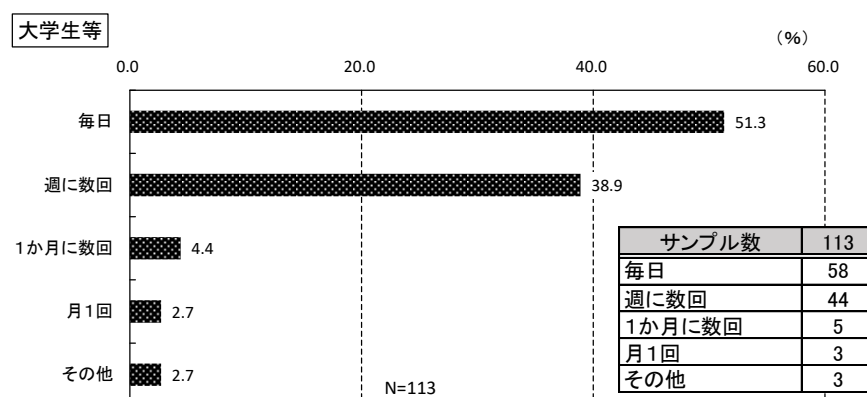
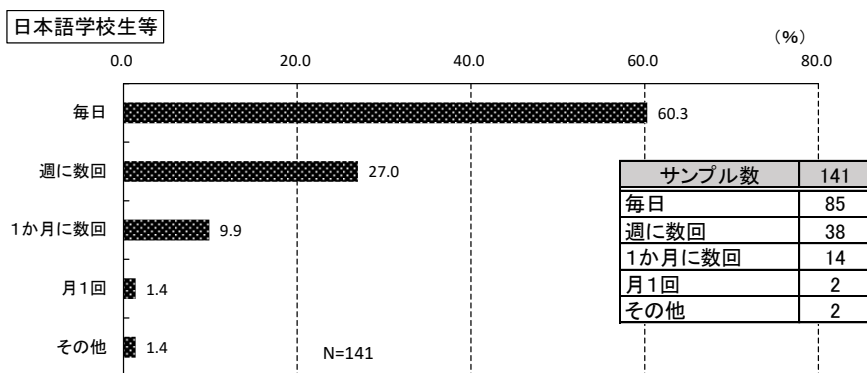
出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、ベトナム出身者では「Facebook」の割合が、他国出身者と比較して高い傾向となった。また、中国出身者では、日本語学校生等、大学生等ともに「Google」、「百度（バイドゥ）」がそれぞれ30%程度と高くなっているが、大学生等においては、「Yahoo」も25.0%と高い傾向となった。

	サンプル数	Yahoo	Facebook	Google	Youtube	百度(バイドゥ)	その他
上段:実数, 下段:%							
日本語学校生等全体	108	3	22	22	17	8	36
	100.0	2.8	20.4	20.4	15.7	7.4	33.3
出身国	ベトナム	65	1	18	12	12	22
		100.0	1.5	27.7	18.5	18.5	33.8
	中国	23	2	0	6	1	8
		100.0	8.7	0.0	26.1	4.3	34.8
	8	0	1	1	3	0	3
	100.0	0.0	12.5	12.5	37.5	0.0	37.5
	11	0	3	3	1	0	4
	100.0	0.0	27.3	27.3	9.1	0.0	36.4
大学生等全体							
	110	22	4	28	13	20	23
	100.0	20.0	3.6	25.5	11.8	18.2	20.9
出身国	ベトナム	14	0	3	3	2	6
		100.0	0.0	21.4	21.4	14.3	42.9
	中国	72	18	0	20	5	20
	100.0	25.0	0.0	27.8	6.9	27.8	12.5
	24	4	1	5	6	0	8
	100.0	16.7	4.2	20.8	25.0	0.0	33.3

【2番目によく利用するwebサイトの利用頻度】

2番目によく利用するwebサイトの利用頻度は、日本語学校生等では、「毎日」が60.3%で最も高く、次いで「週に数回」が27.0%となった。

大学生等においても、「毎日」が51.3%で最も高く、次いで「週に数回」が38.9%となっており、最もよく利用するwebサイトと同様に、週に数回以上利用する者がそれぞれ約80%~90%となった。



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、「中国出身者」以外では「毎日」利用する者が、それぞれ約60%~70%と高い傾向となった。しかしながら、中国出身者についても、「週に数回」以上利用する者は約80%となっており、いずれの国の出身者においても、利用頻度は高い傾向となった。

		サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他
上段:実数,下段:%							
日本語学校生等全体		141	85	38	14	2	2
		100.0	60.3	27.0	9.9	1.4	1.4
出身国	ベトナム	90	55	26	6	2	1
		100.0	61.1	28.9	6.7	2.2	1.1
	中国	25	11	9	4	0	1
		100.0	44.0	36.0	16.0	0.0	4.0
出身国	ネパール	13	9	2	2	0	0
		100.0	69.2	15.4	15.4	0.0	0.0
	その他	12	9	1	2	0	0
		100.0	75.0	8.3	16.7	0.0	0.0
大学生等全体		113	58	44	5	3	3
		100.0	51.3	38.9	4.4	2.7	2.7
出身国	ベトナム	14	10	3	1	0	0
		100.0	71.4	21.4	7.1	0.0	0.0
	中国	75	34	33	3	2	3
		100.0	45.3	44.0	4.0	2.7	4.0
出身国	その他	24	14	8	1	1	0
		100.0	58.3	33.3	4.2	4.2	0.0

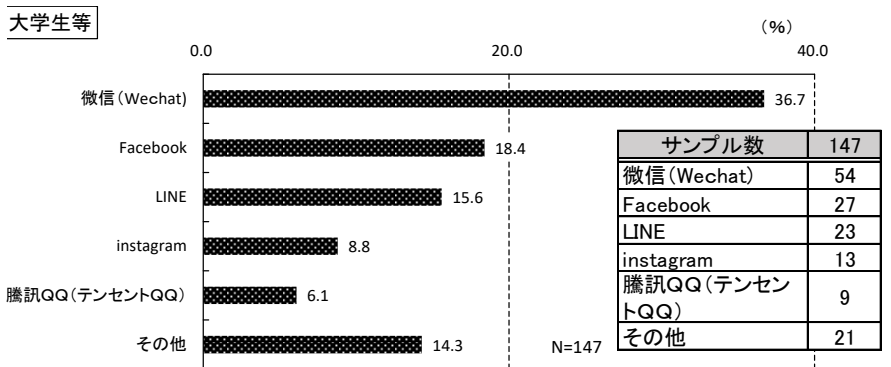
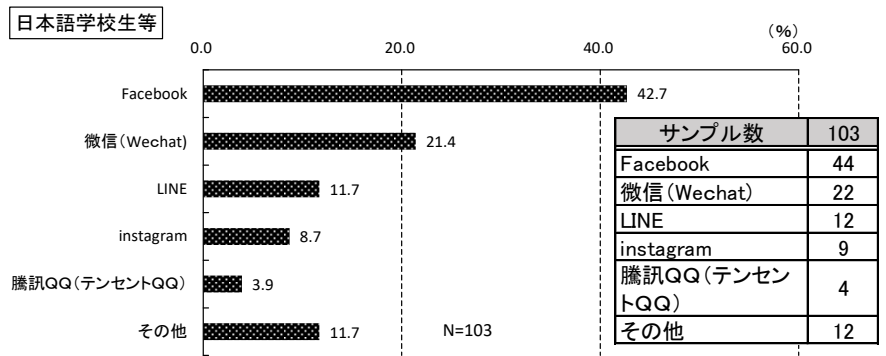
【2番目によく利用するwebサイト別利用頻度】

		サンプル数	Yahoo	Facebook	Google	YouTube	百度（バイドゥ）	その他
上段:実数、下段:%								
日本語学校生等全体		108 100.0	3 2.8	22 20.4	22 20.4	17 15.7	8 7.4	36 33.3
利用頻度	毎日	64 100.0	1 1.6	19 29.7	8 12.5	11 17.2	2 3.1	23 35.9
	週に数回	29 100.0	1 3.4	2 6.9	10 34.5	4 13.8	4 13.8	8 27.6
	1か月に数回	9 100.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2	1 11.1	2 22.2	4 44.4
	月1回	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
大学生等全体		110 100.0	22 20.0	4 3.6	28 25.5	13 11.8	20 18.2	23 20.9
利用頻度	毎日	56 100.0	8 14.3	4 7.1	14 25.0	10 17.9	9 16.1	11 19.6
	週に数回	42 100.0	10 23.8	0 0.0	10 23.8	3 7.1	10 23.8	9 21.4
	1か月に数回	4 100.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
	月1回	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	その他	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

【最もよく利用する SNS】

最もよく利用する SNS は、日本語学
校生等では、「facebook」が 42.7%で
最も高く、次いで「Google」が 21.4%
と高くなっている。

大学生等では、「微信 (Wechat)」が
36.7%で最も高く、次いで「Facebook」
が 18.4%となった。



【出身国別】

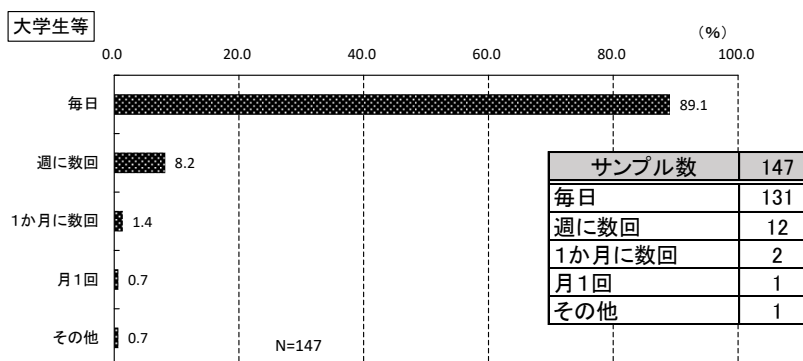
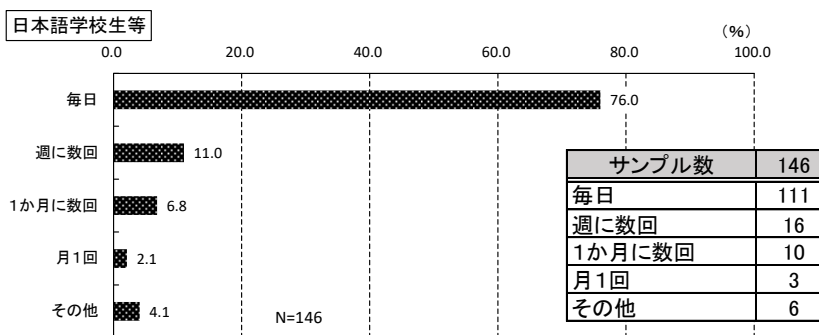
出身国別にみると、日本語学学校生等、大学生
等とともに、ベトナム出身者では「Facebook」、
中国出身者では「微信 (Wechat)」を利用する
者の割合が高い傾向となった。

また、日本語学学校生等では、ネパール出身者
で「Facebook」が 92.3%と高くなっている。

	サ ン プ ル 数	F a c e b o o k	i n s t a g r a m	L I N E	(微 信 W e c h a t)	ト 騰 訊 Q Q (騰 訊 Q Q (テ ン セ ン)	そ の 他
上段:実数、下段:%							
日本語学学校生等 全体	103 100.0	44 42.7	9 8.7	12 11.7	22 21.4	4 3.9	12 11.7
出身国	ベトナム	39 100.0	24 61.5	1 2.6	3 7.7	0 0.0	0 28.2
	中国	32 100.0	1 3.1	1 3.1	3 9.4	22 68.8	4 12.5
	ネパール	13 100.0	12 92.3	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0
	その他	19 100.0	7 36.8	7 36.8	5 26.3	0 0.0	0 0.0
大学生等全体	147 100.0	27 18.4	13 8.8	23 15.6	54 36.7	9 6.1	21 14.3
出身国	ベトナム	30 100.0	20 66.7	1 3.3	7 23.3	0 0.0	0 6.7
	中国	81 100.0	1 1.2	3 3.7	7 8.6	54 66.7	9 11.1
	その他	36 100.0	6 16.7	9 25.0	9 25.0	0 0.0	0 33.3

【最もよく利用する SNS の利用頻度】

最もよく利用する SNS の利用頻度は、日本語学校生等、大学生等ともに「毎日」が最も高くなっているが、大学生等は 89.1%と、日本語学校生等と比較して、毎日利用する者の割合が高い傾向となった。



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、中国、その他の国の出身者で「毎日」利用する者が約 90%と高い傾向となった。一方、ベトナムとネパール出身者においても、「週に数回」以上利用するものがそれぞれ 80%以上となっており、いずれの国においても、利用頻度は高い傾向となった。

大学生等では、いずれの国の出身者においても、「毎日」利用する者が約 90%と高い傾向となった。

		サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等全体		146	111	16	10	3	6
		100.0	76.0	11.0	6.8	2.1	4.1
出身国	ベトナム	71	46	12	6	2	5
		100.0	64.8	16.9	8.5	2.8	7.0
	中国	35	31	2	0	1	1
		100.0	88.6	5.7	0.0	2.9	2.9
出身国	ネパール	19	14	2	3	0	0
		100.0	73.7	10.5	15.8	0.0	0.0
	その他	21	20	0	1	0	0
	100.0	95.2	0.0	4.8	0.0	0.0	
大学生等全体		147	131	12	2	1	1
		100.0	89.1	8.2	1.4	0.7	0.7
出身国	ベトナム	30	26	4	0	0	0
		100.0	86.7	13.3	0.0	0.0	0.0
	中国	82	73	6	1	1	1
	100.0	89.0	7.3	1.2	1.2	1.2	
出身国	その他	35	32	2	1	0	0
		100.0	91.4	5.7	2.9	0.0	0.0

【最もよく利用する SNS 別利用頻度】

最もよく利用する SNS 別に利用頻度をみると、日本語学校生等では毎日利用するが「Facebook」で 43.6%、「微信（Wechat）」で 23.4%と高い。

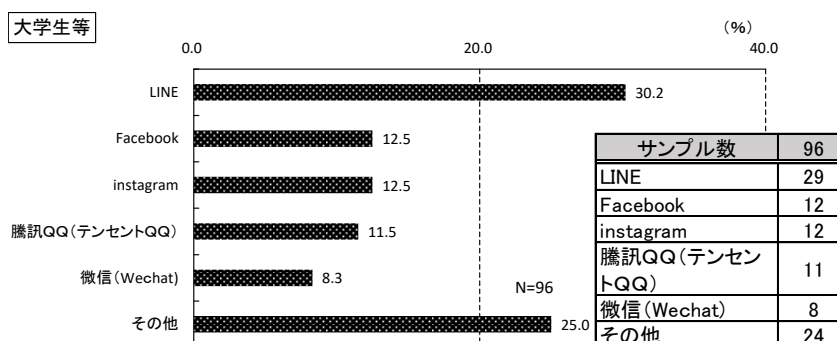
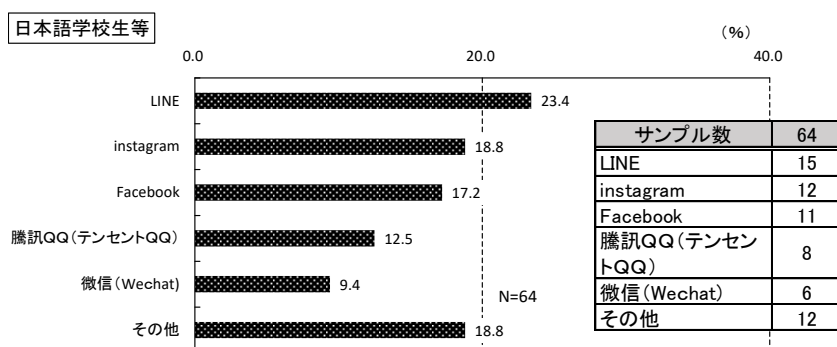
大学生等では、毎日利用するが「微信（Wechat）」で 40.9%と高い。また、「Facebook」、「LINE」では、週に数回以上利用する者がそれぞれ約 40%程度となった。

		サ ン プ ル 数	F a c e b o o k	i n s t a g r a m	L I N E	微 信 （ W e c h a t ）	騰 訊 Q Q （ テ ン セ ン	そ の 他
上段：実数、下段：%								
日本語学校生等 全体		103 100.0	44 42.7	9 8.7	12 11.7	22 21.4	4 3.9	12 11.7
利用 頻 度	毎日	94 100.0	41 43.6	9 9.6	9 9.6	22 23.4	4 4.3	9 9.6
	週に数回	7 100.0	3 42.9	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	2 28.6
	1か月に数回	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	月1回	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	大学生等全体	147 100.0	27 18.4	13 8.8	23 15.6	54 36.7	9 6.1	21 14.3
利用 頻 度	毎日	127 100.0	22 17.3	9 7.1	18 14.2	52 40.9	9 7.1	17 13.4
	週に数回	12 100.0	3 25.0	2 16.7	4 33.3	1 8.3	0 0.0	2 16.7
	1か月に数回	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
	月1回	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

【2番目によく利用する SNS】

2番目によく利用する SNS は日本語学校生等では、「LINE」が23.4%で最も高く、次いで「instagram」が18.8%、「Facebook」が17.2%となっている。

大学生等では、「LINE」が30.2%で最も高く、次いで「Facebook」、「instagram」がそれぞれ12.5%となった。



【出身国別】

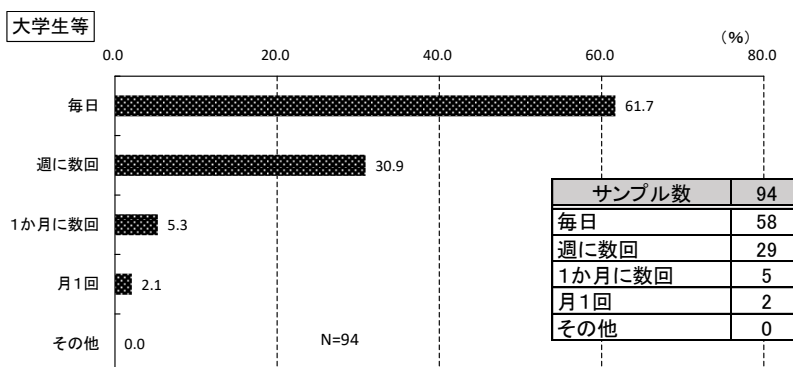
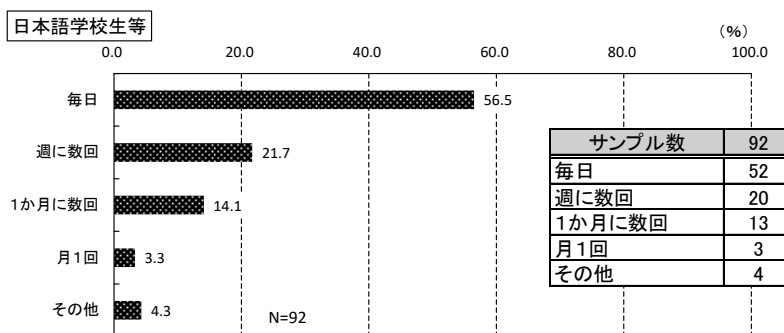
出身国別にみると、日本語学校生等では、ベトナム出身者で「instagram」、中国出身者で「騰訊 QQ (テンセント QQ)」、ネパール出身者で「LINE」、その他の国出身者で「Facebook」の割合が高い傾向となった。

大学生等では、ベトナムと中国出身者で「LINE」、その他の国の出身者で「Facebook」の割合が高い傾向となった。また、ベトナムとその他の国の出身者では「instagram」がそれぞれ20%程度となっている。

	サンプル数	F a c e b o o k	i n s t a g r a m	L I N E	(W e c h a t)	騰訊QQ (テンセントQQ)	その他
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等全体	64	11	12	15	6	8	12
	100.0	17.2	18.8	23.4	9.4	12.5	18.8
出身国	ベトナム	22	2	8	5	0	7
		100.0	9.1	36.4	22.7	0.0	31.8
	中国	22	2	1	6	5	8
		100.0	9.1	4.5	27.3	22.7	36.4
ネパール	6	1	1	2	0	0	2
	100.0	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3
その他	14	6	2	2	1	0	3
	100.0	42.9	14.3	14.3	7.1	0.0	21.4
大学生等全体	96	12	12	29	8	11	24
	100.0	12.5	12.5	30.2	8.3	11.5	25.0
出身国	ベトナム	11	1	3	4	0	3
		100.0	9.1	27.3	36.4	0.0	27.3
	中国	58	4	3	20	8	11
	100.0	6.9	5.2	34.5	13.8	19.0	
その他	27	7	6	5	0	0	9
	100.0	25.9	22.2	18.5	0.0	0.0	33.3

【2番目によく利用する SNS の利用頻度】

2番目によく利用する SNS の利用頻度は、日本語学校生等、大学生等ともに「毎日」が最も高く、次いで「週に数回」となっており、それぞれ約 80%～90%週に数回以上利用するという結果となった。



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等ではネパール、その他の国出身者では「毎日」がそれぞれ 80%以上と高い傾向となった。一方、ベトナム出身者、中国出身者では、「週に数回」以上利用する者が、それぞれ約 70%～80%となっている。

大学生等では、ベトナム、その他の国出身者では「毎日」利用するものがそれぞれ 70%以上と高い傾向となった。一方、中国出身者についても、「週に数回」以上利用する者が約 90%と、いずれの国においても、利用頻度は高い傾向となった。

		サンプル数	毎日	週に数回	1か月に数回	月1回	その他
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等全体		92	52	20	13	3	4
		100.0	56.5	21.7	14.1	3.3	4.3
出身国	ベトナム	42	16	14	7	2	3
		100.0	38.1	33.3	16.7	4.8	7.1
	中国	25	15	5	3	1	1
		100.0	60.0	20.0	12.0	4.0	4.0
出身国	ネパール	8	7	0	1	0	0
		100.0	87.5	0.0	12.5	0.0	0.0
	その他	17	14	1	2	0	0
	100.0	82.4	5.9	11.8	0.0	0.0	
大学生等全体		94	58	29	5	2	0
		100.0	61.7	30.9	5.3	2.1	0.0
出身国	ベトナム	10	7	3	0	0	0
		100.0	70.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	中国	57	30	22	3	2	0
	100.0	52.6	38.6	5.3	3.5	0.0	
出身国	その他	27	21	4	2	0	0
		100.0	77.8	14.8	7.4	0.0	0.0

【2番目によく利用する SNS 別利用頻度】

	サ ン プ ル 数	F a c e b o o k	i n s t a g r a m	L I N E	（ 微 信 W e c h a t ）	ト 騰 訊 Q Q Q Q （ テ ン セ ン ）	そ の 他	
上段:実数、下段:%								
日本語学校生等 全体	64 100.0	11 17.2	12 18.8	15 23.4	6 9.4	8 12.5	12 18.8	
利用 頻 度	毎日	41 100.0	7 17.1	9 22.0	7 17.1	6 14.6	5 12.2	7 17.1
	週に数回	16 100.0	3 18.8	2 12.5	4 25.0	0 0.0	2 12.5	5 31.3
	1か月に数回	6 100.0	1 16.7	1 16.7	3 50.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0
	月1回	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
大学生等全体	96 100.0	12 12.5	12 12.5	29 30.2	8 8.3	11 11.5	24 25.0	
利用 頻 度	毎日	55 100.0	6 10.9	8 14.5	13 23.6	7 12.7	7 12.7	14 25.5
	週に数回	29 100.0	2 6.9	3 10.3	13 44.8	1 3.4	3 10.3	7 24.1
	1か月に数回	5 100.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
	月1回	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

⑥ 普段の生活の中で必要な情報

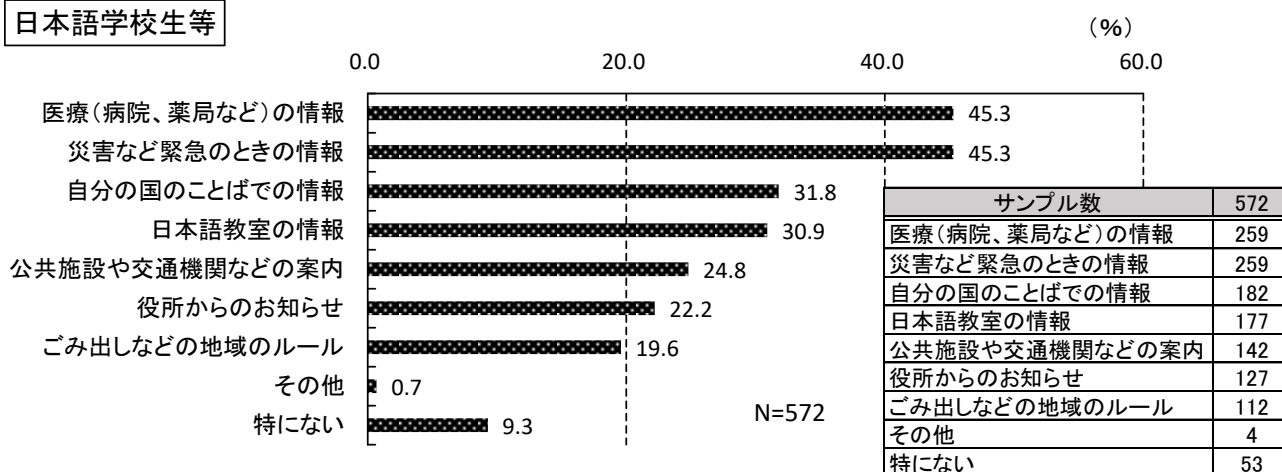
設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

③ 生活の情報で、あなたが欲しい情報は何か？（複数回答可）

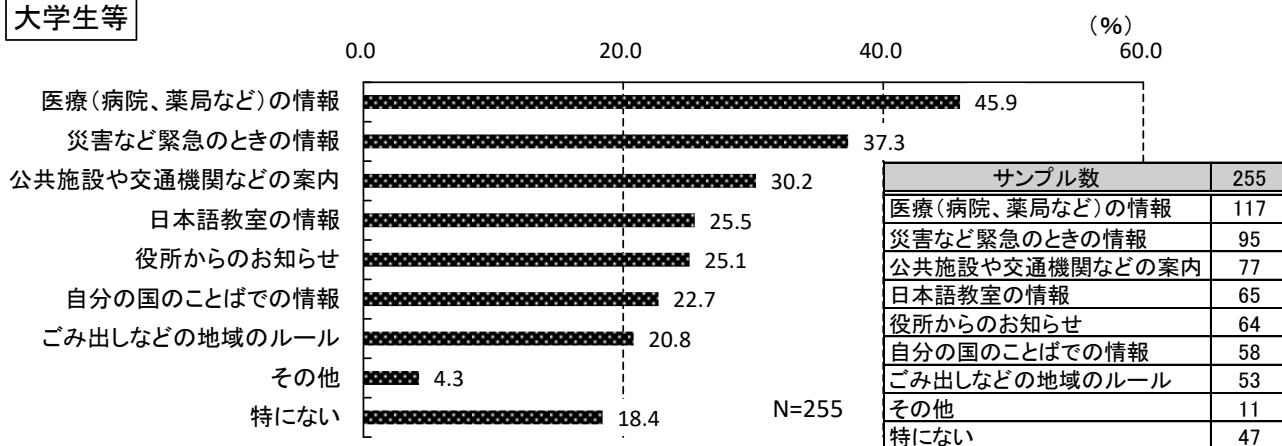
日本語学校生等では、「医療（病院、薬局など）の情報」、「災害など緊急のときの情報」がそれぞれ45.3%で最も高く、次いで「自分の国のことばでの情報」が31.8%、「日本語教室の情報」が30.9%となっている。

大学生等では、「医療（病院、薬局など）の情報」が45.9%で最も高く、次いで「災害など緊急のときの情報」が37.3%、「公共施設や交通機関などの案内」が30.2%となっており、日本語学校生等、大学生等ともに医療や災害に関する情報のニーズが高くなっている。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、「その他」以外の国の出身者において「医療（病院、薬局など）の情報」、「災害など緊急のときの情報」のニーズが高い傾向となった。一方、その他の国の出身者では「日本語教室の情報」が高い傾向となった。

大学生等では、「医療（病院、薬局など）の情報」において、日本語学校生等と同様にベトナム、中国出身者でのニーズが高い傾向となった。また、中国とその他の国の出身者では「公共施設や交通機関などの案内」のニーズが高い傾向となった。

	サンプル数	局医療（病院、薬局）の情報	ば自分の国のこと	ら役所からの告知	報日本語教室の情報	と災害など緊急のときの情報	機公共施設や案内	地ごみ出しなどの地域のルール	特にな	その他	
上段:実数、下段:%											
日本語学校生等全体		572 100.0	259 45.3	182 31.8	127 22.2	177 30.9	259 45.3	142 24.8	112 19.6	53 9.3	4 0.7
出身国	ベトナム	402 100.0	193 48.0	139 34.6	86 21.4	127 31.6	195 48.5	94 23.4	71 17.7	34 8.5	2 0.5
	中国	77 100.0	33 42.9	15 19.5	22 28.6	15 19.5	35 45.5	23 29.9	21 27.3	17 22.1	0 0.0
	ネパール	49 100.0	22 44.9	11 22.4	9 18.4	12 24.5	20 40.8	14 28.6	9 18.4	0 0.0	0 0.0
	その他	43 100.0	11 25.6	17 39.5	10 23.3	23 53.5	9 20.9	11 25.6	11 25.6	2 4.7	1 2.3
	大学生等全体	255 100.0	117 45.9	58 22.7	64 25.1	65 25.5	95 37.3	77 30.2	53 20.8	47 18.4	11 4.3
出身国	ベトナム	56 100.0	27 48.2	7 12.5	11 19.6	7 12.5	21 37.5	11 19.6	8 14.3	10 17.9	2 3.6
	中国	150 100.0	72 48.0	35 23.3	40 26.7	46 30.7	53 35.3	49 32.7	32 21.3	28 18.7	4 2.7
	その他	49 100.0	18 36.7	16 32.7	13 26.5	12 24.5	21 42.9	17 34.7	13 26.5	9 18.4	5 10.2

【在留期間別】

在留期間別にみると、日本語学校生等、大学生等とも「医療（病院、薬局など）の情報」、「災害など緊急のときの情報」に対するニーズが高く、在留期間が長くなっても大きく低減しない傾向が見られた。

大学生等については、これらに加え、在留期間1年未満の者について「公共施設や交通機関などの案内」、「ごみ出しなどの地域のルール」における情報ニーズが高い傾向がみられた。

	サンプル数	局医療（病院、薬局）の情報	ば自分の国のこと	ら役所からの告知	報日本語教室の情報	と災害など緊急のときの情報	機公共施設や案内	地ごみ出しなどの地域のルール	特にな	その他	
上段:実数、下段:%											
日本語教育機関全体		572 100.0	259 45.3	182 31.8	127 22.2	177 30.9	259 45.3	142 24.8	112 19.6	53 9.3	4 0.7
在留期間	1年未満	217 100.0	95 43.8	74 34.1	46 21.2	82 37.8	101 46.5	55 25.3	44 20.3	15 6.9	2 0.9
	1年	184 100.0	87 47.3	60 32.6	43 23.4	49 26.6	83 45.1	50 27.2	41 22.3	20 10.9	1 0.5
	2年	100 100.0	48 48.0	30 30.0	21 21.0	23 23.0	42 42.0	18 18.0	19 19.0	12 12.0	1 1.0
	3年	35 100.0	13 37.1	12 34.3	8 22.9	13 37.1	17 48.6	11 31.4	5 14.3	4 11.4	0 0.0
	4年以上	33 100.0	15 45.5	4 12.1	9 27.3	9 27.3	13 39.4	8 24.2	3 9.1	2 6.1	0 0.0
大学生等全体		255 100.0	117 45.9	58 22.7	64 25.1	65 25.5	95 37.3	77 30.2	53 20.8	47 18.4	11 4.3
在留期間	1年未満	55 100.0	28 50.9	18 32.7	16 29.1	15 27.3	29 52.7	25 45.5	21 38.2	6 10.9	1 1.8
	1年	28 100.0	14 50.0	7 25.0	10 35.7	6 21.4	12 42.9	8 28.6	7 25.0	2 7.1	3 10.7
	2年	52 100.0	29 55.8	9 17.3	10 19.2	12 23.1	16 30.8	13 25.0	10 19.2	7 13.5	4 7.7
	3年	69 100.0	28 40.6	15 21.7	18 26.1	17 24.6	19 27.5	18 26.1	7 10.1	14 20.3	3 4.3
	4年以上	51 100.0	18 35.3	9 17.6	10 19.6	15 29.4	19 37.3	13 25.5	8 15.7	18 35.3	0 0.0

【居住地域別】

居住地域別にみると、日本語学校生等、大学生等とも、「医療（病院、薬局など）の情報」に対するニーズが居住地域を問わず概ね4割以上の高いという結果になった。

このほか、東部では、日本語学校生等、大学生等地域とも、「日本語教室の情報」のニーズが他の地域居住者と比較して高い傾向となった。

		サンプル数	局医療（病院、薬局）の情報	自分の国のこと	役所からのお知らせ	日本語教室の情報	災害などの緊急のときの情報	公共施設や交通機関などの案内	ごみ出しなどの地域のルール	特にない	その他
上段:実数、下段:%											
日本語学校生等全体		572 100.0	259 45.3	182 31.8	127 22.2	177 30.9	259 45.3	142 24.8	112 19.6	53 9.3	4 0.7
居住地域	西部	157 100.0	74 47.1	50 31.8	40 25.5	40 25.5	71 45.2	45 28.7	42 26.8	18 11.5	1 0.6
	中部	28 100.0	11 39.3	6 21.4	8 28.6	6 21.4	12 42.9	7 25.0	6 21.4	3 10.7	0 0.0
	東部	254 100.0	114 44.9	76 29.9	56 22.0	89 35.0	114 44.9	62 24.4	46 18.1	17 6.7	3 1.2
	北部	2 100.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
大学生等全体		255 100.0	117 45.9	58 22.7	64 25.1	65 25.5	95 37.3	77 30.2	53 20.8	47 18.4	11 4.3
居住地域	西部	172 100.0	79 45.9	40 23.3	43 25.0	45 26.2	65 37.8	55 32.0	36 20.9	30 17.4	7 4.1
	中部	21 100.0	10 47.6	5 23.8	6 28.6	4 19.0	6 28.6	5 23.8	5 23.8	6 28.6	0 0.0
	東部	19 100.0	8 42.1	4 21.1	5 26.3	6 31.6	6 31.6	4 21.1	1 5.3	6 31.6	1 5.3
	北部	10 100.0	7 70.0	1 10.0	4 40.0	2 20.0	5 50.0	5 50.0	3 30.0	0 0.0	3 30.0

【日本語習熟度別】

日本語習熟度別にみると、日本語学校生等、大学生等とも、習熟度が低いほど「災害などの緊急のときの情報」のニーズが高い傾向となった。

大学生等では、このほか、「医療（病院、薬局など）の情報」、「日本語教室の情報」、「公共施設や交通機関などの案内」、「ごみ出しなどの地域のルール」において、習熟度が低いほど、ニーズが高い傾向となった。

		サンプル数	局医療（病院、薬局）の情報	自分の国のこと	役所からのお知らせ	日本語教室の情報	災害などの緊急のときの情報	公共施設や交通機関などの案内	ごみ出しなどの地域のルール	特にない	その他
上段:実数、下段:%											
日本語教育機関全体		572 100.0	259 45.3	182 31.8	127 22.2	177 30.9	259 45.3	142 24.8	112 19.6	53 9.3	4 0.7
日本語習熟度	習熟度【低】	62 100.0	27 43.5	16 25.8	18 29.0	22 35.5	33 53.2	10 16.1	11 17.7	6 9.7	0 0.0
	習熟度【中】	303 100.0	143 47.2	109 36.0	64 21.1	97 32.0	144 47.5	74 24.4	57 18.8	23 7.6	3 1.0
	習熟度【高】	144 100.0	63 43.8	41 28.5	36 25.0	46 31.9	59 41.0	42 29.2	37 25.7	21 14.6	1 0.7
大学生等全体		255 100.0	117 45.9	58 22.7	64 25.1	65 25.5	95 37.3	77 30.2	53 20.8	47 18.4	11 4.3
日本語習熟度	習熟度【低】	22 100.0	14 63.6	5 22.7	8 36.4	7 31.8	11 50.0	11 50.0	7 31.8	3 13.6	2 9.1
	習熟度【中】	49 100.0	25 51.0	15 30.6	7 14.3	12 24.5	19 38.8	10 20.4	11 22.4	5 10.2	2 4.1
	習熟度【高】	172 100.0	74 43.0	36 20.9	47 27.3	39 22.7	64 37.2	54 31.4	35 20.3	37 21.5	7 4.1

※調査対象者の主観に基づく回答を整理・類別した区分

⑦ 自分の国にいる家族や友人との連絡方法とその頻度

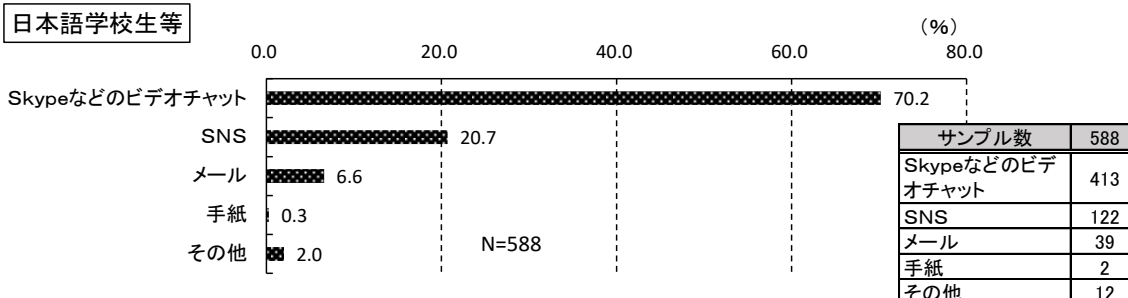
設問：日頃の生活の情報を得る方法や、自分の国にいる家族や友人との連絡方法について教えてください。

④ 自分の国にいる家族や友人とは、どのように連絡をとっていますか？（1つだけ選択）

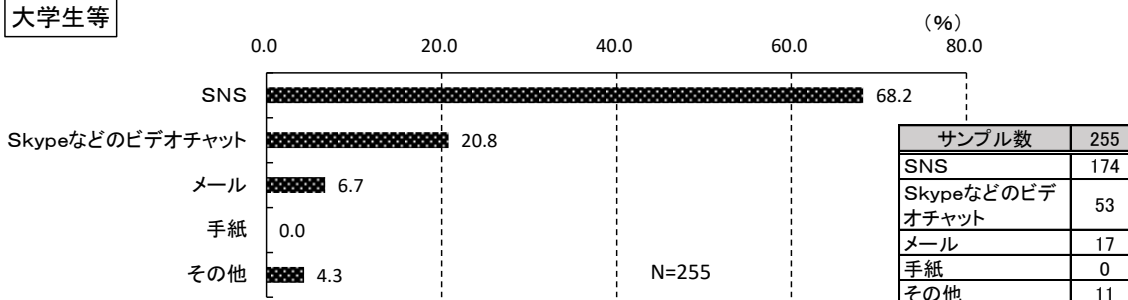
日本語学校生等では、「Skypeなどのビデオチャット」が70.2%で最も高く、次いで「SNS」が20.7%となった。

大学生等では、「SNS」が68.2%で最も高く、次いで「Skypeなどのビデオチャット」が20.8%となっており、日本語学校生等と大学生等で連絡手段に差がみられた。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、中国出身者以外で「Skypeなどのビデオチャット」の割合が高く、特にベトナム出身者では86.7%と80%以上の者が利用している結果となった。一方で、中国出身者では「SNS」が、73.4%と高い結果となった。

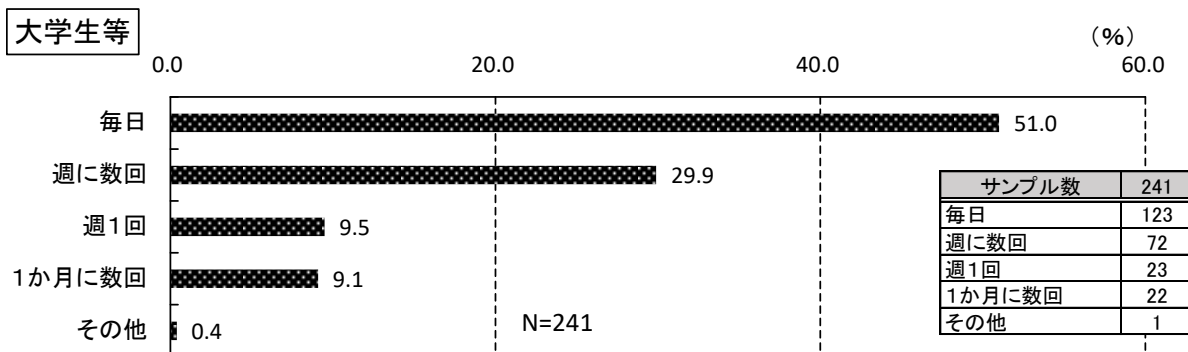
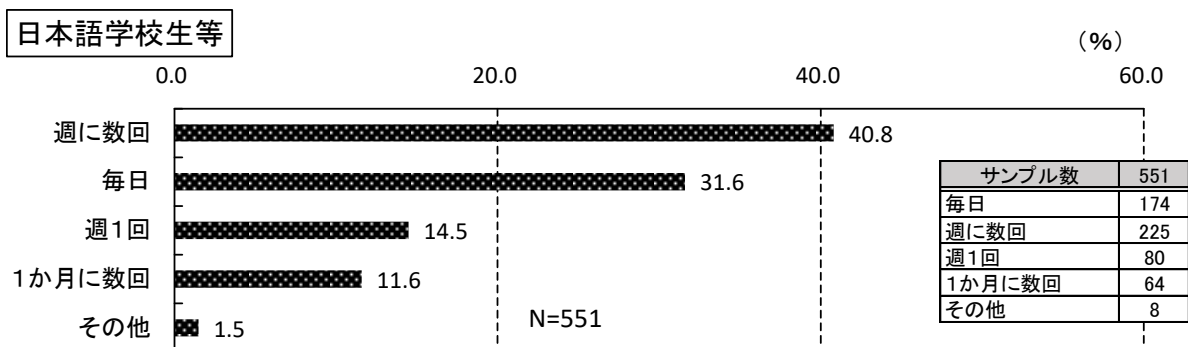
大学生等では、ベトナム出身者で「Skypeなどのビデオチャット」が71.4%と他国出身者と比較して高く、一方で、中国とその他の国の出身者では「SNS」がベトナム出身者と比較して高くなっており、日本語学校生等、大学生等ともに、出身国別の利用ツールにおいては同様の傾向となった。

	サンプル数	メール	SNS	Skypeなどのビデオチャット	手紙	その他	
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等全体	588	39	122	413	2	12	
	100.0	6.6	20.7	70.2	0.3	2.0	
出身国	ベトナム	414	20	32	359	1	2
		100.0	4.8	7.7	86.7	0.2	0.5
	中国	79	9	58	4	0	8
		100.0	11.4	73.4	5.1	0.0	10.1
出身国	ネパール	48	3	12	30	1	2
		100.0	6.3	25.0	62.5	2.1	4.2
出身国	その他	46	6	20	20	0	0
		100.0	13.0	43.5	43.5	0.0	0.0
大学生等全体							
	255	17	174	53	0	11	
	100.0	6.7	68.2	20.8	0.0	4.3	
出身国	ベトナム	56	4	12	40	0	0
		100.0	7.1	21.4	71.4	0.0	0.0
	中国	147	10	123	4	0	10
	100.0	6.8	83.7	2.7	0.0	6.8	
出身国	その他	52	3	39	9	0	1
		100.0	5.8	75.0	17.3	0.0	1.9

【連絡頻度】

日本語学校生等では、「週に数回」が40.8%で最も高く、次いで「毎日」が31.6%で、約70%の者が自分の国にいる家族や友人と週に数回以上連絡を取っている結果となった。

大学生等では、「毎日」が51.0%で最も高く、次いで「週に数回」が29.9%で、約80%の者が自分の国にいる家族や友人と週に数回以上連絡を取っている結果となり、日本語学校生等と同様に、高頻度で連絡をとっている者が多い傾向となった。



【出身国別】

日本語学校生等では、「毎日」連絡を取る者が、中国出身者で52.3%と、他国出身者と比較して高くなっている。

大学生等では、「毎日」連絡を取る者が中国出身者で51.8%と、日本語学校生等と同様の傾向となった。

		サンプル数	毎日	週に数回	週1回	1か月に数回	その他
上段:実数、下段:%							
日本語学校生等全体		551	174	225	80	64	8
		100.0	31.6	40.8	14.5	11.6	1.5
出身国	ベトナム	401	108	179	59	50	5
		100.0	26.9	44.6	14.7	12.5	1.2
	中国	65	34	18	5	6	2
		100.0	52.3	27.7	7.7	9.2	3.1
	ネパール	43	14	19	8	2	0
	100.0	32.6	44.2	18.6	4.7	0.0	
	その他	41	17	9	8	6	1
	100.0	41.5	22.0	19.5	14.6	2.4	
大学生等全体		241	123	72	23	22	1
		100.0	51.0	29.9	9.5	9.1	0.4
出身国	ベトナム	52	21	20	7	4	0
		100.0	40.4	38.5	13.5	7.7	0.0
	中国	139	72	43	11	12	1
		100.0	51.8	30.9	7.9	8.6	0.7
	その他	50	30	9	5	6	0
	100.0	60.0	18.0	10.0	12.0	0.0	

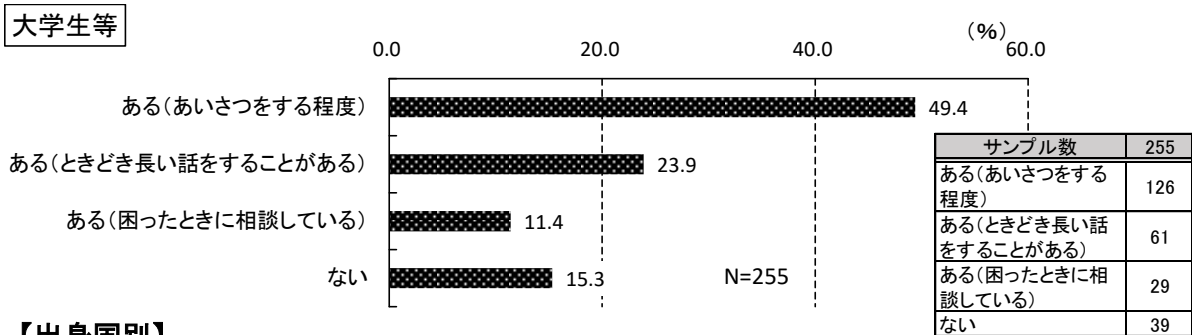
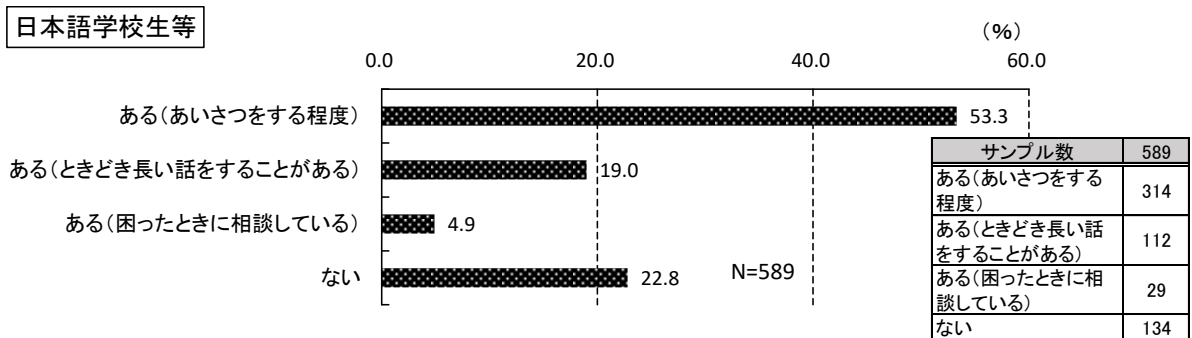
(7)日本人との交流状況

① 近所の日本人と会話をする頻度

設問：近所の日本人と話をすることがありますか？（1つだけ選択）

日本語学校生等では、「ある（あいさつをする程度）」が 53.3%で最も高く、「ある（ときどき長い話をすることがある）」が 19.0%、「ある（困ったときに相談している）」は 4.9%となっており、あいさつ以上の深い交流がある者は 23.9%にとどまった。

大学生等では、日本語学校生等と同様に「ある（あいさつをする程度）」が 49.4%で最も高く、次いで「ある（ときどき長い話をすることがある）」が 23.9%、「ある（困ったときに相談している）」が 11.4%となっており、あいさつ以上の深い交流がある者は日本語学校生等より 11.4 ポイント高い 35.3%となっている。



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、中国出身者で「ある（あいさつをする程度）」が 67.9%で、他国出身者と比較して最も高く、「ない」とする者の割合は、最も低くなっている。

大学生等では、中国出身者で「ある（あいさつをする程度）」が 60.8%と、他国出身者と比較して高くなっており、その他の国の出身者では、「ある（ときどき長い話をする程度）」、「ある（困ったときに相談している）」がそれぞれ 30%以上と、ベトナムや中国出身者より深い交流をしている者の割合が高い傾向となった。また、ベトナム出身者では、「ない」とする者が 32.7%で、他国出身者と比較して高い結果となった。

	サンプル数	割合 (%)				
		ある(あいさつをする程度)	ある(ときどき長い話をする)	ある(困ったときに相談している)	ない	
日本語学校生等全体	589	53.3	19.0	4.9	22.8	
出身国	ベトナム	413	51.6	20.6	4.8	23.0
	中国	81	67.9	13.6	0.0	18.5
	ネパール	47	48.9	12.8	14.9	23.4
	その他	47	46.8	21.3	4.3	27.7
	大学生等全体	255	49.4	23.9	11.4	15.3
出身国	ベトナム	55	43.6	23.6	0.0	32.7
	中国	148	60.8	20.9	7.4	10.8
	その他	52	23.1	32.7	34.6	9.6

② 近所の日本人と今後の交流に対する希望

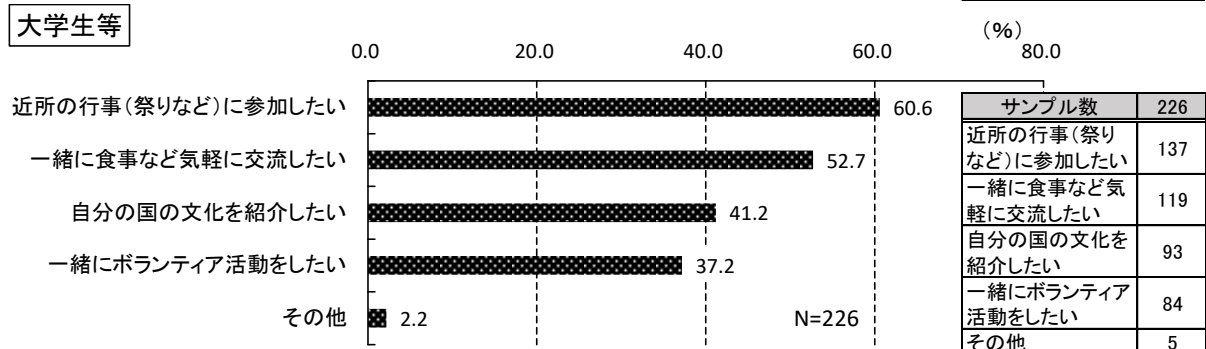
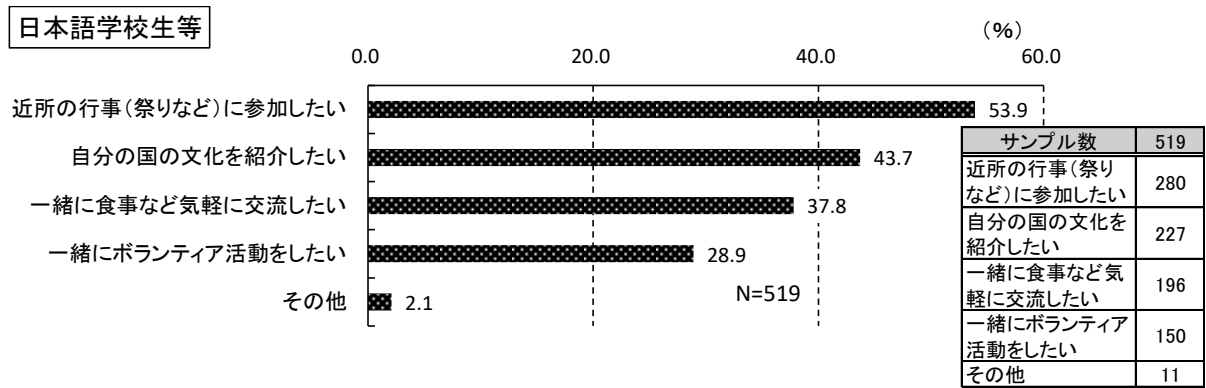
設問：近所の日本人と、もっと仲良くなりたいと思いますか？（1つだけ選択）

日本語学校生等、大学生等ともに、近所の日本人と今後もっと交流を深めたいと「思っている」者が、それぞれ90%以上となっており、多くの留学生が日本人と親睦を深めたいと希望している結果となった。

		サンプル数	思っている	思っていない
上段：実数、下段：%				
日本語学校生等全体		590	545	45
		100.0	92.4	7.6
出身国	ベトナム	415	386	29
		100.0	93.0	7.0
	中国	80	73	7
		100.0	91.3	8.8
	ネパール	48	46	2
	100.0	95.8	4.2	
	その他	46	39	7
		100.0	84.8	15.2
大学生等全体		257	234	23
		100.0	91.1	8.9
出身国	ベトナム	56	45	11
		100.0	80.4	19.6
	中国	150	140	10
		100.0	93.3	6.7
	その他	51	49	2
		100.0	96.1	3.9

【近所の日本人とどのような交流関係を築きたいか】

日本語学校生等では、「近所の行事（祭りなど）に参加したい」が53.9%で最も高く、次いで「自分の国の文化を紹介したい」が43.7%、「一緒に食事など気軽に交流したい」が37.8%となっている。大学生等では、「近所の行事（祭りなど）に参加したい」が60.6%で最も高く、次いで「一緒に食事など気軽に交流したい」が52.7%、「自分の国の文化を紹介したい」が41.2%となっている。



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等とともに、ベトナム出身者では「近所の行事に参加したい」に次いで「自分の国の文化を紹介したい」が多く、中国出身者では「近所の行事に参加したい」に次いで「一緒に食事など気軽に交流したい」が多い結果となった。

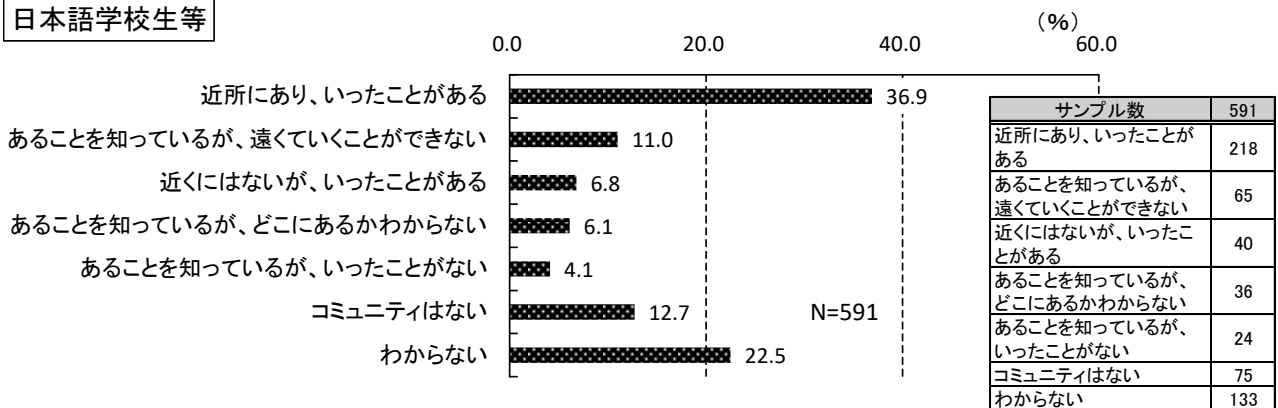
	サンプル数	近所の行事に参加したい	自分の国の文化を紹介したい	テーマと一緒に活動をし	気軽に交流したい	一緒に食事など	その他
	上段:実数、下段:%						
日本語学校生等全体	519 100.0	280 53.9	227 43.7	150 28.9	196 37.8	11 2.1	
出身国	ベトナム	372 100.0	192 51.6	178 47.8	100 26.9	146 39.2	6 1.6
	中国	67 100.0	45 67.2	18 26.9	26 38.8	29 43.3	4 6.0
	ネパール	43 100.0	25 58.1	13 30.2	13 30.2	6 14.0	1 2.3
	その他	36 100.0	17 47.2	17 47.2	11 30.6	14 38.9	0 0.0
大学生等全体	226 100.0	137 60.6	93 41.2	84 37.2	119 52.7	5 2.2	
出身国	ベトナム	42 100.0	21 50.0	19 45.2	17 40.5	17 40.5	0 0.0
	中国	137 100.0	83 60.6	49 35.8	51 37.2	65 47.4	4 2.9
	その他	47 100.0	33 70.2	25 53.2	16 34.0	37 78.7	1 2.1

③ 母国の人で集まるコミュニティの有無

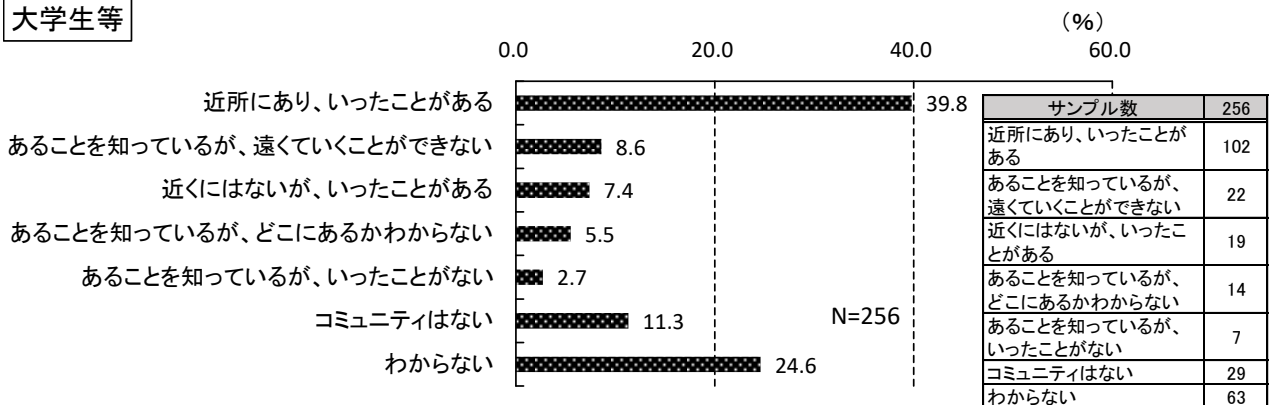
設問：あなたと同じ国の人が集まるコミュニティは、ありますか？（1つだけ選択）

日本語学校生等、大学生等ともに、「近所にあり、行ったことがある」がそれぞれ 36.9%、39.8%で最も高くなっている一方で、「わからない」と回答した者も、それぞれ 22.5%、24.6%となっており、日本語学校生等、大学生等ともに、約 20%の者が、同国籍者が集まるコミュニティの存在を認知していないという結果となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、ベトナム出身者で「近所にあり、行ったことがある」がそれぞれ他国出身者と比較して高くなっている。

一方、日本語学校生等では、中国とネパール出身者で、大学生等では中国出身者で、「わからない」が他国出身者と比較して高くなっており、出身国によって、同国籍者が集まるコミュニティの活用状況、認知度に、傾向の違いがみられた。

	サンプル数	近所にあり、行ったことがある	近所にはないが、行ったことがある	近くにはないが、行ったことがある	あることを知っているが、遠くに行くことができない	あることを知っているが、どこにあるかわからない	あることを知っているが、行ったことがない	コミュニティはない	わからない
上段: 実数、下段: %									
日本語学校生等全体	591	218	40	65	36	24	75	133	
	100.0	36.9	6.8	11.0	6.1	4.1	12.7	22.5	
出身国	ベトナム	416	182	18	62	26	22	45	61
		100.0	43.8	4.3	14.9	6.3	5.3	10.8	14.7
	中国	81	14	7	1	3	1	17	38
		100.0	17.3	8.6	1.2	3.7	1.2	21.0	46.9
	ネパール	48	12	4	1	3	0	8	20
	100.0	25.0	8.3	2.1	6.3	0.0	16.7	41.7	
その他	45	10	11	0	4	1	5	14	
	100.0	22.2	24.4	0.0	8.9	2.2	11.1	31.1	
大学生等全体	256	102	19	22	14	7	29	63	
	100.0	39.8	7.4	8.6	5.5	2.7	11.3	24.6	
出身国	ベトナム	56	31	2	10	4	3	2	4
		100.0	55.4	3.6	17.9	7.1	5.4	3.6	7.1
	中国	148	51	13	5	9	1	22	47
		100.0	34.5	8.8	3.4	6.1	0.7	14.9	31.8
その他	52	20	4	7	1	3	5	12	
	100.0	38.5	7.7	13.5	1.9	5.8	9.6	23.1	

(8) 広島県に対する評価

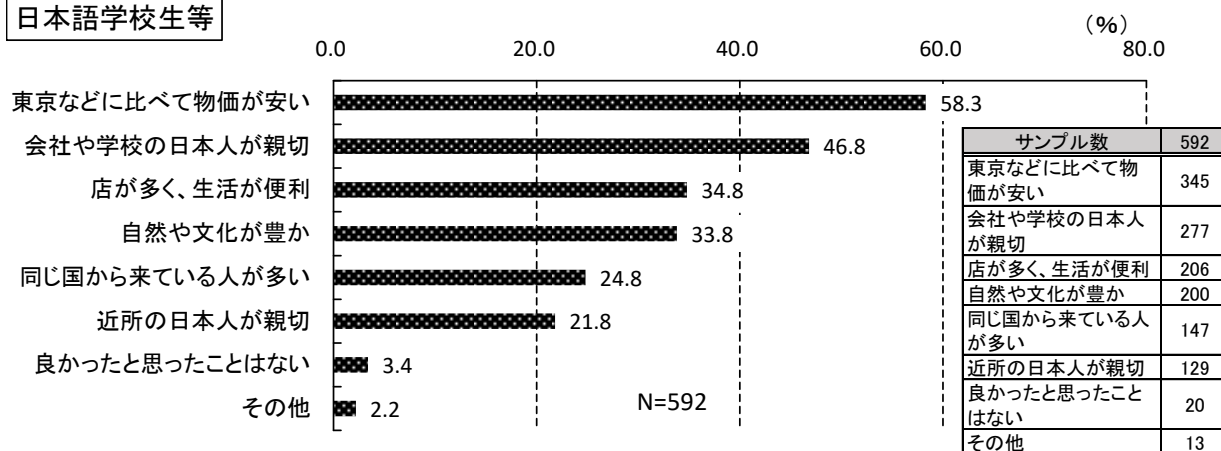
① 広島県内に住んで良かったと思うこと

設問：広島県内に住んで、良かったと思うことは何ですか？（複数回答可）

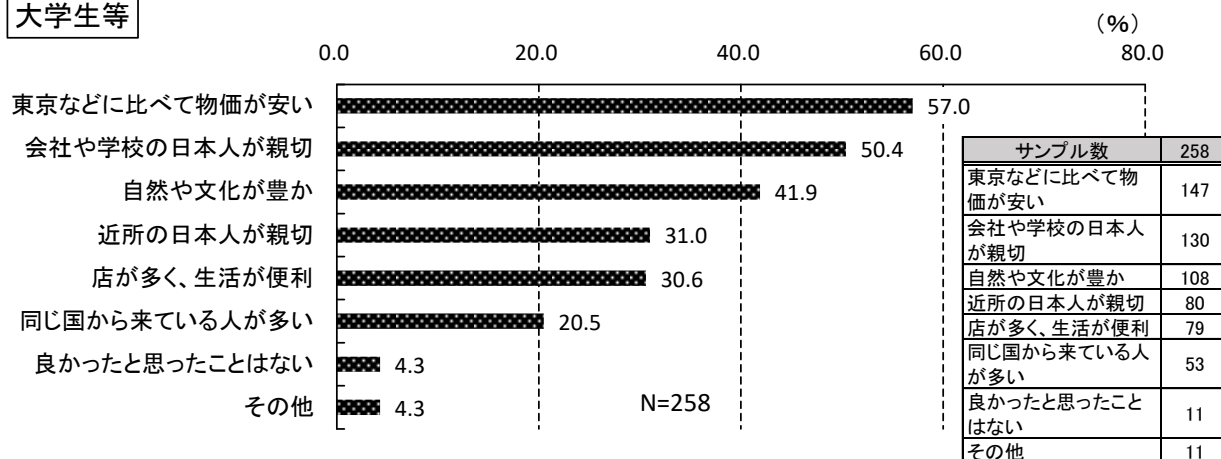
日本語学校生等では、「東京などに比べて物価が安い」が 58.3%で最も高く、次いで「会社や学校の日本人が親切」が 46.8%、「店が多く、生活が便利」が 34.8%となっている。

大学生等では、「東京などに比べて物価が安い」が 57.0%で最も高く、次いで「会社や学校の日本人が親切」が 50.4%、「自然や文化が豊か」が 41.9%と高く、日本語学校生等、大学生等ともに物価や人間関係における項目において評価が高い傾向となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等では、ネパール、その他の国の出身者で「会社や学校の日本人が親切」が最も高くなっている。一方、ベトナム、中国出身者では、「東京などに比べて物価が安い」がそれぞれ62.4%、54.3%と最も高くなった。

大学生等では、中国、ベトナム出身者で、「東京などに比べて物価が安い」が最も高くなった。

	サンプル数	本人が会社や学校の日本人が親切の日	親近所の日本人が	か自然や文化が豊	が店が多く、生活	て東京などが安いに比べ	いる同じ国が多から来て	た良かったと思っ	その他
上段:実数、下段:%									
日本語学校生等全体	592 100.0	277 46.8	129 21.8	200 33.8	206 34.8	345 58.3	147 24.8	20 3.4	13 2.2
出身国	ベトナム	415 100.0	182 43.9	78 18.8	142 34.2	162 39.0	124 29.9	7 1.7	7 1.7
	中国	81 100.0	41 50.6	27 33.3	19 23.5	23 28.4	44 54.3	19 23.5	5 3.7
	ネパール	49 100.0	29 59.2	12 24.5	20 40.8	10 20.4	20 40.8	3 6.1	4 8.2
	その他	46 100.0	24 52.2	11 23.9	19 41.3	10 21.7	21 45.7	1 2.2	4 8.7
	大学生等全体	258 100.0	130 50.4	80 31.0	108 41.9	79 30.6	147 57.0	53 20.5	11 4.3
出身国	ベトナム	56 100.0	28 50.0	13 23.2	23 41.1	19 33.9	30 53.6	11 19.6	3 5.4
	中国	150 100.0	69 46.0	52 34.7	61 40.7	44 29.3	92 61.3	36 24.0	5 3.3
	その他	52 100.0	33 63.5	15 28.8	24 46.2	16 30.8	25 48.1	6 11.5	3 5.8
	その他	2 100.0	3 150.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

【就業・居住希望地域別】

就労する企業の選択基準で就業・居住地を重視する者についてみると、日本語学校生等では希望地域に「広島県内」を選択した者は、他地域希望者に比べ、「会社や学校の日本人が親切」、「自然や文化が豊か」、「店が多く、生活が便利」の選択割合が上回る結果となった。

また、大学生等では「自然や文化が豊か」の選択割合が上回る結果となった。

	サンプル数	本人が会社や学校の日本人が親切の日	親近所の日本人が	か自然や文化が豊	が店が多く、生活	て東京などが安いに比べ	いる同じ国が多から来て	た良かったと思っ	その他
上段:実数、下段:%									
日本語教育機関全体	592 100.0	277 46.8	129 21.8	200 33.8	206 34.8	345 58.3	147 24.8	20 3.4	13 2.2
就業・居住希望地域	広島県内	165 100.0	87 52.7	33 20.0	63 38.2	64 38.8	97 58.8	45 27.3	3 1.8
	東京	22 100.0	9 40.9	4 18.2	5 22.7	5 22.7	19 86.4	2 9.1	0 4.5
	大阪	36 100.0	12 33.3	2 5.6	9 25.0	12 33.3	32 88.9	14 38.9	0 0.0
	その他	18 100.0	11 61.1	6 33.3	6 33.3	4 22.2	10 55.6	4 22.2	0 0.0
	大学生等全体	258 100.0	130 50.4	80 31.0	108 41.9	79 30.6	147 57.0	53 20.5	11 4.3
就業・居住希望地域	広島県内	48 100.0	24 50.0	18 37.5	26 54.2	17 35.4	28 58.3	12 25.0	3 6.3
	東京	17 100.0	13 76.5	9 52.9	7 41.2	4 23.5	11 64.7	5 29.4	0 0.0
	大阪	13 100.0	5 38.5	3 23.1	2 15.4	5 38.5	9 69.2	1 7.7	2 15.4
	その他	7 100.0	1 14.3	3 42.9	1 14.3	5 71.4	6 85.7	4 57.1	0 0.0
	その他	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

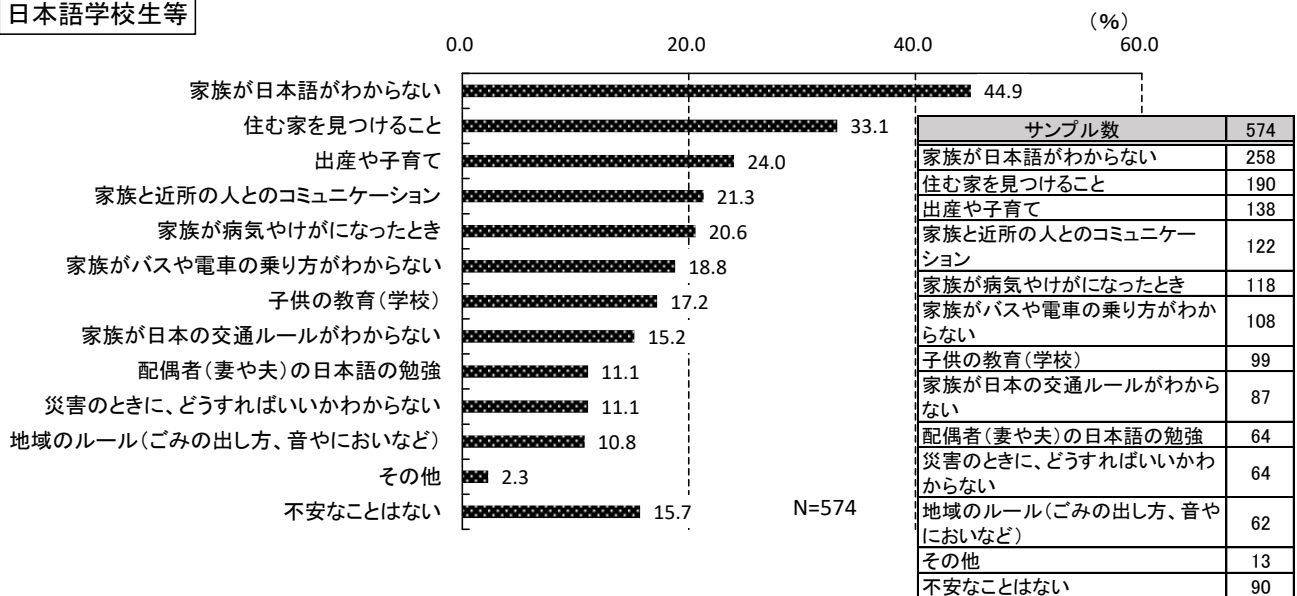
② 家族と日本で生活する際に、不安に感じること

設問：広島県内で家族と一緒に生活すること（一人で日本に来ている人は、将来、家族を連れて来ることができるようになった場）に、不安なことは何ですか？（複数回答可）

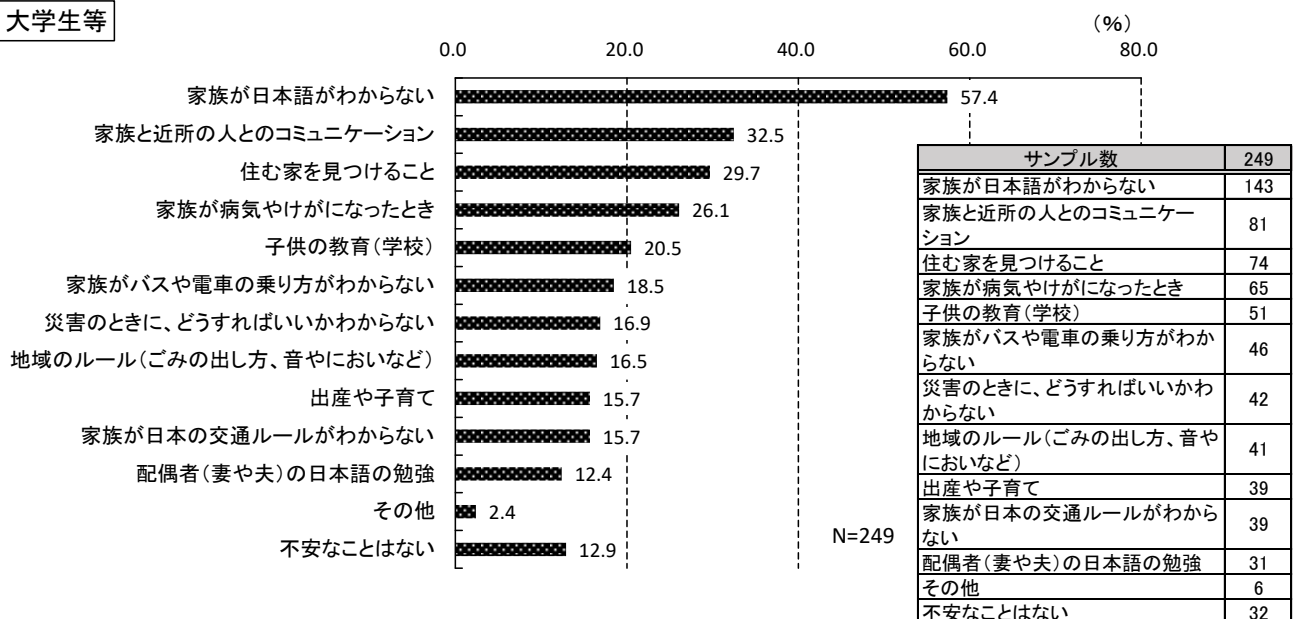
日本語学校生等では、「家族が日本語がわからない」が 44.9%で最も高く、次いで「住む家を見つけること」が 33.1%、「出産や子育て」が 24.0%、「家族と近所の人とのコミュニケーション」が 21.3%となっている。

大学生等では、「家族が日本語がわからない」が 57.4%で最も高く、次いで「家族と近所の人とのコミュニケーション」が 32.5%、「住む家を見つけること」が 29.7%、「家族が病気やけがになったとき」が 26.1%と高くなっており、日本語学校生等、大学生等ともに家族と生活する際の不安要素については、比較的近い傾向となった。

日本語学校生等



大学生等



【出身国別】

出身国別にみると、日本語学校生等、大学生等ともに、どの国の出身者も「家族が日本語がわからない」が一番にあげており、中でも中国出身者はその割合が高い結果となった。

	サンプル数	こと 住む家 を見つ ける	に 家族 が病 気や けが が	出 産 や 子 育 て	校 子 供 の 教 育 （ 学	か ら な い 家 族 が 日 本 語 が わ	配 偶 者 （ 妻 や 夫 ） の 日 本 語 の 勉 強	に み お い な し 方 （ 音 や	地 域 の ル ー ル （ ご	シ ョ ン の コ ミ ュ ニ ケ ー と	い ル 家 族 が 日 本 の 交 通	な い 家 族 が バ ス や 電 車	か ら な い 災 害 の 時 に か わ ど	不 安 な こ と は な い	そ の 他	
上段:実数、下段:%																
日本語学校生等 全体		574 100.0	190 33.1	118 20.6	138 24.0	99 17.2	258 44.9	64 11.1	62 10.8	122 21.3	87 15.2	108 18.8	64 11.1	90 15.7	13 2.3	
出身国	ベトナム	405 100.0	143 35.3	87 21.5	113 27.9	75 18.5	174 43.0	46 11.4	40 9.9	90 22.2	57 14.1	68 16.8	35 8.6	58 14.3	6 1.5	
	中国	79 100.0	27 34.2	20 25.3	12 15.2	12 15.2	51 64.6	13 16.5	6 7.6	21 26.6	18 22.8	25 31.6	16 20.3	15 19.0	1 1.3	
	ネパール	45 100.0	8 17.8	6 13.3	6 13.3	8 17.8	14 31.1	3 6.7	5 11.1	4 8.9	3 6.7	5 11.1	6 13.3	8 17.8	4 8.9	
	その他	44 100.0	11 25.0	5 11.4	7 15.9	4 9.1	19 43.2	2 4.5	11 25.0	7 15.9	9 20.5	10 22.7	7 15.9	9 20.5	2 4.5	
大学生等全体		249 100.0	74 29.7	65 26.1	39 15.7	51 20.5	143 57.4	31 12.4	41 16.5	81 32.5	39 15.7	46 18.5	42 16.9	32 12.9	6 2.4	
出身国	ベトナム	55 100.0	17 30.9	8 14.5	12 21.8	12 21.8	19 34.5	7 12.7	4 7.3	11 20.0	3 5.5	5 9.1	4 7.3	8 14.5	1 1.8	
	中国	145 100.0	42 29.0	42 29.0	20 13.8	28 19.3	99 68.3	19 13.1	29 20.0	58 40.0	29 20.0	36 24.8	30 20.7	14 9.7	3 2.1	
	その他	49 100.0	15 30.6	15 30.6	7 14.3	11 22.4	25 51.0	5 10.2	8 16.3	12 24.5	7 14.3	5 10.2	8 16.3	10 20.4	2 4.1	